

令和5年度

伊勢崎市教育要覧

伊勢崎市教育委員会

序

予測困難で価値観の多様化が進む時代を生きる子供たちには、答えが一つに定まらない中で、課題を発見し、解決に向けて、自ら考え、多様な人々と協働する力や、新たな価値を生み出す力が求められています。

このような状況を踏まえて伊勢崎市教育委員会では、令和5年度教育行政方針及び伊勢崎市学校教育構想を策定し、コロナ禍を乗り越え未来を志向する教育施策を展開することといたしました。

学校教育の分野では、「豊かな心育成プラン」「確かな学力向上プラン」「みんなの未来創造プラン」の3つのプランを推進し、ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出すことができる子供の育成を目指しています。そして、そのために必要な施設設備等、教育環境の整備に努めています。

社会教育の分野では、子供から大人までの市民ニーズに合わせた事業の実施により公民館等における生涯学習の一層の充実を目指しています。また中学校区単位の教育ネットワークである本市独自の「伊勢崎学府制」では、公民館が中核となり学校教育と社会教育の双方の関係づくりを進めています。

図書館事業の分野では、幼児期におはなしとの出会いをつくるブックスタート事業や、市内四つの図書館と小中学校図書室とのネットワークによる本の利活用などを推進しています。また、図書館で郷土文化を学ぶ「いせさき学習堂」を展開するなど、市民の課題解決に役立つ図書館機能の充実に努めています。

文化財保護の分野では、世界遺産構成群の一つである田島弥平旧宅をはじめとする多くの貴重な文化財や伝統文化の適切な保護と活用を進め、市民、子供たちの郷土への誇りと愛着を育んでいます。

本要覧は、現行の各種教育施策を紹介するとともに、本市の教育の歩みや施策の基礎となる各種データ等を掲載しています。皆様にご高覧いただき、ご指導、ご助言を賜りますようお願いを申し上げます。

伊勢崎市教育委員会教育長 三好 賢治

あいさつ



私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少はもとより、頻発する大規模な自然災害、環境問題の深刻化、情報通信技術の急速な進展、価値観・ライフスタイルの多様化、国際情勢の悪化に伴う経済不安など、絶えず変化しています。

特に新型コロナウイルス感染症による歴史的な災禍は、経済活動の停滞を招き、社会は大きく混乱しましたが、新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが2類相当から5類感染症に移行され、感染防止対策が個人や事業者の自主的な判断に委ねることが基本となった現在では、様々なイベントが再開され、かつての賑わいを取り戻しています。

こうした中、本市では、まちづくりの指針となる「第2次伊勢崎市総合計画」に基づき、各分野の施策を横断的に連携させた持続的なまちづくりに取り組み、活力のある元気な都市を目指しているところでございます。

さらに、教育分野でも、「第2期伊勢崎市教育振興基本計画」に基づき、次世代を担う子供たちが生涯を通じて社会で活躍できる資質や能力を習得するために能動的に学び続けられる環境づくりと、市民一人一人が生涯にわたり夢と希望に向かって生き生きと学び続けられる多種多様な学習機会の提供に努めております。

今後も、子供たちが安心して過ごし、学ぶことができるよう、市と教育委員会が一丸となって、社会生活の完全なる再開に向けた教育活動の発展に取り組んでまいります。

結びに、子供たちに明るい未来を引き継げるよう、誰もがお互いの立場を思いやり、支えあう「世代間の共生」を進め、『共に創る 共に生きる』伊勢崎市の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、教育行政に対しまして、多くの皆様のご理解、ご協力を申し上げ、あいさつといたします。

伊勢崎市長 臂 泰雄

目 次

序

あいさつ

目次

市民憲章	1		
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	2		
I 教育行財政		IV 学校給食	
教育委員会	5	学校給食の充実	58
教育のあゆみ	10	V 生涯学習	
令和5年度伊勢崎市一般会計予算	23	生涯学習の充実	63
令和5年度教育費に係る一般会計予算	24	図書館	71
令和5年度教育費項目別予算	25	VI 文化振興	
教育費年度別決算額	26	文化振興	80
II 教育施設		VII 文化財保護	
令和5年度施設建設等主要事業計画	27	文化財の保護と活用	85
令和4年度施設建設等主要事業実績	29	VIII 青少年健全育成	
教育施設一覧	33	心身ともに健全な青少年の育成の推進	96
III 学校教育		青少年非行防止活動の推進	99
令和5年度主要事業	39	IX スポーツ振興	
3つの教育プラン	40	スポーツ振興	102
特別支援教育	41	X 資料	
外国籍児童生徒への学校生活支援	43	歴代の教育長	106
地域の教育力の活用	45	歴代の教育委員	106
各種援助	46		
園児・児童生徒数	47		
学校保健	51		
日本スポーツ振興センター	52		
四ツ葉学園中等教育学校	53		
教育研究所	55		

伊勢崎市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊かな自然に生まれ着実に発展してきました。

わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

伊勢崎市の概要

沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、上野国佐位郡正倉跡（国指定史跡）で「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。また、上植木廃寺は佐位郡の寺院と考えられ、佐位郡衙との関連が指摘されている。境地区北で伊勢崎、東地区との東西一直線の境界は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝塚遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平19年12月14日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区から東地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざままで没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正18年（1590）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の後に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治4年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には8校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治4年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて25校となった。

安政6年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人たちも現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治19年（1886）「染織講習所」を設立、明治29年には伊勢崎染織学校へと発展し、明治33年県へ移管され、この地域の中等教育の走りとなった。この頃の基幹産業であった「伊勢崎銘仙」は、明治末期、昭和初期及び戦後復興期に黄金時代を迎えるが、生活様式の変遷により、昭和50年伝統工芸品として国指定をうけ新たな一歩を踏み出した。近年は利便性に優れた幹線道路網を活かして、製造業や大規模商業施設の進出から、商工業が盛んな産業地域になってきている。

また、近郊農業が盛んで農産物の生産も多い地域である。

平成17年1月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の4市町村が合併し、人口20万人の新伊勢崎市が誕生した。

平成19年4月には、特例市（地方自治法改正により、現在は「施行時特例市」）となり、現在もさらなる発展を続けている。

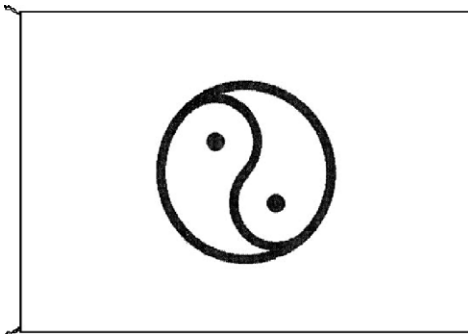
市 章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表しています。

(平成 17 年 2 月 28 日告示)

市 旗



縦の長さは、横の長さの 3 分の 2 とする。

市章の直径は、縦の長さの 5 分の 3 とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2 個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角 45 度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

市の木

松



【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

市の花

ツツジ



サルビア



キク



スイセン



【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかとという考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況

も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成18年12月20日告示)

都市宣言

●人権尊重都市宣言

平成18年12月20日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、だれもが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

●スポーツ都市宣言

平成18年12月20日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心と体をつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

●安心安全都市宣言

平成18年12月20日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとは自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言

平成18年12月20日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

人口・世帯 (令和5年5月1日現在)

人 口	211,922	人
男	106,592	人
女	105,330	人
世帯数	94,575	世帯

位置・面積

北 緯	36° 18′
東 経	139° 11′
海 抜	58.1 m
面 積	139.44 km ²

I 教育行財政

教育委員会

1 教育長

役職名	氏名	就任年月日
教育長	三好賢治	令和3年4月1日

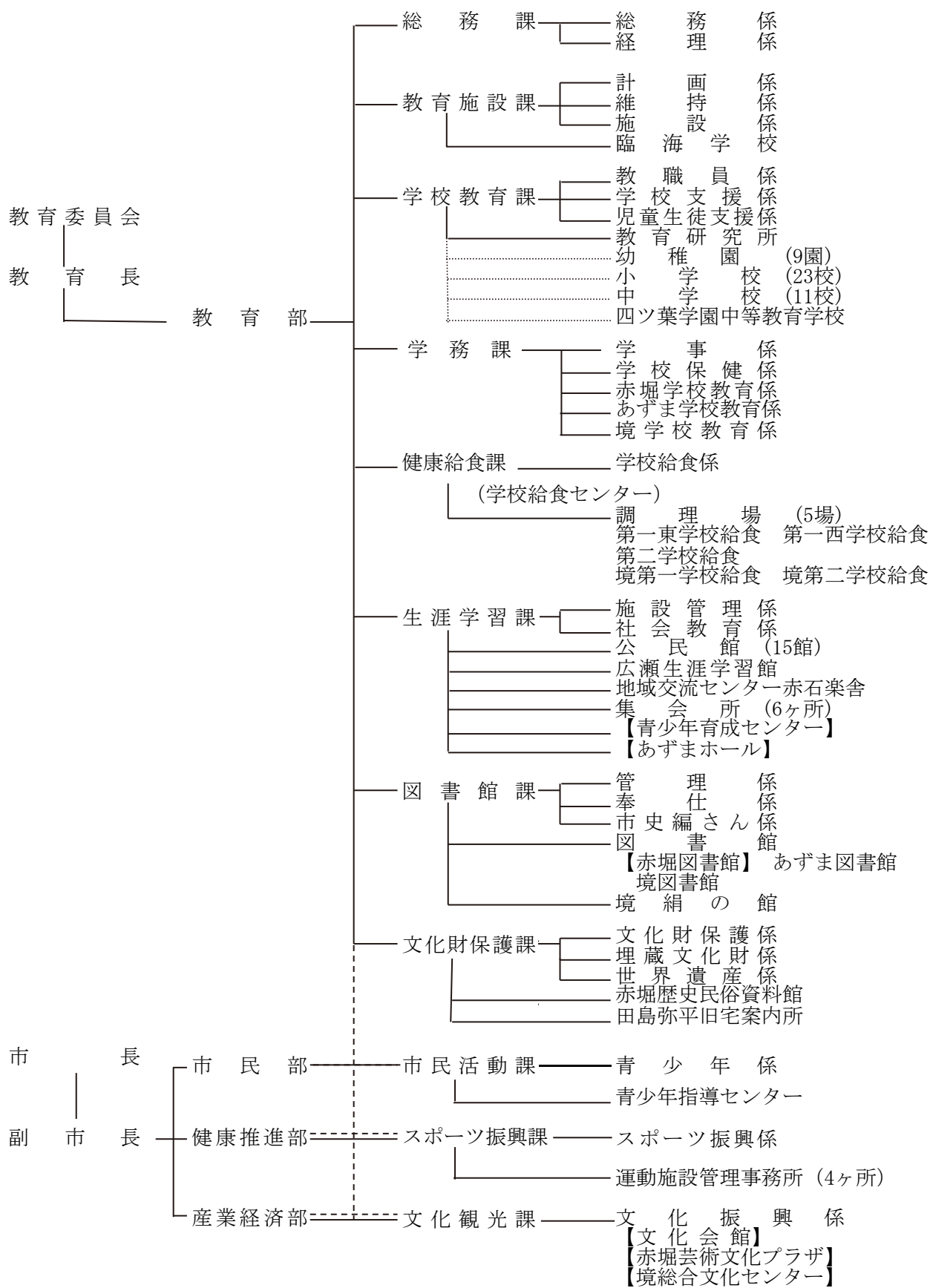
2 教育委員

役職名	氏名	就任年月日
教育長 職務代理人	野口裕孝	令和2年3月24日
委員	山洞広美	令和3年3月24日
委員	里見哲也	令和4年3月24日
委員	野口理英子	令和5年3月24日

3 教育委員会議（令和4年4月～令和5年3月）

会議区分	回数	上程案件	件数
定例会	12	条例の制定・改廃に関する事	1
臨時会	3	規則・訓令の制定・改廃に関する事	11
委員協議会	10	教育行政方針等に関する事	5
		予算、契約、用地取得に関する事	13
		各種委員の委嘱に関する事	19

4 教育委員会機構図 (令和5年4月1日現在)



※【 】：指定管理施設

5 所属別・職種別職員数 (令和5年5月1日現在)

		正規職員																									
		部 長	副 部 長	課 長	課 長 補 佐	館 長 ・ 場 長	係 長 ・ 幹 事	主 査	主 任	主 事	主 事 技 士	労 務 員 計	事 務 員 計	園 長	教 頭	教 諭	教 育 職 員 計	正 規 職 員 合 計	事 務 員	労 務 技 士	学 校 図 書 館 事 務 員	教 諭	幼 稚 園 長 補 佐	3 ・ 4 歳 児 支 援 員	幼 稚 園 子 育 て 支 援 員		
事務局	教育部	1	1									2				0	2										
	総務課			1	2	3	4	2				12				0	12	1	2								
	教育施設課			1	2	1	7	1				12				0	12	3	1								
	学校教育課			1	15		3					19				0	19	3									
	学務課			1	2	1	2	2	1			9				0	9										
	健康給食課			1	2		3					6				0	6										
	生涯学習課			1	4	2	1					8				0	8	8									
	図書館課			1	3	1	6		1	1		13				0	13										
文化財保護課			1	3	2	5	1				12				0	12		7									
学校	幼稚園										0	6	5	22	33	33		7		4	1	9	7				
	小学校										0				0	0	34	23									
	中学校										0				0	0	19	11									
	四ツ葉学園中等教育学校			1	1	1	1			1	5	1	45	46	51	1	1	1									
その他 教育施設	教育研究所										0				0	0											
	学校給食センター					5	2			44	51				0	51	1										
	公民館					15	8	14	3	1	41				0	41	7										
	広瀬生涯学習館										0				0	0	3										
	赤石楽舎										0				0	0	5										
	図書館					2	1	3			6				0	6	20	1									
	赤堀歴史民俗資料館						1		1		2				0	2	3										
田島弥平旧宅案内所						1				1				0	1												
総計		1	1	9	34	22	21	52	10	3	46	199	6	6	67	79	278	55	72	35	4	1	9	7			

※正規職員には再任用職員を含む

会計年度任用職員																							総					
外国語指導助手	外国籍児童生徒支援手	小学校学習生活相談員	中学校教育相談員	部活動指導員	通級教室指導員	インボグリータシエ	少人数指導非常勤講師	教育支援員	学校看護員	校務支援員	非常勤講師	グローバル推進員	教育相談員	理科実習助手	アドバイザ	事務職員	適応指導教室室長	適応指導教室指導員	教育研究所相談員	臨床心理士	調理職	栄養士	ボイラー技士	社会教育指導員	サポートガイド職員	会計年度任用職員合計	合	計
																										0	2	
																											3	15
																											4	16
20	31	1	1																								56	75
																											0	9
																											0	6
																								3			11	19
																											0	13
																											7	19
								4																			32	65
		12			7	20	20	57	2	18								1									194	194
			11	12			3	24		5																	85	85
				2							5	1	3	1													15	66
					1										1	2	4	10	2	2							22	22
																					87	1	1				90	141
																											7	48
																											3	3
																											5	5
																											21	27
																											3	5
																									5		5	6
20	31	13	12	14	8	20	23	85	2	23	5	1	3	1	1	2	4	11	2	2	87	1	1	3	5	563	841	

6 付属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨学生選考委員会委員	11人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
教育支援委員会委員	59人以内	小中学校校長又は小中学校教頭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、県立伊勢崎特別支援学校長、県立伊勢崎特別支援学校教諭、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
いじめ問題対策連絡協議会委員	13人以内	小学校長会長、中学校長会長、教育委員、教育部長、県中央児童相談所長、前橋地方法務局伊勢崎支局長、伊勢崎警察署長、民生委員児童委員連絡協議会長、青少年育成推進員連絡協議会長、子ども会育成会連絡協議会長、PTA連合会長、区長会長、市民部長
学校結核対策委員会委員	8人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学校給食運営委員会委員	15人以内	教育委員、幼稚園・小学校及び中学校の代表、幼稚園・小学校及び中学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生涯学習推進協議会委員	40人以内	関係行政職員、学識経験者
社会教育委員	20人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
公民館運営審議会委員	30人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人権教育推進委員会委員	33人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、その他教育長が必要と認めた者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20人以内	各地域から推薦された者
図書館協議会委員	10人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文化財調査委員	7人以内	学識経験者
赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員	8人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青少年問題協議会委員	24人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
スポーツ推進審議会委員	15人以内	スポーツに関する学識経験のある者
スポーツ推進委員	45人以内	各地区から推薦された者

教育のあゆみ

〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	<p>学制を制定し学区制を発布 (全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を設置) 群馬県では小学校教授細則を告示 (下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級)</p> <p>8. 群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令</p>
1873	6. 6. 9	<p>赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校 明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、東地区1校、境地区では10校が開校。当時、設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い</p>
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」の結成
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校
	6. 9	国定学校独立(明治11年3月19日 校舎竣工)
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を宇南原に竣工
1879	12. 5. 29	小保方学校、字陣屋前に校舎竣工
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南淵塾」を開設
	12.	教育令を改正
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開設
	11.	国定学校、田部井学校に併合される
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる
	8.	佐位那波教育会設立
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染織講習所」を設立
	3.	帝国大学令の発布
	4. 10	<p>小学校令・中学校令・師範学校令の公布 小学校を尋常・高等に分割と尋常科4年の義務制 尋常小学校を伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、東地区2校、境地区7校に設置 高等小学校を伊勢崎町に設置</p> <p>8. 木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立</p>
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所の設立
1888	21. 1.	平塚青年会発足
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり
1889	22. 1.	境町青年進成会、島村青年会が発足
	4.	名和青年会統合

	4. 1	町村制施行 伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、境町、采女村、島村、剛志村が成立 各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校と改称
1890	23. 5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり） 赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称
1891	24. 9. 1	佐位那波郡高等小学校の廃止 伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日 開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置
1892	25. 4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築
1893	26. 4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立
1896	29. 1. 8	伊勢崎盛年会設立 4. 赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称（9月 新築） 4. 1 佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称
1897	30. 11.	三郷尋常小学校校舎竣工
1900	33. 3.	組合立伊勢崎染織学校が県に移管
1901	34. 3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称 11. 15 伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年 佐波学館と改称、昭和7年 閉館）
1902	35. 3. 31	伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置 各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称 東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設
1903	36. 4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置
1905	38. 1. 14	茂呂村青年夜学会開設 2. 県立伊勢崎染織学校が桐生織物学校に統合 3. 31 県立伊勢崎染織学校廃校 4. 名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を開始
1906	39. 4. 1	殖蓮実業補習学校設立。以後各地区に補習学校の開設 4. 15 伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校の設置 5. 31 名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を開始 6. 1 境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）。
1907	40. 3.	小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施 4. 1 伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併し、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容 女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置 11. 28 佐波教育会伊勢崎部会創設
1908	41. 3.	県、土地の事情により農繁休暇を認める 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称 平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立
1909	42.	小保方尋常小学校を東高等小学校に併置
1910	43.	小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足 1. 茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創設

	4. 1	伊勢崎町に県立工業学校開校 この頃から遠足、修学旅行が定例化
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立

〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校の廃校
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設（大正12年4月1日 伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月 県に移管、6月 伊勢崎町宗高に新校舎落成）
	11.	赤堀女子実業補習学校を赤堀尋常小学校に併設 同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設、以後大正期に各町村に創設
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校、大正8年4月 町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館が認可
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齢児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）
1925	14.	中島徳蔵氏が東洋大学学長となる
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校附属幼稚園独立）
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工
1935	10.	東村、南分教場を廃止
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕式実施
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼稚園開園（方面事業助成会経営）
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣清平寄付）
1939	14.	青年学校義務制施行
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣清平）
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を開始（月額1円）
1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置
	8.	青年学校通年昼間制の実施
	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼稚園開園（方面事業助成会経営）
1944	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称

1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失
1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育開始
	4. 29	新制中学校始業式 小学校等の教室で授業開始 昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工
1949	24.	5月 名和村、6月 豊受村、12月 東村、学校給食開始
1950	25.	6月 宮郷村学校給食開始 境島村教会、めぐみ保育園を開設
	8. 29	太刀 銘 備前国長船住守家造が国指定重要文化財に指定
	9.	赤堀村、学校給食を開始

〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙の実施
	11. 1	市町村に教育委員会が発足
1954	29. 3. 20	脇差 銘 備洲長船元重が国指定重要文化財に指定
	4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成
1955	30.	1月 三郷村、3月 名和村、豊受村、宮郷村を合併
	3. 15	宮郷公民館開館
	3. 19	名和公民館開館
	3. 22	豊受公民館開館
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）
	4. 8	市教育研究所発足
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館
	4. 1	宮郷幼稚園開園
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館
1958	33. 2. 8	埴輪男子立像（2軀）、埴輪男子倚像、埴輪武装男子立像が国指定重要文化財に指定
	2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現在の第一幼稚園に位置）
	8. 5	境町立東小学校開校
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置
1963	38. 3. 2	殖蓮公民館落成式
	4. 15	東村公民館竣工（移転）
	8. 1	境町立図書館開館

	10.	東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）
1964	39. 4. 1	境町立境中・島中を統合し、境町立南中学校に校名変更 境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更 東村立東中学校に特殊学級設置
1965	40. 4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置
	7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足
1966	41. 3. 19	伊勢崎市宮野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとりに巨人－大洋戦開催）
	8. 25	境町立南中学校校舎完成
	9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊
1967	42. 3. 18	境町東公民館完成
	4. 1	伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称 伊勢崎市立名和中学校と豊受中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校と改称
	5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成
	5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成
1968	43. 2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転
	4. 27	伊勢崎市宮陸上競技場完成
	11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所に設置）
1969	44. 1. 23	三郷公民館新築工事完成
	3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	東村立東幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）
	8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成
	9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転
	10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）
1970	45. 2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学
	4. 24	境町中央公民館完成
	6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園
	7. 1	伊勢崎市中央公民館開館
	12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる
1971	46. 2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成
	3.	伊勢崎市庭球場完成
	4. 1	養護学校に小学部が設置 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする 豊受幼稚園開園
	6.	伊勢崎市民プール完成
	12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成
1972	47. 3. 31	宮郷公民館新築工事完成 境町立境小学校分校廃校
	3.	伊勢崎市弓道場完成
	4. 1	名和幼稚園開園
	4.	利根川河川境運動場設置
	7. 3	名和小学校校舎焼失
	10. 1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を 発刊
	12. 22	移動図書館「わかくさ」巡回開始

1973	48.	1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成	
		1.	赤堀剣道場完成	
		3.	東村立東幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）	
		3. 20	名和小学校復旧校舎新築工事完成	
		3. 25	豊受公民館新築工事完成 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成	
		6. 15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校	
		7. 20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成	
	1974	49.	7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成
		10. 28	三郷小学校校舎新築工事完成	
1975	50.	1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校	
		3. 10	道伝集会所新築工事完成	
		4.	赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）	
		10. 23	東村文化協会設立	
		11. 1	赤堀村文化協会設立	
1976		11.	境上武公園野球場・テニス場完成	
	51.	1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園	
		3. 20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成	
		7.	赤堀中央運動場完成（野球場・テニスコート）	
1977		12. 31	豊受小学校校舎新築工事完成	
	52.	3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館	
		3.	赤堀村立幼稚園新園舎開園	
		3. 20	宮子町集会所新築工事完成	
		3. 31	柴町集会所新築工事完成	
		4.	境いよく野球場完成	
1978		4. 1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置） 境町社会体育館開館（2月 完成）	
	53.	4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）	
		6.	境いよくテニス場完成	
		7. 31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成	
		8. 2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成	
		11.	赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式	
	1979	54.	1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）
		3. 25	連取町集会所新築工事完成	
		4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）	
		4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始	
		6.	赤堀村立赤堀中学校室内運動場新設	
		8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工	
		11. 10	伊勢崎市民体育館落成 スポーツ都市宣言を行う	
		11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成	
1980		55.	3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）
			3. 25	名和公民館新築工事完成
		3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成	

1981	5.	赤堀体育館完成
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成
	56. 2. 25	東給食センター竣工
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月 解体）
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用） 文化会館開館
1982	4.	赤堀村学校給食調理場新築
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成
	57. 3. 15	伊勢崎市ソフトボール場・第二グラウンド完成
1983	3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成
	3.	三室西公園運動場完成（多目的広場・テニスコート）
	4. 1	坂東小学校開校
	4. 1	坂東幼稚園開園
	7. 1	境町流水プール開場（6月 完成）
	10.	赤堀香林運動公園完成
	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成
	3.	第二市民体育館 県立伊勢崎商業高等学校から伊勢崎市へ移管
1984	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託
	7. 27	伊勢崎市教育研究所完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転 県下初の独立建物となる
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会（ソフトボール、バレーボールの競技） の開催
1985	10. 27	女堀が国指定史跡に指定
	59. 4. 1	伊勢崎市立第四中学校開校（豊受小と坂東小の通学区域）
	8. 25	日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第 三中学校が対戦
1986	10. 15	伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成
	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊
	3.	伊勢崎市庭球場改修工事完成
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館
1987	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立
	4.	赤堀コミュニティひろば完成
1987	6. 7	境町立図書館現在地に移転 絹の館開館
	10.	赤堀村町制施行
	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工
	3. 25	茂呂公民館新築工事完成

1988	4. 1	東村立北小学校開校
	3. 10	伊勢崎市補助競技場完成
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリ州スプリングフィールド市）
	63. 1. 11	十三宝塚遺跡が国指定史跡に指定
	2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成
	3. 27	東村中央公民館完成 あずま総合運動公園完成
	8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成
	11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）

〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1989	平成元. 2. 8	生涯学習推進会議発足
	3. 23	境町剛志公民館新築工事完成
	3.	あずま総合運動公園テニスコート完成
	3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園
	4. 1	境町剛志公民館開館
	6. 7	境町総合運動場開場（5月 完成）
1990	2. 3.	境矢ノ原公園運動場完成
	4. 1	境町武道館開館（3月 完成）
	8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）
	8. 24	伊勢崎市相撲場完成（華蔵寺公園運動施設内）
	9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館
1991	3. 10	伊勢崎市弓道場建替完成
	3. 3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立
	4.	赤堀町立南小学校開校
	5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒の来村
1992	11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成
	4. 3.	境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場完成
	8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）
	8.	赤堀西部スポーツ公園完成 （野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）
1993	9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）
	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）
	5. 29	境町文化協会設立
1994	6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）
	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式
1995	10. 1	東村営野球場あずまスタジアム完成 東村営弓道場完成
	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成

	3.	境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場完成
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設
	4.	あずまゲートボール場設置(借地)
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成
	3.	東村宮野球場あずまサブスタジアム完成
	5. 24	境総合文化センター開館
	10. 6	東村宮サッカースタジアム完成
1997	11. 2~5	第9回全国スポーツレクリエーション祭、女子ソフトボール大会開催
	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成
	3.	境弓道場完成
	9. 11	国指定史跡 女堀の追加指定
	10. 1	境町絹の館に金井烏州記念室設置
1998	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成
	3.	伊勢崎市野球場改修工事完成
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園 図書館広域ネットワーク化
	5. 3	あずまウォーターランド竣工
1999	11. 3	つつみ公園グラウンドゴルフ場完成
	11. 7. 8	東村立図書館開館
2000	12. 4. 1	赤堀町立東小学校開校
	6. 15	華蔵寺のキンモクセイが国指天然記念物に指定
2001	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式
	3. 27	赤堀グラウンドゴルフ場完成
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園
	4. 1	宮郷第二小学校開校
	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001が開催され、伊勢崎市出身の民謡研究者町田佳聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催
2002	14. 4.	完全学校週5日制開始
	7.	あかぼり運動公園テニス場完成
2003	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成
	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎(特別教室)完成
2004	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工
	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成
	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工
2005	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更
2006	18. 3.	三室西公園スケートボード場完成(テニスコートをスケートボード場に改修)
	4. 1	青少年育成センターが県より移管
	12. 20	スポーツ都市宣言
2007	19. 4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離
	5. 25	伊勢崎市文化協会設立(旧市町村ごとにあった文化協会の統合)
2008	20. 4. 1	県立前橋高等養護学校(伊勢崎分校)が旧県立境高等学校に開校 北小学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
2009	21. 3. 14	北小学校全面改築竣工式

	3.	図書館年間貸し出し100万点達成
	4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校 北小学校が特認校となる
2010	11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工式
	22. 5. 14	伊勢崎市ラグビー場完成（平成23年5月1日供用開始）
	6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成
	11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成
	12. 10	三郷幼稚園園舎竣工（園庭の芝生化）
2011	23. 1. 24	北第二小学校体育館竣工
	3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成
	8. 3～16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	9. 30	市庭球場改修工事（コート・スタンド・フェンス・トイレ）完成
	10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結
	12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成
2012	24. 2. 29	宮郷中学校・赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成
	3. 15	第二市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	8. 3～16	市内中学校・中等教育学校の生徒44人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	8. 31	小学校（市内全校）空調整備工事完成
	9. 19	田島弥平旧宅が国指定史跡に指定
2013	25. 1. 28	幼稚園（市内全園）空調整備工事完成
	3. 15	中学校（市内全校）空調整備工事完成
	3. 15	あずま体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立特別支援学校として県へ移管
	4. 1	新公益法人制度により財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市体育協会へ移行
	4. 1	赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
	8. 3～16	海外語学研修の参加生徒数を60人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	11. 29	第一幼稚園園舎耐震補強工事完成
	12. 13	境小学校、境采女小学校校舎耐震補強工事完成
	12. 27	第三中学校体育館耐震補強工事完成
2014	26. 1. 31	広瀬小学校体育館耐震補強工事完成
	2. 10	殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事完成
	2. 28	市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	3. 14	赤堀体育館改修工事（更衣室・トイレ・事務室）完成
	6. 25	田島弥平旧宅「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産登録
	8. 2～15	海外語学研修の参加生徒数を70人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	10. 6	上野国佐位郡正倉跡が国指定史跡に指定
	10. 31	殖蓮第二小学校校舎耐震補強工事完成
	11. 10	南幼稚園園舎耐震補強工事完成
	11. 14	境采女小学校校舎耐震補強工事（第2期）完成

2015	11. 17	境東小学校校舎耐震補強工事（第1期）完成
	27. 1. 16	広瀬小学校校舎耐震補強工事完成
	1. 30	第三中学校校舎耐震補強工事完成
	2. 6	小学校トイレ改修工事完成（9校）
	2. 20	宮郷中学校体育館耐震補強及び増築工事完成
	2. 20	あずまスタジアムスタンド等改修工事完成
	3. 14	赤堀中学校全面改築竣工式
	3. 16	境公民館全面改築竣工式
	7. 17	学校規模の適正化に関する基本方針の決定
	11. 13	地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正により「総合教育会議」設置 第1回総合教育会議の実施
2016	28. 1. 29	小学校トイレ改修工事完成（6校）
	2. 16	教育に関する「大綱」の策定
	2. 19	境いよくテニス場人工芝張替工事完成
	3. 26	境島小学校閉校式
	3. 31	境島小学校閉校
	3. 31	伊勢崎市西小保方沼公園グラウンドゴルフ場完成（平成28年5月11日オープン）
	8. 12～18	夏季休業中における学校閉庁日開始（毎年1週間程度実施）
	10. 19	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定締結を更新・継続に係る調印
2017	29. 1. 27	あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場完成
	2. 22	小学校トイレ改修工事完成（8校）
	3. 10	あずま総合運動公園テニスコート改修・照明設備改修工事完成
	3. 13	三郷小学校プール改修工事・機械設備工事完成
	3. 17	就学前教育・保育のあり方に関する基本方針の決定
	3. 23	北公民館耐震改修工事・機械設備工事完成
	3.	旧境島小学校校舎の有効活用に関する計画書の策定
	4. 1	豊受幼稚園休園 新教育委員会制度に全面移行 3年保育試行実施（第一幼稚園、名和幼稚園、あかぼり幼稚園） すべての中学校区毎にコミュニティ・スクールを設置し「伊勢崎学府制」がスタート 一般財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会へ団体名変更 伊勢崎市つなとりスポーツ広場（旧仮称スポーツ広場）が高齢政策課より移管
	12. 7	中学校トイレ改修工事完成（10校）
	2018	30. 3. 9
3. 15		陸上競技場2種公認整備工事完成
3. 16		伊勢崎市野球場スコアボード改修工事完成（磁気反転式→LED）
3. 20		名和小学校プール新築工事完成
4. 1		3年保育実施（殖蓮幼稚園、宮郷幼稚園、あずま幼稚園）
7. 9		夏休み子どもイベントinいせさき パンフレット作成
9. 8		田島弥平旧宅案内所開所

2019	12. 28	陸上競技場管理棟耐震改修工事完成
	31. 3. 15	第一学校給食調理場新築工事完成
	3. 28	宮郷公民館全面改築竣工式
	3. 31	豊受幼稚園閉園

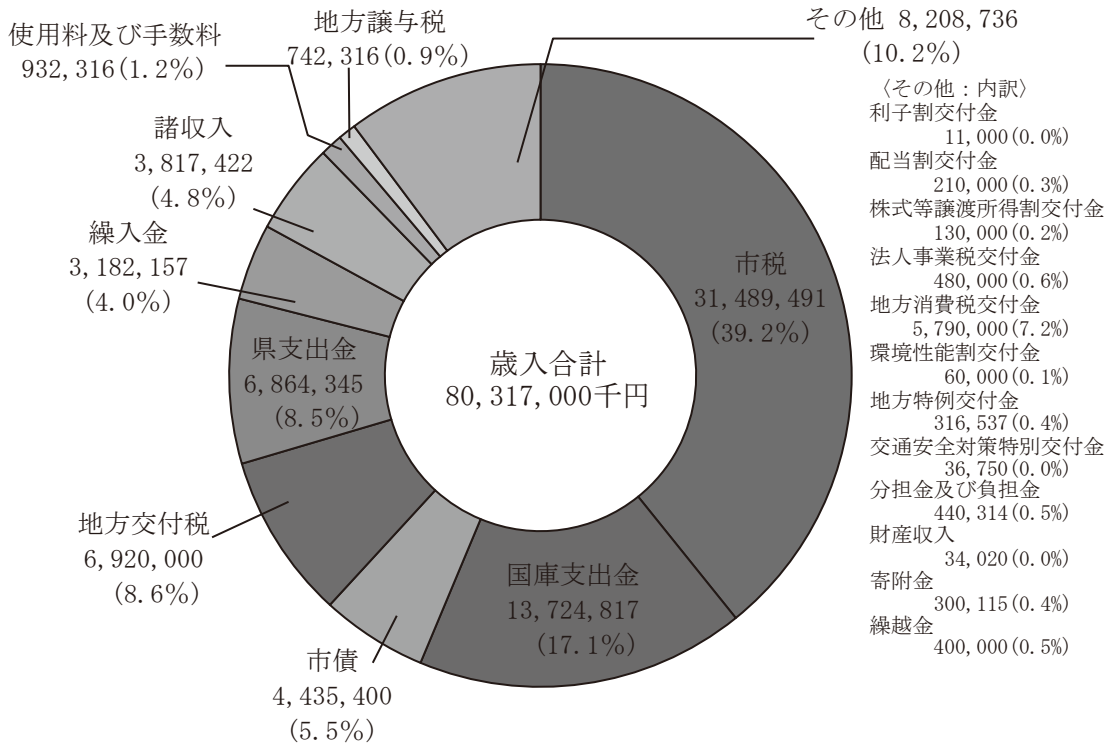
〈令和から〉

西暦	年代	主 な 事 項
2020	令和元. 8. 27	第一学校給食調理場給食提供開始 (旧) 第一学校給食調理場、赤堀学校給食調理場、あずま学校給食調理場閉場
	10.	2018/2019シーズン 伊勢崎市の小学生における季節性インフルエンザ調査に協力し 報告書完成 (群馬大学大学院医学系研究科)
	2. 2. 13	教育部所管施設個別施設計画の策定
	3.	第2期伊勢崎市教育振興基本計画の策定
	3.	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業 (小・中学校・四ツ葉学園中等教育 学校及び教育関連施設)
	3. 13	赤堀体育館屋根・外壁改修工事完成
	3. 25	あずま小学校プール改築工事完成
	3. 26	あずま小学校校舎増築工事完成
2021	12. 11	あずまウォーターランドパネルヒーター交換工事
	3. 3. 1	史跡田島弥平旧宅別荘・冷蔵庫跡修復整備工事完成
	3. 15	三室西公園運動場駐車場造成工事
	3. 15	華蔵寺公園運動施設電気設備更新工事
	3. 23	宮郷中学校プール新築工事完成
2022	4. 11	伊勢崎市図書館開館100周年
	4. 3. 15	伊勢崎市ラグビー場整備工事
	3. 31	伊勢崎市民プール廃止
2023	4. 1	南幼稚園休園 茂呂幼稚園休園
	5. 1. 31	市陸上競技場第3種公認備品更新
	2. 7	伊勢崎市あずま弓道場外壁等改修工事完成
	2. 28	伊勢崎市陸上競技場3種公認工事完成
	3. 15	赤堀中央グラウンドゴルフ場整備工事完成 伊勢崎市赤堀体育館照明改修工事完成
	6. 30	史跡田島弥平旧宅東門整備工事完成

令和5年度伊勢崎市一般会計予算

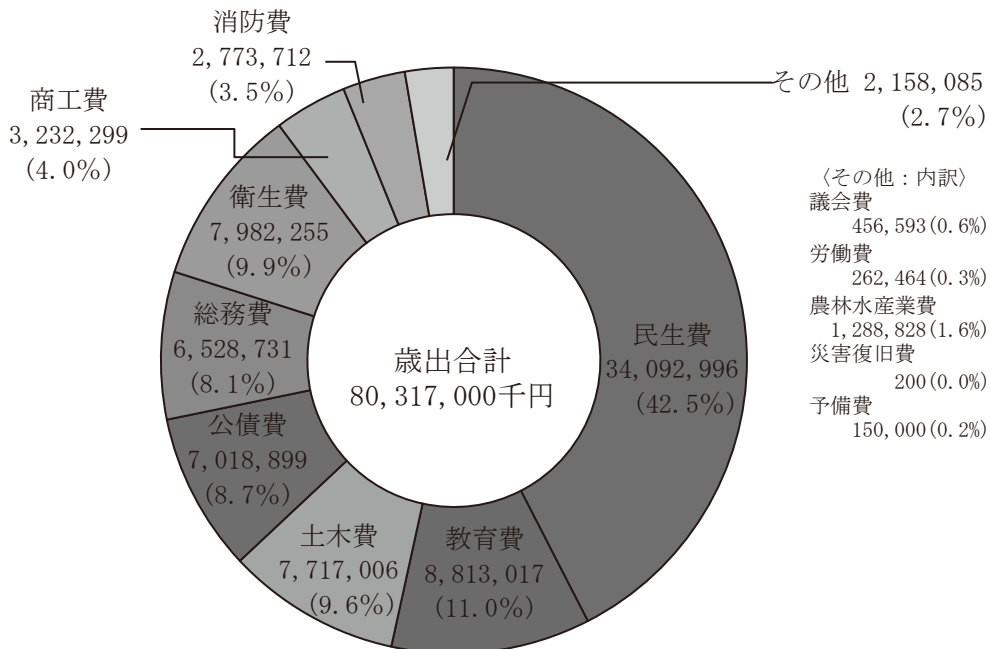
歳入

(単位：千円)



歳出

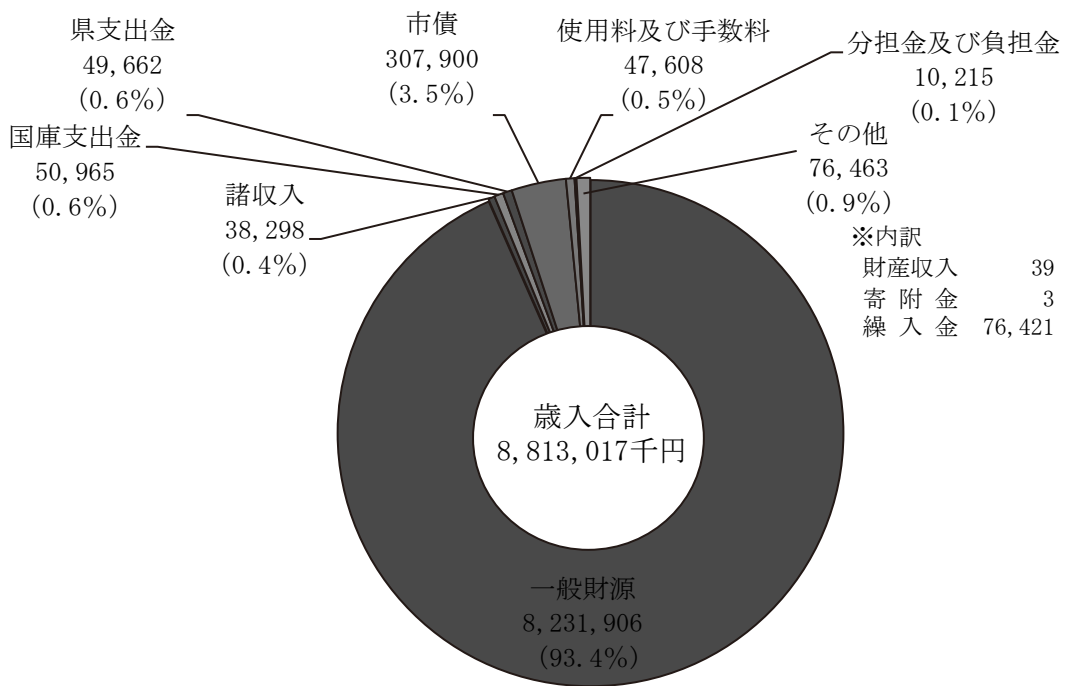
(単位：千円)



令和5年度教育費に係る一般会計予算

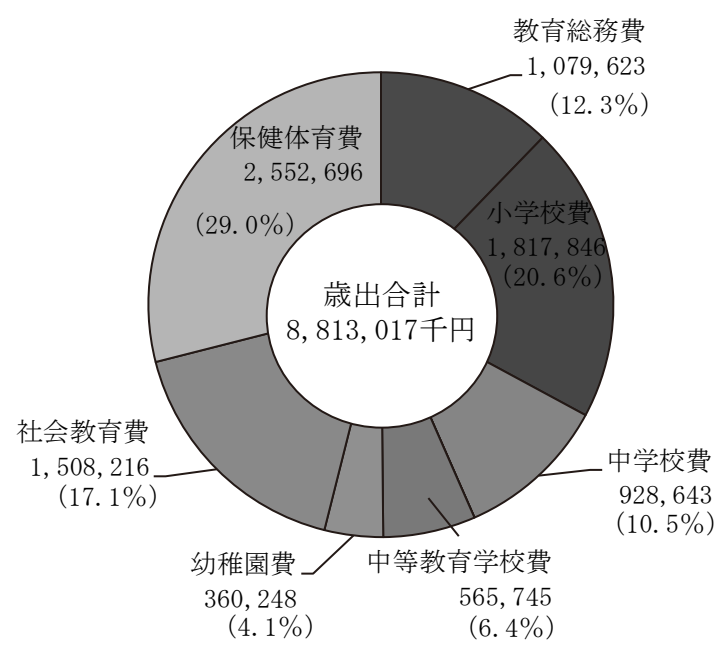
歳入

(単位：千円)



歳出

(単位：千円)



令和5年度 教育費項目別予算

項 目	年 度		令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減額 (A)-(B)	前年度比 (A)/(B)	令和4年度 決算額
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比			
1 教育総務費	千円 1,079,623	% 12.25	千円 1,102,198	% 15.48	千円 △ 22,575	% 97.95	千円 1,011,574		
1 教育委員会費	4,597	0.05	4,659	0.07	△ 62	98.67	3,828		
2 事務局費	884,690	10.04	954,616	13.18	△ 69,926	92.67	891,541		
3 教育指導費	69,170	0.78	67,861	1.23	1,309	101.93	59,444		
4 教育研究所費	100,141	1.14	53,211	0.71	46,930	188.20	52,097		
5 臨海学校費	21,025	0.24	21,851	0.30	△ 826	96.22	4,664		
2 小学校費	1,817,846	20.63	1,162,968	16.12	654,878	156.31	1,389,941		
1 学校管理費	1,378,642	15.64	901,408	11.54	477,234	152.94	1,121,625		
2 教育振興費	439,204	4.99	261,560	4.59	177,644	167.92	268,316		
3 中学校費	928,643	10.54	710,413	9.58	218,230	130.72	798,267		
1 学校管理費	615,148	6.98	409,554	5.28	205,594	150.20	517,329		
2 教育振興費	313,495	3.56	300,859	4.30	12,636	104.20	280,938		
4 中等教育学校費	565,745	6.42	554,295	7.95	11,450	102.07	531,390		
1 中等教育学校総務費	449,672	5.11	456,872	6.64	△ 7,200	98.42	438,355		
2 学校管理費	76,965	0.87	60,506	0.78	16,459	127.20	57,054		
3 教育振興費	39,108	0.44	36,917	0.53	2,191	105.93	35,981		
5 幼稚園費	360,248	4.09	389,340	5.64	△ 29,092	92.53	328,350		
1 幼稚園費	360,248	4.09	389,340	5.64	△ 29,092	92.53	328,350		
6 社会教育費	1,508,216	17.11	1,414,631	18.71	93,585	106.62	1,356,765		
1 社会教育総務費	957,297	10.86	948,367	13.06	8,930	100.94	921,812		
2 公民館費	215,074	2.44	128,149	1.77	86,925	167.83	121,464		
3 図書館費	173,889	1.97	151,293	1.93	22,596	114.94	150,739		
4 青少年対策費	23,179	0.26	19,527	0.28	3,652	118.70	16,719		
5 文化財保護費	138,777	1.58	167,295	1.67	△ 28,518	82.95	146,031		
7 保健体育費	2,552,696	28.96	2,176,132	26.50	376,564	117.30	2,060,195		
1 保健体育総務費	1,781,388	20.21	1,499,245	21.47	282,143	118.82	1,526,772		
2 体育施設費	771,308	8.75	676,887	5.03	94,421	113.95	533,423		
計	8,813,017	100.00	7,509,977	100.00	1,303,040	117.35	7,476,482		

教育費年度別決算額

項 目	年 度			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1 教育総務費	千円 1,315,007	千円 989,322	千円 992,807	千円 1,011,574
1 教育委員会費	4,320	3,708	3,715	3,828
2 事務局費	995,858	886,318	864,274	891,541
3 教育指導費	241,098	43,202	71,653	59,444
4 教育研究所費	45,116	49,103	49,411	52,097
5 臨海学校費	28,615	6,991	3,754	4,664
2 小学校費	1,369,046	1,748,521	1,545,624	1,389,941
1 学校管理費	590,339	863,481	880,737	1,121,625
2 教育振興費	449,631	885,040	664,887	268,316
3 学校建設費	329,076	0	0	0
3 中学校費	527,422	1,192,943	649,430	798,267
1 学校管理費	292,394	425,913	385,501	517,329
2 教育振興費	235,028	601,088	263,929	280,938
3 学校建設費	0	165,942	0	0
4 中等教育学校費	534,260	568,422	524,297	531,390
1 中等教育学校総務費	446,324	451,871	437,707	438,355
2 学校管理費	53,755	41,489	46,057	57,054
3 教育振興費	34,181	75,062	40,533	35,981
5 幼稚園費	381,273	380,197	360,311	328,350
1 幼稚園費	381,273	380,197	360,311	328,350
2 学校建設費	0	0	0	0
6 社会教育費	1,406,625	1,269,207	1,236,431	1,356,765
1 社会教育総務費	899,338	902,495	898,444	921,812
2 公民館費	160,197	119,517	105,052	121,464
3 図書館費	148,333	128,781	137,226	150,739
4 青少年対策費	24,776	26,592	12,634	16,719
5 文化財保護費	173,981	91,822	83,075	146,031
7 保健体育費	1,891,695	1,463,725	1,794,159	2,060,195
1 保健体育総務費	1,390,216	1,091,481	1,465,929	1,526,772
2 体育施設費	501,479	372,244	328,230	533,423
計	7,425,328	7,612,337	7,103,059	7,476,482

Ⅱ 教育施設

令和5年度施設建設等主要事業計画

- 1 境小学校校庭整備実施設計業務委託
- 2 境采女小学校体育館照明設備更新工事
- 3 名和小学校体育館照明設備更新工事
- 4 広瀬小学校体育館照明設備更新工事
- 5 赤堀小学校体育館照明設備更新工事
- 6 あずま北小学校体育館照明設備更新工事
- 7 境剛志小学校体育館照明設備更新工事
- 8 あずま小学校校庭整備工事
- 9 広瀬小学校エレベーター設置工事
- 10 殖蓮小学校外壁改修工事
- 11 豊受小学校プール改修工事
- 12 名和小学校南校舎屋上防水改修工事
- 13 あずま北小学校プール塗装改修工事
- 14 茂呂小学校インターホン更新工事
- 15 赤堀小学校東校舎中規模改修工事
- 16 赤堀小学校東校舎中規模改修電気設備工事
- 17 赤堀小学校東校舎中規模改修機械設備工事
- 18 赤堀小学校東校舎空調設備更新工事
- 19 赤堀小学校外構工事
- 20 名和小学校南校舎長寿命化改修工事設計業務委託
- 21 宮郷第二小学校管理諸室外空調設備更新工事
- 22 殖蓮第二小学校管理諸室空調設備更新工事
- 23 三郷小学校管理諸室空調設備更新工事
- 24 赤堀小学校管理諸室空調設備更新工事
- 25 あずま小学校管理諸室空調設備更新工事
- 26 第一中学校体育館照明設備更新工事
- 27 あずま中学校体育館照明設備更新工事
- 28 境北中学校体育館照明設備更新工事
- 29 第四中学校東校舎屋上防水改修工事
- 30 あずま中学校給水ポンプ改修工事
- 31 第四中学校インターホン更新工事
- 32 宮郷中学校外壁改修工事
- 33 第三中学校囲障等改修工事
- 34 境北中学校囲障改修工事

- 35 第一中学校武道場大規模改修工事
- 36 第一中学校武道場大規模改修機械設備工事
- 37 あずま幼稚園（遊戯棟・管理棟）トイレ改修工事
- 38 あずま幼稚園遊具改修工事
- 39 第一幼稚園屋上防水改修工事
- 40 適応指導境教室（旧豊受幼稚園）改修工事
- 41 第二学校給食調理場舗装改修工事
- 42 境第一学校給食調理場南面外壁改修工事
- 43 境東公民館玄関ホール・ロビー他空調機交換工事
- 44 赤堀公民館分館ホール空調設備改修工事
- 45 赤堀公民館講義室空調設備改修工事
- 46 あずま公民館講義室空調機入替工事
- 47 境島村公民館事務室エアコン改修工事
- 48 赤堀公民館高圧設備改修工事
- 49 境東公民館大ホール照明工事
- 50 あずま公民館放送設備入替工事
- 51 連取町集会所和室エアコン新設工事
- 52 あずま図書館外非常用照明等更新工事
- 53 伊勢崎市図書館外トランス更新工事
- 54 境図書館駐車場整備工事
- 55 史跡女堀整備工事(水路護岸整備)
- 56 市庭球場スタンド防水シート改修工事
- 57 市民プール解体整地工事
- 58 市庭球場防球ネット改修工事
- 59 第二市民体育館救護室設置工事
- 60 境体育館耐震補強改修工事
- 61 文化会館消防設備更新工事
- 62 文化会館大ホール舞台機構設備改修工事
- 63 境総合文化センター受水槽設備交換工事
- 64 境総合文化センター高圧引込ケーブル交換工事

令和4年度施設建設等主要事業実績

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
あずま小学校校庭整備実施設計業務委託	あずま小学校の校庭整備工事の設計委託	4,730,000	-	-	-	4,730,000
広瀬小学校エレベーター設置設計業務委託	広瀬小学校のエレベーター設置工事の設計委託	3,080,000	-	-	-	3,080,000
広瀬小学校職員玄関タイル改修工事	広瀬小学校の職員玄関のタイルを改修する工事	1,297,571	-	-	-	1,297,571
豊受小学校体育館照明設備更新工事	豊受小学校の体育館照明をLED化する工事	9,295,000	-	37,000,000	1,100,000	4,466,700
あずま小学校体育館照明設備更新工事	あずま小学校の体育館照明をLED化する工事	11,869,000				
境小学校体育館照明設備更新工事	境小学校の体育館照明をLED化する工事	11,495,000				
宮郷小学校体育館照明設備更新工事	宮郷小学校の体育館照明をLED化する工事	9,907,700				
赤堀東小学校外2校屋上防水等改修工事	赤堀東、赤堀南、宮郷第二小学校の屋上防水を改修する工事	16,731,000	-	-	-	16,731,000
境剛志小学校教室天井改修工事	境剛志小学校の折れ天井を平天井に改修する工事	5,798,320	-	-	-	5,798,320
北第二小学校屋上防水改修工事	北第二小学校の屋上防水を改修する工事	19,206,000	-	-	-	19,206,000
あずま南小学校プール管理棟防水改修工事	あずま南小学校のプール管理棟の屋上防水を改修する工事	1,287,000	-	-	-	1,287,000
殖蓮小学校北校舎屋上防水改修工事	殖蓮小学校の北校舎の屋上防水を改修する工事	16,500,000	-	-	-	16,500,000
豊受小学校インターホン更新工事	豊受小学校のインターホンを更新する工事	5,346,000	-	-	-	5,346,000
殖蓮小学校フェンス改修工事	殖蓮小学校の外周部のフェンスを改修する工事	3,410,000	-	-	-	3,410,000
豊受小学校焼却炉撤去工事	豊受小学校の焼却炉を撤去する工事	2,519,000	-	-	-	2,519,000
北第二小学校フェンス等改修工事	北第二小学校のフェンスを改修し、焼却炉を撤去する工事	6,556,000	-	-	-	6,556,000

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
殖蓮第二小学校給食受入室シャッター交換工事	殖蓮第二小学校の給食受入室のシャッターを交換する工事	1,265,000	-	-	-	1,265,000
茂呂小学校給食受入室シャッター交換工事	茂呂小学校の給食受入室のシャッターを交換する工事	1,188,000	-	-	-	1,188,000
宮郷小学校体育館ギャラリー床改修工事	宮郷小学の体育館ギャラリーの床を改修する工事	1,265,000	-	-	-	1,265,000
坂東小学校教室黒板改修工事	坂東小学校の教室の黒板を改修する工事	1,265,000	-	-	-	1,265,000
南小学校中庭排水等改修工事	南小学校の中庭の排水等を改修する工事	1,100,000	-	-	-	1,100,000
広瀬小学校外2校遊具改修工事	広瀬、あずま、境采女小学校の遊具を改修する工事	3,696,000	-	-	-	3,696,000
豊受小学校プールサイド塗装改修工事	豊受小学校のプールサイドの塗装を改修する工事	1,298,000	-	-	-	1,298,000
赤堀南小学校落下防止手摺改修工事	赤堀南小学校のバルコニーの落下防止手摺を改修する工事	1,254,000	-	-	-	1,254,000
南小学校体育館外壁等改修工事	南小学校の体育館の外壁等を改修する工事	1,265,000	-	-	-	1,265,000
北小学校空調設備更新工事(第4期)	北小学校の空調設備を更新する工事	29,073,000	-	-	-	29,073,000
宮郷小学校空調設備更新工事	宮郷小学校のプレハブ校舎の空調設備を更新する工事	8,283,000	7,971,000	19,700,000	-	192,000
茂呂小学校管理諸室空調設備更新工事	茂呂小学校の管理諸室の空調設備を更新する工事	19,580,000				
境采女小学校南校舎中規模改修工事	境采女小学校の南校舎を中規模改修する工事	92,708,000	29,288,000	110,500,000	-	2,310,000
境采女小学校南校舎中規模改修及び空調設備更新工事(電気)	境采女小学校南校舎中規模改修及び空調設備更新に伴う電気設備工事	13,354,000				
境采女小学校南校舎中規模改修及び空調設備更新工事(機械)	境采女小学校南校舎中規模改修及び空調設備更新に伴う機械設備工事	36,036,000				
赤堀小学校外構工事	赤堀小学校の東校舎周囲の外構工事	11,825,000	-	-	-	11,825,000
境北中学校外壁南面改修工事	境北中学校の校舎の外壁を改修する工事	32,131,000	-	-	-	32,131,000

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
第四中学校渡り廊下建具改修工事	第四中学校の渡り廊下の建具を改修する工事	1,309,000	-	-	-	1,309,000
殖蓮中学校外1校駐輪場等改修工事	殖蓮、宮郷中学校の駐輪場等を改修する工事	8,921,000	-	-	-	8,921,000
第一中学校焼却炉撤去工事	第一中学校の焼却炉を撤去する工事	1,760,000	-	-	-	1,760,000
赤堀中学校柔剣道場建具改修工事	赤堀中学校の柔剣道場の建具を改修する工事	1,998,700	-	-	-	1,998,700
第一中学校管理諸室空調設備更新工事	第一中学校の管理諸室の空調設備を更新する工事	17,380,000	20,711,000	50,800,000	-	319,000
あずま中学校管理諸室空調設備更新工事	あずま中学校の管理諸室の空調設備を更新する工事	39,072,000				
境北中学校管理諸室空調設備更新工事	境北中学校の管理諸室の空調設備を更新する工事	15,378,000				
第一中学校武道場大規模改修工事設計業務委託	第一中学校の武道場の大規模改修の設計委託	4,048,000	-	-	-	4,048,000
第一幼稚園物置等改修工事	第一幼稚園の物置を撤去新設し、駐車場を舗装する工事	3,593,590	-	-	-	3,593,590
あかぼり幼稚園プール改築工事	あかぼり幼稚園のプールを改築する工事	8,514,000	-	-	-	8,514,000
適応指導鹿島教室外空調設備取替工事	適応指導鹿島教室外の空調設備を更新する工事	2,409,000	-	-	-	2,409,000
教育研究所外通路舗装工事	教育研究所の外通路を舗装する工事	2,420,000	-	-	-	2,420,000
第二学校給食調理場ボイラー改修工事	第二学校給食調理場のボイラー機器を交換する工事	10,824,000				10,824,000
境第一学校給食調理場北面外壁改修工事	境第一学校給食調理場の北面外壁を改修する工事	5,269,000				5,269,000
第二学校給食調理場準備室外空調設備改修工事	第二学校給食調理場の準備室等の空調設備を交換する工事	2,475,000				2,475,000
広瀬生涯学習館第四学習室エアコン改修工事	広瀬生涯学習館の第四学習室のエアコンを改修する工事	3,003,000	-	-	-	3,003,000
あずま公民館1階第1会議室空調設備改修工事	あずま公民館の第1会議室の空調設備を改修する工事	2,739,000	-	-	-	2,739,000

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
赤堀公民館第2研修室空調設備改修工事	赤堀公民館の第2研修室の空調設備を改修する工事	1,298,000	—	—	—	1,298,000
赤堀公民館照明改修工事	赤堀公民館のホール照明器具交換及び玄関ロビー吹抜けの照明器具を増設する工事	1,265,000	—	—	—	1,265,000
名和公民館会議室エアコン改修工事	名和公民館の会議室のエアコンを改修する工事	2,134,000	—	—	—	2,134,000
境剛志公民館研修室エアコン取替工事	境剛志公民館の研修室のエアコン取替工事	2,508,000	—	—	—	2,508,000
南公民館トイレ改修工事	南公民館の和式便器を洋式便器に改修する工事	1,925,000	—	—	—	1,925,000
あずま図書館高压設備更新工事	あずま図書館の経年劣化した高压設備を更新する工事	2,409,000	—	—	—	2,409,000
史跡田島弥平旧宅東門整備工事	史跡田島弥平旧宅東門を整備する工事 木工事・屋根工事・左官工事・建具工事・耐震補強工事・外構工事外一式	16,313,000	8,057,000	—	4,028,000	4,228,000
史跡女堀整備工事	掘削排土復元・修理、水路護岸整備	19,195,000	9,597,000	—	2,879,000	6,719,000
伊勢崎市弓道場照明器具改修工事	弓道場の照明器具をLEDに改修する工事	1,255,540	—	—	—	1,255,540
陸上競技場スタンド等防水改修工事	陸上競技場のスタンド等防水改修工事	57,200,000	—	44,300,000	—	12,900,000
(仮称)赤堀地区グラウンドゴルフ場整備事業	グラウンドゴルフ場用地買収およびグラウンドゴルフ場敷地のための張芝4317.8㎡、路床盛土431.8㎡造成、メッシュフェンス設置161.8mおよび給水設備設置工事	117,701,000	—	100,700,000	11,692,000	5,309,000
赤堀体育館照明改修工事	赤堀体育館の老朽化した体育館照明設備を更新するもの	11,143,000	—	10,000,000	—	1,143,000
(あずま)あずま弓道場外壁等改修工事	老朽化しているあずま弓道場の外壁の改修工事及び近代的場天井の照明設備を更新するもの	8,811,000	—	7,900,000	—	911,000
文化会館非常照明用蓄電池更新工事	文化会館の非常照明用蓄電池の更新工事	11,066,000	—	—	—	11,066,000
文化会館防火設備更新工事	文化会館の防火シャッター及び重量シャッターの更新工事	26,840,000	—	—	—	26,840,000
境総合文化センター室内機及び室外機交換工事	境総合文化センターのエアコンを改修する工事	20,350,000	—	—	4,300,000	16,050,000

教育施設一覽

1 幼稚園

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男 人	女 人	計 人	教 員		
							男 人	女 人	計 人
第 一 幼 稚 園	曲輪町24番26号	明治23年 5月12日	3	25	28	53	0	7	7
南 幼 稚 園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日				0			
殖 蓮 幼 稚 園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	3	27	23	50	0	5	5
茂 呂 幼 稚 園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月21日				0			
三 郷 幼 稚 園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	1	4	2	6	0	2	2
宮 郷 幼 稚 園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	3	21	24	45	0	5	5
名 和 幼 稚 園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	3	20	8	28	0	4	4
あ か ぼ り 幼 稚 園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	4	50	39	89	0	7	7
あ ず ま 幼 稚 園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	3	31	35	66	0	6	6
合 計			20	178	159	337	0	36	36

2 小学校

北 小 学 校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	17	188	210	398	12	19	31
南 小 学 校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	15	129	118	247	11	12	23
殖 蓮 小 学 校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	22	256	229	485	10	18	28
茂 呂 小 学 校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	29	408	378	786	16	22	38
三 郷 小 学 校	波志江町1620番地	明治 7年 2月28日	28	335	349	684	14	22	36
宮 郷 小 学 校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	31	404	405	809	16	24	40
名 和 小 学 校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	19	229	217	446	10	14	24
豊 受 小 学 校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	21	271	241	512	9	19	28
北 第 二 小 学 校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	13	135	98	233	6	13	19
殖 蓮 第 二 小 学 校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	17	191	180	371	9	16	25
広 瀬 小 学 校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	21	233	210	443	10	20	30
坂 東 小 学 校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	19	206	236	442	8	19	27
宮 郷 第 二 小 学 校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	25	282	289	571	11	19	30
赤 堀 小 学 校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	22	250	279	529	9	22	31
赤 堀 南 小 学 校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	23	252	254	506	10	19	29
赤 堀 東 小 学 校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	16	175	160	335	8	14	22
あ ず ま 小 学 校	東町2770番地1	明治 6年 7月15日	23	260	288	548	13	19	32
あ ず ま 南 小 学 校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	23	264	269	533	12	17	29
あ ず ま 北 小 学 校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	19	216	212	428	10	14	24
境 小 学 校	境515番地1	明治 7年 3月 1日	15	167	185	352	10	17	27
境 采 女 小 学 校	境下淵名2020番地	明治22年 4月 1日	18	191	205	396	4	19	23
境 剛 志 小 学 校	境下武士831番地	明治 6年11月20日	13	126	139	265	7	11	18
境 東 小 学 校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	14	156	160	316	12	10	22
合 計			463	5,324	5,311	10,635	237	399	636

3 中学校

第 一 中 学 校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	19	266	242	508	21	15	36
第 二 中 学 校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	20	248	240	488	17	21	38
第 三 中 学 校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	21	309	288	597	19	21	40
第 四 中 学 校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	19	258	233	491	19	17	36
殖 蓮 中 学 校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月29日	18	269	219	488	18	16	34
宮 郷 中 学 校	田中島町1065番地	昭和22年 4月29日	26	370	356	726	27	18	45
赤 堀 中 学 校	西久保町二丁目329番地1	昭和22年 4月 1日	28	396	339	735	26	23	49
あ ず ま 中 学 校	東町2707番地2	昭和22年 4月29日	31	439	365	804	27	26	53
境 北 中 学 校	境下淵名2011番地1	昭和22年 1月 1日	8	90	99	189	11	7	18
境 西 中 学 校	境下武士872番地2	昭和22年 4月29日	8	74	82	156	8	10	18
境 南 中 学 校	境188番地	昭和39年 4月 1日	12	154	162	316	14	11	25
合 計			210	2,873	2,625	5,498	207	185	392

令和5年5月1日現在

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
0	0	0	1	0	8	3,251	1,045		
						3,409	857		
0	0	0	1	0	6	4,254	681		
						3,963	592		
0	0	0	1	0	3	1,733	370		
0	0	0	1	0	6	3,400	904		
0	0	0	1	0	5	3,653	689		
0	0	0	1	0	8	4,781	959		
0	0	0	1	0	7	7,822	913		
0	0	0	7	0	43	41,389	7,758		

1	0	1	1	0	33	23,697	7,421	1,053
1	0	1	1	0	25	26,814	5,312	900
1	0	1	2	1	32	28,059	6,448	1,401
2	0	2	2	0	42	25,740	5,940	895
2	0	2	2	0	40	31,250	5,327	900
2	0	2	2	0	44	29,482	6,209	910
1	0	1	1	0	26	32,188	5,469	891
1	0	1	2	0	31	34,908	5,797	891
1	0	1	1	0	21	16,513	3,752	918
1	0	1	1	0	27	33,319	5,431	870
1	0	1	2	0	33	31,800	6,601	868
1	0	1	1	0	29	32,999	5,119	900
2	0	2	2	2	36	31,802	7,456	1,229
1	0	1	2	0	34	27,456	4,949	844
1	0	1	1	0	31	20,778	5,556	924
1	0	1	1	1	25	28,223	4,718	1,116
1	0	1	2	1	36	28,439	5,344	965
1	0	1	2	0	32	27,596	4,859	898
1	0	1	2	0	27	26,478	4,421	908
1	0	1	1	0	29	25,191	5,006	1,008
1	0	1	1	1	26	22,416	4,777	1,100
1	0	1	1	0	20	15,406	4,511	750
1	0	1	1	0	24	15,029	3,461	746
27	0	27	33	6	703	615,583	123,884	21,885

1	0	1	2	0	39	38,323	6,623	1,442
2	0	2	2	0	42	48,551	8,223	1,450
2	0	2	2	0	44	38,385	6,889	1,484
1	0	1	2	0	39	43,976	8,110	1,450
1	0	1	2	2	39	38,919	7,372	1,450
2	0	2	2	0	49	50,727	8,447	1,779
2	0	2	2	0	53	45,312	9,118	1,891
2	0	2	2	0	57	36,339	9,373	1,495
1	0	1	1	0	20	30,857	4,439	1,179
1	0	1	1	0	20	26,385	4,033	1,159
1	0	1	1	1	28	29,306	5,598	1,205
16	0	16	19	3	430	427,080	78,225	15,984

面積は施設台帳による。

4 中等教育学校

区 分	所 在 地	創立年月日	学級数	児童・生徒数			教職員数 教 員		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
四ツ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	24	364	380	744	44	27	71

5 教育研究所

区 分	所 在 地	設置(建物)年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

6 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

7 学校給食センター

第一東学校給食調理場	西小保方町692番地5	平成31年 3月	10,752.00	6,289.99
第一西学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下瀬名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

8 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	998.12
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	3,798.36	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	513.05
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1102番地	平成31年 3月22日	5,483.93	1,154.76
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	4,587.84	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495、別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境598番地 1	平成27年 2月16日	8,729.14	903.57
境 采 女 公 民 館	境下瀬名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	769.04
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

9 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町215番地1	平成26年10月31日	1,622.21	171.48
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

10 青少年育成センター

青少年育成センター	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,439.80	2,189.62
-----------	-------------	-------------	-----------	----------

11 図書館

伊勢崎市図書館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,158.94	2,762.41
赤 堀 図 書 館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日	—	400.50
あ ず ま 図 書 館	田部井町三丁目2091番地	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境 図 書 館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,689.87	1,433.90
境 絹 の 館	境724番地1	昭和61年 4月 1日	—	360.62

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
1	4	5	2	0	78	58,869	12,046	5,098	

面積は施設台帳による。

備 考
教科書センター併設

収容人数 220人

給食能力 副食 約12,000食
〃 副食 9,000食
〃 副食 約2,000食
〃 副食 約3,000食

対象地区人口(令和5年4月1日現在)	9,254 人
〃	6,747 人
〃	21,029 人
〃	17,522 人
〃	14,667 人
〃	26,861 人
〃	17,205 人
〃	18,068 人
〃	24,139 人
〃	27,089 人
〃	6,590 人
〃	8,303 人
〃	6,622 人
〃	1,149 人
〃	6,718 人

敷地は借地

建物面積(本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)
境図書館と同敷地

1.2 文化施設

区 分	所 在 地	設置（建物）年月日	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）
文 化 会 館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	11,167.01
赤堀芸術文化プラザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	10,203.70	2,581.70
境総合文化センター	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,537.39
境 赤 レ ン ガ 倉 庫	境765番地1	平成30年 4月 1日	1,429.78	599.01

1.3 文化財施設

赤堀歴史民俗資料館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
田島弥平旧宅案内所	境島村1968番地40	平成 5年 3月 1日	—	390.00

1.4 青少年指導センター

青少年指導センター	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日	—	33.75
-----------	------------	-------------	---	-------

1.5 スポーツ施設

市民体育館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,966.54
第二市民体育館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭球場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野球場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸上競技場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソフトボール場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第二グラウンド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補助競技場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓道場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相撲場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
つなとりスポーツ広場	連取町3008番地1	平成29年 4月	29,786.88	
赤堀体育館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤堀剣道場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニス場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニス場	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.97	管理棟 103.90
あかぼり運動公園球技場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニス場	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤堀香林運動公園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五目牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あずま体育館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あずまスタジアム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あずま弓道場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あずま総合運動場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.10	69.30
三室西公園運動場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォーターランド	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
西小保方沼公園グラウンドゴルフ場	西小保方町692番地	平成28年 3月	21,762.75	便所、倉庫外74.1
境体育館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境武道館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境いよく野球場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境いよくテニス場	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境弓道場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境総合運動場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境上武公園野球場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境上武公園テニス場	境上矢島678番地	昭和50年11月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利根川河川境運動場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
ラグビー場	境島村3454番地297	平成22年 5月	27,654.00	
境プール	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備 考
大ホール固定席 1,440席、車椅子席 6席、親子室 8席、立見 76人 小ホール固定席 494席、立見 56人 第1～5展示室
ホール固定席 511席、車椅子席 2席、親子室 7席、立見 28人 展示コーナー
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、親子室 5席、立見 56人 小ホール移動席 204席 一般展示室 展示ロビー
ホール 多目的スペース 交流ラウンジ

展示室2室、復元民家、研修室
展示室2室、多目的室1室、倉庫、給湯室、事務室、多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレ

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室 2F メインフロア (バスケットボール3面・バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面)、観客席864人 3F ジョギングコース1周210m、観客席1045人+身障者スペース
メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン8面)
人工クレイコート12面 観客席1,200人 夜間照明
軟式野球・硬式野球 両翼98m・センター122m 内野スタンド3,200人・外野スタンド6,800人 夜間照明
公認二種 400mトラック(8コース) 観客席5,000人
両翼・センター70m 観客席1,334人 夜間照明
ソフトボール 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
サッカー、野球2面(サッカーと野球の併用不可)
メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場、ギャラリー(卓球2台)
1面
軟式野球・ソフトボール2面 両翼90m 内野スタンド70人 夜間照明
全天候2面、クレイ2面 夜間照明
人工芝8面(4面 夜間照明)
少年野球、フットサル2面 夜間照明
軟式野球・ソフトボール 両翼90m・センター110m 観客席54人
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球・ソフトボール・グラウンドゴルフ 両翼88m
天然芝16ホール
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール3面・バドミントン6面)、2F ギャラリー(卓球6台)
人工芝2面、クレイ2面 夜間照明
硬式野球・軟式野球・ソフトボール 両翼98m・センター122m 内野スタンド1,200人・外野スタンド2,300人 夜間照明
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち、遠的3人立ち
軟式野球2面・ソフトボール4面、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ 夜間照明
ソフトボール、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝(105m×68m)1面・少年用(72m×50m)2面 スタンド約300人 夜間照明
1F 25m(6コース)、幼児用プール、スライダー、屋外プール、サウナ室、2F トレーニングルーム
常設グラウンドゴルフ場1面(8ホール×3コース)、多目的使用エリア
バスケットボール1面・バレーボール2面・バドミントン3面、卓球室
剣道場2面、柔道場2面
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター89m 夜間照明
人工芝4面 夜間照明
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレイ4面
天然芝16ホール、ターゲットパードゴルフ場
天然芝16ホール
軟式野球・ソフトボール
天然芝2面
流水プール、幼児用プール、スライダープール、スライダー

Ⅲ 学校教育

令和5年度 主要事業

1 全市的な研修

- ①教職員全体研修：市の方針等についての理解及び中央講師による教育的視野の拡充
- ②幼小中連携研修：教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修
- ③小中教科等研修：小1 2、中1 3、小中合同4（養護教諭、特別支援教育[知的・情緒]、通級指導教室）
- ④実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ⑤幼稚園一日研修：保育の改善・充実のための保育研究（令和5年度は宮郷幼稚園による中間発表）

2 学校訪問

- ①経営訪問：経営課題の協議、授業参観
- ②計画訪問：授業参観、研修主題に基づく協議、授業研究会、個別指導等
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会
- ④要請訪問：要請に応じた保育参観、授業参観、各研究会等

3 指定校等

<文部科学省・県教育委員会等指定校>

- ①小学校全23校：「教育課程特例校」 文部科学省 R2～
- ②坂東小学校：「外国人児童生徒等教育充実のための研究協議会」 県教委義務教育課 R5
- ③第一中学校：「保健体育科授業充実事業」 県教委健康体育課 R5
- ④宮郷中学校区：「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」 県教委健康体育課 R5, R6
- ⑤茂呂小学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」 社会福祉協議会 R5

<市教育委員会指定校>

- ①宮郷幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」 R5, R6

4 市教委主催の研修等

- ①管理職研修
- ②教務主任研修
- ③研修主任研修(確かな学力向上推進委員会)
- ④生徒指導主任研修(生徒指導主任研究協議会)
- ⑤人権教育主任研修
- ⑥情報教育主任研修
- ⑦健康教育担当者研修
- ⑧教科等指導員研修
- ⑨小学校英語研修
- ⑩日本語教室担当教員研修
- ⑪学校経営研修
- ⑫事務職員研修
- ⑬特別支援教育コーディネーター研修
- ⑭通級指導教室担当教員連絡協議会
- ⑮外国籍児童生徒学校生活支援助手研修
- ⑯食育推進担当者研修(食育実践研究会)
- ⑰教育相談研究協議会

3つの教育プラン

1 豊かな心育成プラン

(1) しなやかでたくましい心づくり

- ・「ほめる」「認める」「励ます」支援で子供の自己有用感や自己肯定感を育て、一人一人の心に寄り添い自分を好きになる支援を図る。
- ・進んで学ぶ気持ちや責任を果たそうとする態度など、自己決定し行動できる力を身に付けられるよう自分らしさを表現できる場の充実を図る。

(2) 温かい絆を育む心と心の関わりづくり

- ・子供の教育的ニーズに寄り添い、必要な支援体制や環境、指導方法を工夫し、一人一人のよさを伸ばし、互いに認め合い高め合う温かい絆の醸成を図る。
- ・子供たちの自発的・自治的な活動により、考えを伝え合ったり、折り合いをつけたり、決めたことを実行したりする力を身に付け、共に成長する人と人との関わりでの充実を図る。

(3) 豊かに生きる健康・生活づくり

- ・交通事故や犯罪、自然災害から身を守る安全教育や、熱中症を予防する取組を充実させ、自分の命を守るための具体的な方法を考え、実践できる安全安心を大切に教育を推進する。
- ・「いせさき未来力向上スキル」等を生かし、バランスの良い食事や十分な睡眠、SNSやゲームとの上手な関わり方等を理解し、望ましい生活習慣の確立と健康な体の育成を図る。

2 確かな学力向上プラン

(1) 学びを自己調整する力づくり

- ・「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わいながら、「どのように学ぶか」ということに目を向けさせることで、次の学びに見通しをもって粘り強く取り組む等、主体的な学びの充実を図る。
- ・学習目標や学習活動の見通しを明確化し、教師は子供たちの思考をつなぐ役割を担う等、「子供が主役の学び」を支える指導の充実を図る。

(2) 考え表現する力づくり

- ・実態に応じて工夫した対話活動を行うことで、協働的に学ぶことの楽しさや意義を実感しながら、思考力や判断力、表現力の向上を図る。
- ・検証改善サイクルに沿う目的が明確な研修により、「主体的・対話的で深い学び」の推進を通して、学びが自分のものになる「深い学び」を推進する指導の充実を図る。

(3) 学びの基礎力づくり

- ・「情報活用能力育成モデル」を生かし、情報の収集、比較、分類などのスキルを各教科等の学びの中において、自然かつ必然性をもって習得、活用できる指導の充実を図る。
- ・言葉や数量に関する基礎的な力を発揮しながら課題解決を図る機会を充実することで、意欲的に基礎力が身に付けられるようにする。

3 みんなの未来創造プラン

(1) 未来へ向かう力づくり

- ・将来の夢に向かって、日々の生活や学習に意欲をもてるよう、自己の生き方を振り返る授業、多様な生き方にふれる体験活動等、夢や希望の実現に向けたキャリア教育を推進する。
- ・いせさき教育アンバサダーやカリキュラムパートナーとの連携により、専門性の高い人材、地域の人材などの本物にふれる学びの充実を図る。

(2) 地域とつながる力づくり

- ・ふるさとのよさに気付き、ふるさとに誇りや愛着をもち、地域社会へ貢献しようとする意欲をもてるよう、地域の方々との交流や体験活動を実施し、伊勢崎ふるさと学習を充実する。
- ・地域の中の一員としての自覚や、よりよい地域社会を創ろうとする意欲をもてるよう地域の行事や公民館事業へ積極的に参画し、多様な人との交流を推奨する。

特別支援教育

1 特別支援学級数及び在籍児童生徒数（5月1日現在）

障害のある子供の就学に係る教育支援にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学に係る教育支援基礎資料を基に、市教育支援委員会で審査を行っている。また就学先の決定に際しては、審査結果等の情報を保護者に提供すると共に、障害の状態、本人・保護者の教育的ニーズや意見、専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえ、総合的な観点から、入級・入校等の就学及び支援方針を決定している。

特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。また、知的障害が中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。

	知的障害	自閉症・情緒障害	難聴	肢体不自由	病弱	合計
小学校	43学級	43学級	1学級	5学級	1学級	93学級
全23校	247人	261人	1人	6人	1人	516人
中学校	20学級	24学級	0学級	1学級	0学級	45学級
全11校	120人	135人	0人	3人	0人	258人
合計	63学級	67学級	1学級	6学級	1学級	138学級
	367人	396人	1人	9人	1人	774人

※ 知的障害及び自閉症・情緒障害特別支援学級は、全小中学校に設置されている。

難聴及び病弱特別支援学級は、それぞれ小学校各1校に設置されている。

肢体不自由特別支援学級は、小学校5校、中学校1校に設置されている。

2 教育支援員配置人数（5月1日現在）

教育支援員は、障害のある児童生徒が、安全で快適な学校園での生活を送るために、個々の障害の実態に即して、生活全般の必要な支援を行っている。

幼稚園 全7園*	4人 / 4園
小学校 全23校	57人 / 23校
中学校 全11校	24人 / 11校
合計	85人 / 38校園

※ 伊勢崎市の公立幼稚園は9園あるが、現在、南幼稚園、茂呂幼稚園は休園中

3 通級指導教室児童生徒利用者数（5月1日現在）

小学校通級指導教室では、言語、情緒、LD・ADHDの障害に応じた指導を行っている。また、中学校通級指導教室では、情緒、LD・ADHDの障害に応じた指導を行っている。

	言語障害	情緒障害	LD・ADHD	合計
小学校通級指導教室	107人	117人	95人	319人
中学校通級指導教室		16人	12人	28人
合計	107人	133人	107人	347人

※ 小学校通級指導教室は「こども発達相談室」という名称で、北小、赤堀小、あずま小、境小の4校に設置されている。

4 医療的ケア対象児童生徒数及び看護師配置状況（5月1日現在）

医療的ケアを必要とする児童生徒に対して看護師を配置し、学校生活を支障なく送れるよう、日常的なケアを行っている。

対象児童生徒数	看護師配置状況
2人	任用2人（1日7時間、週5日勤務）
3人	委託2事業所

5 伊勢崎市教育研究所 発達支援研究班（課題別自主研究班）の取組

児童生徒の発達を支援するためには、一人一人に対する理解を深め、アセスメントを適切に行う必要がある。そのためには、児童生徒のそれまでの生育歴やエピソード等の情報の蓄積が欠かせない。発達支援研究班では、児童生徒の支援において課題となっていることを検討すると共に、これまで各校が特別支援教育、生徒指導、教育相談等において工夫し実践してきた情報の蓄積の方法について検証し、子供たちのより良い支援につながる方法を研究していく。

班員は8月8日現在、小中学校の教諭9人である。またその他に、伊勢崎市教育研究所の臨床心理士2人が参加し、適宜アドバイス等を行っている。

班員	内訳
小学校教諭 5人	知的特別支援学級担任 3人 自閉症・情緒特別支援学級担任 2人
中学校教諭 4人	知的特別支援学級担任 2人 校内教育相談主任（学級副担任） 1人 学級副担任 1人

外国籍児童生徒への学校生活支援

1 伊勢崎市日本語ステップの活用

本市では、外国籍児童生徒のことばの力を把握するツールの1つとして、「伊勢崎市日本語ステップ」を活用している。「伊勢崎市日本語ステップ」とは、「日常会話の力」と、「学習活動に参加する力（聞く／聴く・話す・読む・書く）」に分け、それぞれ7つのステップを設け、複数の関係者で子供のことばの発達を観察し、指導と評価の一体化を図るための本市独自のツールである。

各ステップには、子供のことばの使用例と、その段階の適切な支援例が示されており、対象の子供の様子と「伊勢崎市日本語ステップ」を照らし合わせれば、およその日本語習得状況と、その段階に合わせた指導方法が分かる仕組みになっている。また、「伊勢崎市日本語ステップ」は、「就学前～9歳（小学3年生）対象」と「10歳以上（小学4年生）対象」の2種類がある。これは、10歳前後で言語活動が変化し、会話全体の生活言語が、文字でものを考えたり、文字で読み取ったりすることが可能になってくるという「言語習得10歳の壁」の考え方を踏まえたものになっている。さらに、使いながら改善していく発展的なツールとして活用し、関係者がことばの使用例や指導者の支援例をより適切なものに修正したり、新たに追加したりしながら充実・発展させている。

2 外国籍児童生徒教育支援体制

(1) 初期適応指導

（小学校4校：南、広瀬、赤堀東、境）

入学手続きおよび学校生活での必要な指導を重点的に行う。

本人およびその保護者は、入学に関する説明を受けに来た当日、南小学校で入学相談を受けることができる。ここでは、本市滞在予定や学習希望をもとに、通学区の学校への編入・拠点校への移籍・外国人学校の紹介など対応を行う。

入学手続き後の5日間は、各初期適応指導校で初期適応指導を受けることができる。初期適応指導を行う際は、支援助手を原則午前3時間、月曜から金曜まで配置する。

(2) 拠点校指導

（小学校8校：南、豊受、殖蓮第二、広瀬、坂東、赤堀東、境、境東）

（中学校2校：第四、境南）

拠点校は、通学区を緩和し籍を移して指導を受けることができる。ここでは、より徹底した日本語指導や母国語による補足的な指導を行うため、日本語教室設置校のうち適応指導助手を原則午前4時間、月曜から金曜まで配置する。

(3) 日本語教室での指導

（小学校12校：北、南、殖蓮、茂呂、豊受、北二、殖二、広瀬、坂東、赤堀東、境、境東）

（中学校 5校：第一、第二、第四、殖蓮、境南）

外国籍児童生徒の早期適応のため、日本語教室を設置するとともに、県費加配教員を日本語担当教員として担当させ、指導の充実を図る。

(4) 巡回型日本語指導コーディネーターの配置

日本語教室未設置校における指導体制の構築、改善、充実及び本市の日本語指導の平準化、教員の指導力向上のため、巡回型日本語指導コーディネーターを2人配置し、市内小中学校へ巡回する。

(5) 外国籍児童生徒学校生活支援助手の配置

日本語教室支援のため、外国語に堪能な臨時職員を31人雇用し、37校園に配置する。なお、支援助手は、日本語教室設置校以外の学校園にも必要に応じて派遣する。

3 外国籍等園児児童生徒数（5月1日現在）

(1) 該当校数および該当園児児童生徒数 [日本国籍を含む]

※公立学校に限る。※（ ）は内、日本語指導を必要とする数

幼稚園	5 / 7園	29 (28)	前年比	-1園	-2 (-3)人
小学校	23 / 23校	842 (425)		±0校	+18 (+27)人
中学校	11 / 11校	367 (84)		±0校	+5 (-2)人
中等教育学校	1 / 1校	3 (0)			-1 (±0)人
合計	40 / 42校園	1241 (537)			+20 (+22)人

(2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数 [日本国籍を含む]

①ポルトガル語 [ブラジルなど]	345 (142)	前年比	-23 (-3)人
②スペイン語 [ペルー・アルゼンチンなど]	315 (124)		-20 (-14)人
③ベトナム語	193 (73)		+22 (+12)人
④タガログ語	94 (32)		-5 (-12)人
⑤その他 [パキスタン・中国・イランなど]	294 (166)		+46 (+39)人
合計	1241 (537)		+20 (+22)人

(3) 使用言語一覧 ※数字は、日本語指導を必要とする人数 (単位：人)

ポルトガル語	142	スペイン語	124	ベトナム語	73	英語	36
タガログ語	32	ウルドゥー語	30	ベンガル語	25	ビサヤ語	18
日本語	12	中国語	9	パシュトー語	7	ネパール語	6
インドネシア語	4	ヒンディー語	4	セインハラ語	3	フィリピン語	2
フランス語	2	パンジャビー語	1	マリ語	1	ウクライナ語	1
ソニンケ語	1	母語なし	4				

地域の教育力の活用

1 「伊勢崎学府制」による地域と連携・協働した人づくり

学校を核とした子供の教育の場・機会を地域に広げて取り組む仕組み。それぞれの中学校区を学府とし、地域・家庭・学校が一体となって、ふるさと伊勢崎を担う、高い志と市民性を兼ね備えた人材の育成を目指している。

2 コミュニティ・スクール

学校の教育活動に地域の教育資源を取り入れて教育の質の向上を図る仕組みであり、市内の小中学校11校において、学校運営協議会が設置され、学校、保護者、地域住民等が、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働しながら、「地域と共にある学校づくり」をする仕組みのある学校の呼称である。

3 伊勢崎ふるさと学習

ふるさとのよさに気づき、ふるさとに誇りや愛着を持ち、地域社会へ貢献しようとする意欲をもてるよう、地域の方々との交流や体験活動を実施する。

地域にある文化財や人材等の教育資源を活用して学ぶことを通して、子供がふるさと伊勢崎に誇りや愛着をもち、伊勢崎から世界に目を向けられるようにすることを目的とした学習である。

4 スマイルサポーター（学校支援ボランティア）

学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域（学校支援センター）などの地域人材や、企業・大学などのカリキュラムパートナーの人材が、子供の笑顔を引き出す教育活動の充実を目指し、活動している。

各学校では、学校支援センターを設置し、児童生徒の支援に当たる大人の数飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実とともに、開かれた学校運営を通じた、地域から信頼される学校づくりを推進し、令和4年度の登録人数は12,629人となっている。

5 カリキュラムパートナー

豊かな教育資源を学校教育に活用するために覚書を締結した地元企業や大学のことであり、現在は、サンデン株式会社と株式会社ザスパの2企業、群馬大学や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、高崎健康福祉大学、育英大学の6大学と連携している。主な連携事業としては、キャリア講話、各種体験学習、学生ボランティア事業などとなっており、この制度は、平成20年度に導入し、実践を展開している。

6 いせさき教育アンバサダー

平成29年度から本市出身または本市にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方々に、「いせさき教育アンバサダー」を委嘱している。本市内の学校園において、特別授業や講演会、各種の学校行事への協力をしていただいております。子供たちの望ましいキャリア形成を目的としている。令和4年度は14人の方をお願いしていた。

7 「未来力」学習講座

児童生徒が夢や希望を抱き、その実現に向けて目標をもって挑戦しようとする力を「未来力」とし、その育成を図るために、地域で活躍する方々に講師となっていただく授業のことである。平成23年度から小・中学校の全ての学年において実施している。

各種援助

1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)
令和4年度事業	787	54,612,813	69,393	539	68,162,179	126,460
令和5年度事業計画	752	63,195,430	84,036	585	90,381,535	154,498

2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事情に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)
令和4年度事業	312	10,877,037	34,862	132	7,525,939	57,014
令和5年度事業計画	394	16,189,866	41,091	211	14,270,388	67,632

3 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成17年1月1日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

<貸与額>

区分	金額
高等学校 年額	120,000 円
大学 年額	300,000 円

<給与額>

入学時給付金	50,000 円
--------	----------

<貸与利用状況>

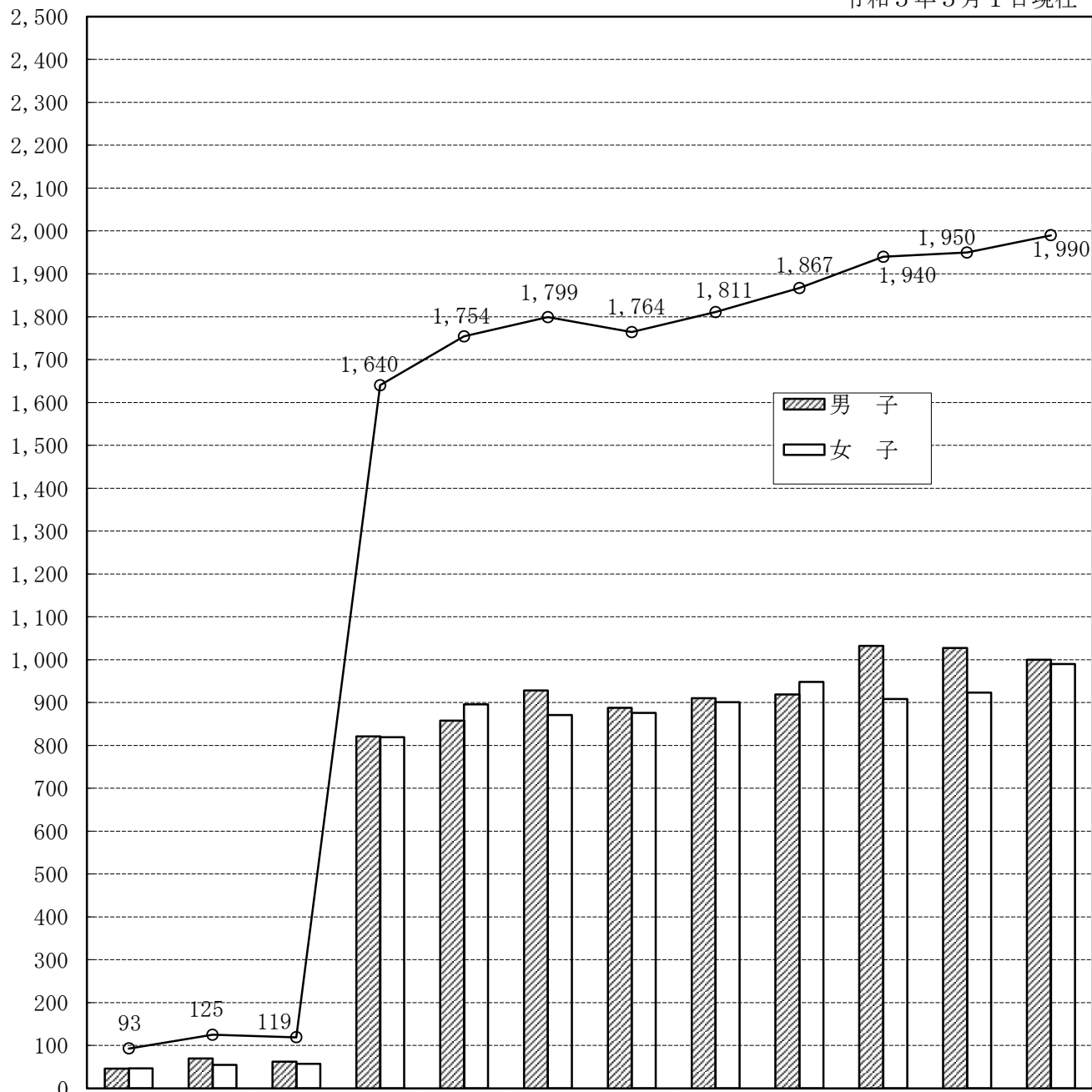
	高等学校	大学	計
令和3年度	1人	10人	11人
令和4年度	0人	4人	4人

園児・児童生徒数

学年別・男女別構成図

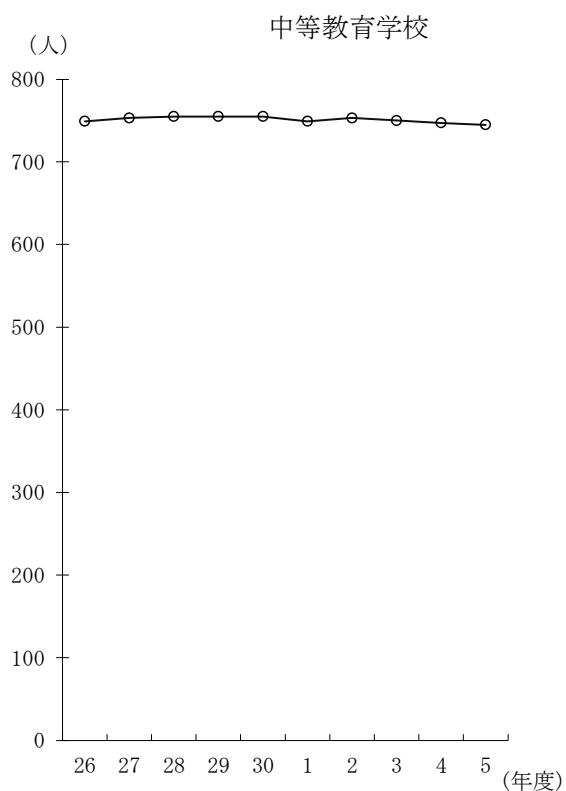
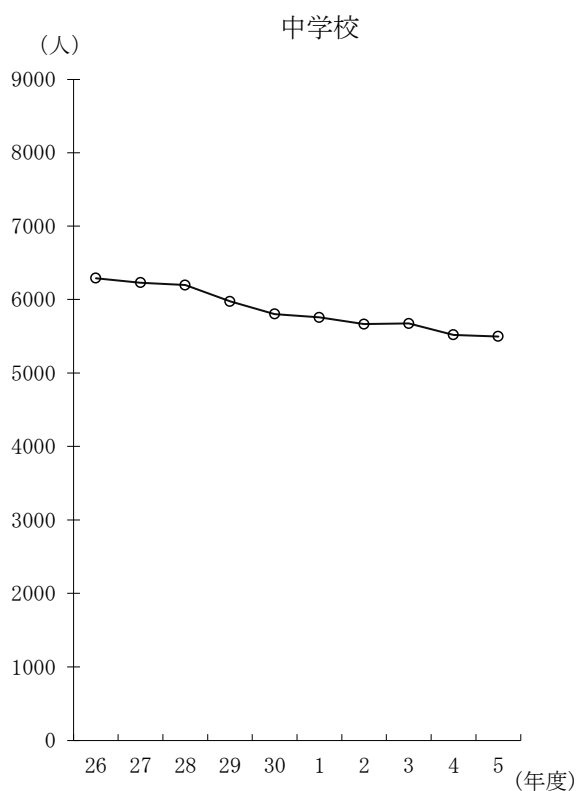
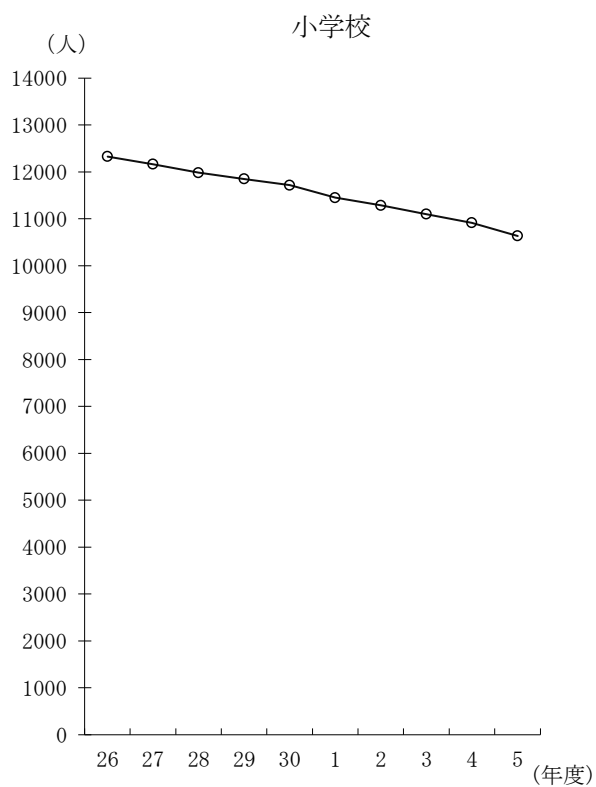
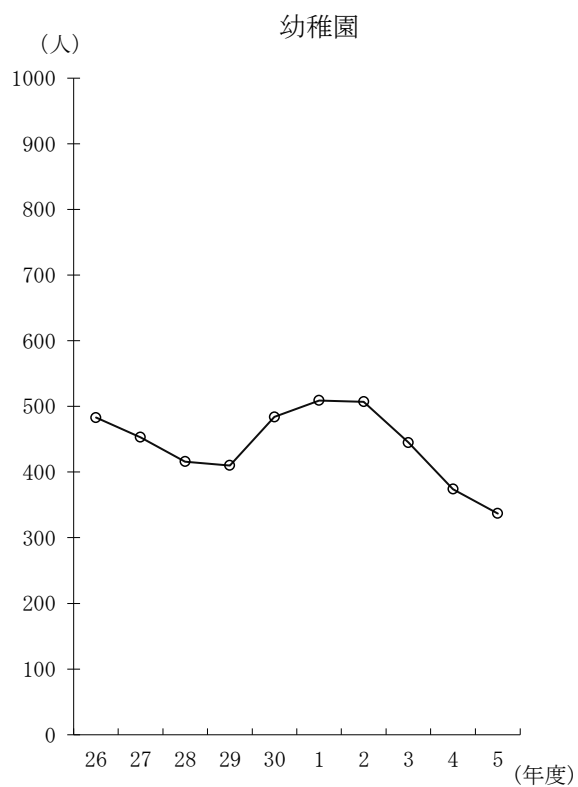
令和5年5月1日現在

Ⅲ 学校教育



人	園市三立歳幼稚	園市四立歳幼稚	園市五立歳幼稚	一小学生	二年生	三年生	四年生	五年生	六年生	一中学生	二年生	三年生
男子	46	70	62	821	858	928	888	910	919	1,032	1,027	1,000
女子	47	55	57	819	896	871	876	901	948	908	923	990
合計	93	125	119	1,640	1,754	1,799	1,764	1,811	1,867	1,940	1,950	1,990

※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます



男女別園児・児童生徒数

令和5年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計	
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
小学校	北小学校	32	26	58	38	43	81	24	39	63	35	32	67	31	37	68	28	33	61	188	210	398	
	南小学校	15	20	35	16	24	40	21	19	40	27	14	41	22	20	42	28	21	49	129	118	247	
	殖蓮小学校	41	28	69	30	40	70	50	39	89	48	36	84	44	48	92	43	38	65	256	229	485	
	茂呂小学校	65	52	117	68	70	138	70	69	139	63	59	122	71	66	137	71	62	133	408	378	786	
	三郷小学校	52	66	118	64	52	116	47	67	114	60	52	112	49	51	100	63	61	124	335	349	684	
	宮郷小学校	57	70	127	64	62	126	68	70	138	67	64	131	82	73	155	66	66	132	404	405	809	
	名和小学校	35	30	65	36	41	77	46	37	83	36	38	74	39	40	79	37	31	68	229	217	446	
	豊受小学校	47	35	82	33	45	78	50	38	88	45	31	76	43	48	91	53	44	97	271	241	512	
	北二小学校	21	19	40	28	20	48	17	17	34	32	12	44	19	15	34	18	15	33	135	98	233	
	殖二小学校	32	30	62	42	25	67	30	29	59	32	32	64	30	21	51	25	43	68	191	180	371	
	広瀬小学校	34	23	57	43	39	82	43	35	78	28	40	68	42	40	82	43	33	76	233	210	443	
	坂東小学校	34	36	70	29	38	67	45	45	90	35	39	74	33	40	73	30	38	68	206	236	442	
	宮二小学校	45	48	93	40	42	82	49	40	89	42	47	89	45	55	100	61	57	118	282	289	571	
	赤堀小学校	46	37	83	33	42	75	41	44	85	36	48	84	44	59	103	50	49	99	250	279	529	
	赤南小学校	30	48	78	54	40	94	43	34	77	33	36	69	45	44	89	47	52	99	252	254	506	
	赤東小学校	25	24	49	27	27	54	34	22	56	25	30	55	35	26	61	29	31	60	175	160	335	
	あずま小学校	48	41	89	38	53	91	37	42	79	51	61	112	43	38	81	43	53	96	260	288	548	
	あずま南小学校	38	39	77	36	51	87	52	32	84	41	45	86	48	47	95	49	55	104	264	269	533	
	あずま北小学校	31	31	62	43	32	75	33	34	67	42	40	82	30	35	65	37	40	77	216	212	428	
	境小学校	22	24	46	25	34	59	36	24	60	27	35	62	35	25	60	22	43	65	167	185	352	
	境采女小学校	30	35	65	28	27	55	34	44	78	31	35	66	39	31	70	29	33	62	191	205	396	
	境剛志小学校	16	25	41	21	24	45	20	29	49	25	22	47	20	13	33	24	26	50	126	139	265	
	境東小学校	25	32	57	22	25	47	38	22	60	27	28	55	21	29	50	23	24	47	156	160	316	
	小学校計		821	819	1,640	858	896	1,754	928	871	1,799	888	876	1,764	910	901	1,811	919	948	1,851	5,324	5,311	10,635
	中学校	第一中学校	98	68	166	81	87	168	87	87	174									266	242	508	
		第二中学校	76	76	152	91	74	165	81	90	171									248	240	488	
第三中学校		97	105	202	110	78	188	102	105	207									309	288	597		
第四中学校		83	66	149	81	82	163	94	85	179									258	233	491		
殖蓮中学校		93	75	168	92	70	162	84	74	158									269	219	488		
宮郷中学校		132	126	258	131	104	235	107	126	233									370	356	726		
赤堀中学校		125	94	219	138	134	272	133	111	244									396	339	735		
あずま中学校		149	133	282	138	109	247	152	123	275									439	365	804		
境北中学校		39	30	69	30	35	65	21	34	55									90	99	189		
境西中学校		26	21	47	23	32	55	25	29	54									74	82	156		
境南中学校		51	50	101	49	52	101	54	60	114									154	162	316		
中学校計			969	844	1,813	964	857	1,821	940	924	1,864								2,873	2,625	5,498		

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中等	四ツ葉学園中等教育学校	63	64	127	63	66	129	60	66	126	60	66	126	58	59	117	60	60	120	364	381	745

令和5年5月1日現在園児数 男女別

校種	園名	3歳児			4歳児			5歳児			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計			
幼稚園	第一幼稚園	5	4	9	12	11	23	8	13	21	25	28	53
	南幼稚園												
	殖蓮幼稚園	11	7	18	10	6	16	6	10	16	27	23	50
	茂呂幼稚園												
	三郷幼稚園						0	4	2	6	4	2	6
	宮郷幼稚園	9	10	19	5	6	11	7	8	15	21	24	45
	名和幼稚園	7	1	8	7	2	9	6	5	11	20	8	28
	豊受												
	あかぼり幼稚園	11	12	23	20	19	39	19	8	27	50	39	89
	あずま幼稚園	3	13	16	16	11	27	12	11	23	31	35	66
	幼稚園計		46	47	93	70	55	125	62	57	119	178	159

学校保健

1 健康・安全教育の推進

(1) 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断により児童生徒の健康状態を把握するとともに、自己管理および健康の保持増進を図れるよう指導の充実に努める。また、日常の健康観察から、児童生徒の健康状態を的確に把握し、課題を抱える児童生徒に対して迅速に対応する。

(2) 薬物乱用防止教育及び性教育に関する指導（エイズを含む）の徹底

喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう、関係機関と連携した薬物乱用防止教育の実施に努める。また、発達段階に応じた性に関する指導（エイズを含む）の充実に努める。

(3) 学校保健会の充実

学校・園・PTA・医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健福祉事務所との連携を深め、児童生徒の健全育成の支援を図る。

(4) 生活安全指導の徹底

各学校・園の日常生活における事故防止の徹底に努めるとともに、学校・保護者・関係機関と連携し、安心安全な地域づくりに努める。また、児童生徒が状況に応じた適切な行動選択ができるよう発達段階に応じた防犯学習の実施に努める。

(5) 交通安全に関する安全管理の徹底

伊勢崎市通学路交通安全プログラムに則り、通学路上の危険箇所を把握し、各学校・園と保護者、地域、関係機関の連携による通学路の安全確保に努める。また、児童生徒の危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

(6) 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスとAED 普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行う。また、定期的に教職員を対象とした普通救命講習会を開催し、応急手当に関する知識技能の向上を図り、万一の時に備えた万全の体制を整える。

(7) 学校安全、学校保健・学校給食の点検の徹底

学校施設の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設整備や遊器具の安全確保に努める。又、学校保健・学校給食については、日々の点検や学期毎の点検集約を通して、学校環境の衛生管理に努める。

2 食育の推進

(1) 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎づくりに努める。

(2) 食に関する指導の充実

市内産農作物を活用した給食の提供や栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進を図り、食に対する興味関心を高め、児童生徒自身の食生活の見直しに努める。

日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

1 月別災害発生件数（令和4年度）

（単位：件）

月 區別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
幼稚園	1	2	2	1	0	0	1	1	0	1	1	1	11
小学校	33	32	36	25	9	48	27	45	39	32	45	11	382
中学校	39	44	44	47	29	33	33	26	22	25	17	9	368
中等教育学校	3	4	5	5	0	9	1	3	3	3	0	0	36
合 計	76	82	87	78	38	90	62	75	64	61	63	21	797

2 傷害発生件数（令和4年度）

（単位：件）

種別 區別	捻挫		骨折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合 計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	2	0	3	0	1	0	0	1	1	0	2	1	0	11
小学校	38	44	82	16	40	47	2	14	27	6	14	41	11	382
中学校	26	75	92	38	27	35	3	5	6	5	4	16	36	368
中等教育学校	4	10	4	1	5	9	0	0	2	1	0	0	0	36
合 計	70	129	181	55	73	91	5	20	36	12	20	58	47	797

3 災害発生の場合別件数（令和4年度）

（単位：件）

場合別 區別	各教科		保 育 中	特 別 活 動	部 活 動	休 憩 時 間		始業前 授業終了後	登下 校中	そ の 他	合 計
	体育	体育以外				業 間	昼 食 時				
幼稚園	0	0	10	0	0	0	0	1	0	0	11
小学校	88	26	0	43	0	82	68	36	35	4	382
中学校	91	2	0	15	195	9	15	8	29	4	368
中等教育学校	21	0	0	2	7	0	1	0	5	0	36
合 計	200	28	10	60	202	91	84	45	69	8	797

四ツ葉学園中等教育学校

1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1
職員数 校長、教頭 2 人、事務長、教諭 63 人、養護教諭 2 人、事務職員 4 人 合計 73 人
生徒数 744 人（1 年 127 人、2 年 129 人、3 年 126 人、4 年 126 人、5 年 116 人、6 年 120 人）

2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と豊かな道徳性を身に付けた教養人を育成する。

3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

(1) 自 学

高い志をもち、自ら学び、真理を追求する生徒

(2) 自 律

自由な精神のもと、自らを律し、正義を貫く生徒

(3) 共 同

共に学び、共に高め合い、創造する生徒

(4) 共 生

博愛の精神のもと、個性を認め合い、共に社会をつくる生徒

4 特色ある教育

(1) 中等教育学校のメリットを最大限に活用

- ① 6 年間の一貫教育で夢と希望を実現
 - 発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「基礎期」「充実期」「発展期」）
- ② 高校入試の影響を受けない教育活動
 - 継続的・効率的な学習・部活動等の実施、前期課程からより高いレベルの学びの実現
- ③ 中等教育学校ならではの教員配置
 - 前期課程から義務校及び高等学校にて豊かな経験を有する教師をバランスよく配置
- ④ 上級生と下級生の交流の充実（サポートリーダー制）
 - 上級生から下級生へ、学習・生活・進路面等についてアドバイスする機会を設定
- ⑤ 教育効果を高める充実した施設
 - セミナーハウス、トレーニングルーム、進路指導室、自学室（TOEFL iBT 受験対応）など

(2) 一人ひとりの学力を伸ばす SUP や課外学習

学習習慣の定着や基礎学力の養成、そして、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間を確保する取組として、スキルアッププログラム（SUP）を導入しています。具体的には、毎朝の始業前に ICT を活用した学習などを行う「朝 SUP」、定期テスト前に朝や放課後に学習内容を補充する「テスト前 SUP」、土曜日に各教科の発展的学習に取り組む「土曜 SUP」、夏季休業中に基礎学力の定着や発展的学習による学力向上を図る「夏季 SUP」を実施しています。

また、生徒の進路希望を実現するために必要な学力を身に付ける「課外」を、始業前や放課後に希望する生徒を対象として実施しています。

(3) 最先端の知識や本物の技術に触れる探究的なキャリア教育

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、教室の中だけでは学ぶことのできない専門的な知識や最先端の技術に触れる体験をとおして、将来の生き方を考えるなど、特色のあるキャリア教育を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びを実感できるようにします。2年生の「アカデミックキャンプ」において、各自が研究テーマをもち、企業や大学を訪問し、エキスパートの方々から特別講義を受け、さらなる探究心を育みます。3年生では、首都圏の企業や官公庁を訪問する「キャリアディスカバリー」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。これらの学びを4年生以降の進路選択・進路実現につなげます。

また、「四ツ葉の学び」で学習したことを基に、自らの進路を考え、自分の考えや主張を論文にまとめる「みらい探究」を全ての学年で行います。この探究的な学習を通して、自らのキャリア形成を行い、生徒が自分や世界の未来を考え、世界で活躍できる資質・能力を育成する教育を推進します。

(4) グローバル社会を見据え、世界で活躍できる人材づくり

これからの世の中はグローバル化が一層進みます。生徒の視野を世界に広げ、SDGsの視点から、国際社会で活躍のできる生徒の育成を目指します。そこで、3年生の希望者30名は、米国ミズーリ州スプリングフィールド市にあるミズーリ州立大学(MSU)において、約10日間の語学研修を実施します。4年生は、1泊2日の「グローバルスタディーズキャンプ」に参加し、英語のコミュニケーション能力の向上とともにグローバル化する社会に対応する資質を培います。5年生は、ミズーリ州立大学で約11日間の海外グローバルリーダー研修に参加します。現地ではグローバルな課題(環境、貧困など)について、講義やフィールドワークを通して体験的に学びます。

5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会、中体連春季大会、避難訓練	10月	中間試験、入学者選抜説明会、進路セミナー、大学見学(4年)
5月	高校総体、中間試験、母校訪問(1年)、フレッシュマンズキャンプ(1年)	11月	マラソン大会、期末試験
6月	学校説明会、みらい探究全校成果発表会、期末試験、楓の輪祭	12月	三者面談、冬季講習会(3~5年)、予餞会、冬季学習会(6年)、小学5年生対象体験学習会
7月	中体連総体、三者面談、校外学習会、夏季SUP(I期)、海外グローバルリーダー研修(5年)	1月	百人一首大会、入学者選抜検査、大学入学共通テスト
8月	海外語学研修(3年)、夏季SUP(II期)、夏季講習会、進路セミナー	2月	入学予定者オリエンテーション、社会人への取材活動(2年)、期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年)、関西伝統文化研修(3年)、グローバルスタディーズキャンプ(4年)、進路セミナー	3月	卒業式、キャリアディスカバリー(3年)、終業式、春季学習会

教育研究所

1 概要

- (1) **根拠条例** 伊勢崎市教育研究所条例（平成 17 年 1 月 1 日条例第 95 号）
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成 17 年 1 月 1 日教育委員会規則第 28 号）

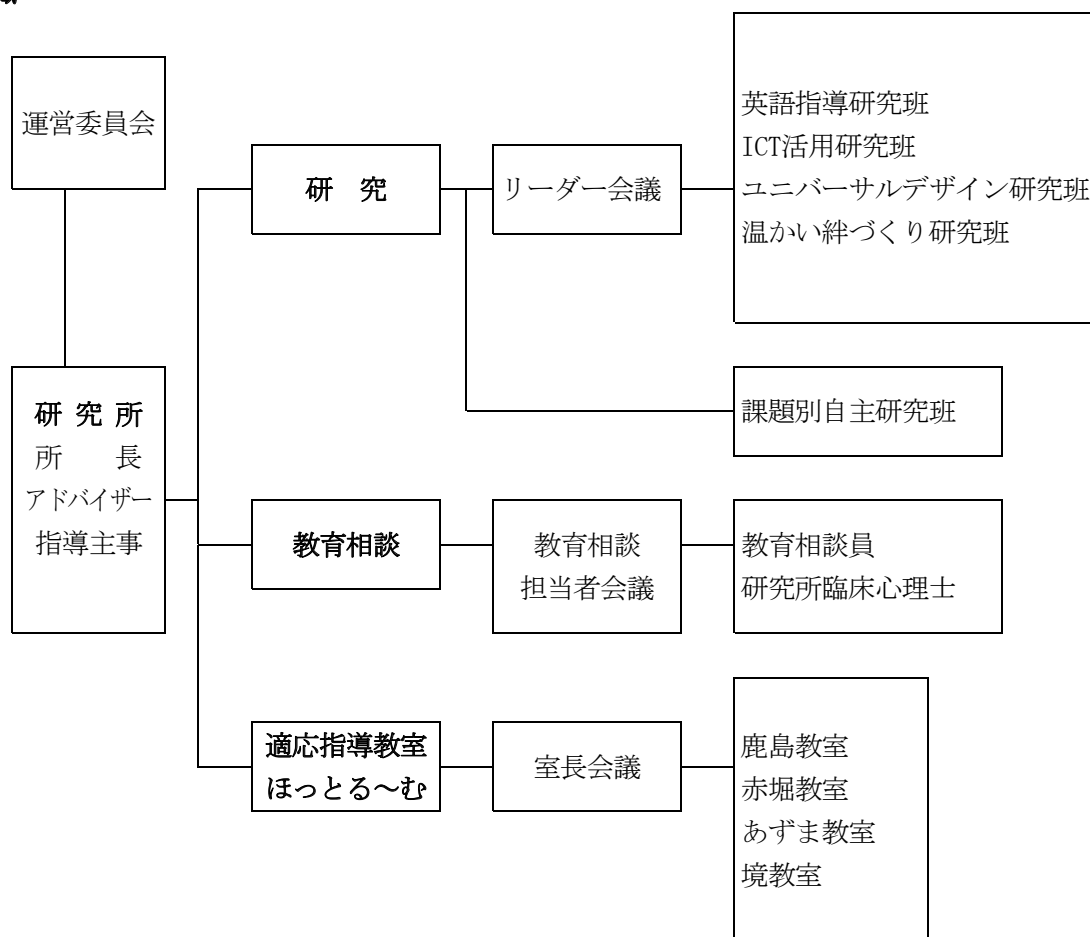
(2) 基本方針

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

(3) 努力点

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた情報発信及び情報収集に努める。
- イ 教育相談体制の改善・充実に努める。
- ウ 不登校児童生徒の集団への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子供に寄り添った指導を行う。

(4) 組織



- 〈運営委員会〉 小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、
小学校教頭顧問、中学校教頭顧問、
学校教育課長（兼）所長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、
研究所アドバイザー、研究所担当指導主事
- 〈リーダー会議〉 研究班リーダー、研究所アドバイザー、研究所担当指導主事
- 〈教育相談担当者会議〉 教育相談員、研究所臨床心理士、研究所担当指導主事
- 〈室長会議〉 ほっとる〜む室長、研究所アドバイザー、研究所担当指導主事、
研究所臨床心理士

2 研究事業

(1) 研究班

ア 研究テーマ

- (ア) 英語指導研究班
Can-Do リストを活用した効果的な振り返りの実践研究（2年次）
～パフォーマンステストを中核とした実践を通して～
- (イ) ICT活用研究班
情報を主体的に活用し、思考力・判断力・表現力を高め、学ぶ価値を実感できる子供の育成
～「情報活用能力」を育む指導実践と学びをつなぎ深める ICT 端末の活用を通して～
- (ウ) ユニバーサルデザイン研究班
自分から取り組める学びのユニバーサルデザイン
～教師の支援(人・モノ・言葉がけ)に着目して～
- (エ) 温かい絆づくり研究班
自己指導能力を身に付けた児童生徒の育成
～個を活かすための主体的な集団活動の実践を通して～
- (オ) 課題別自主研究班（日本語指導研究班）
日本語“も”使って、生き生き学び、夢や希望をもった児童生徒の育成
～「わかる」「できる」「だいじょうぶ」を目指した指導・支援を通して～
- (カ) 課題別自主研究班（発達支援研究班）

イ 研究日及び研究時間 水曜日 15：30～16：45 （年間17回）

ウ 研究の報告

- 随時、教育研究班だより等により発信。
- 年度ごとに研究の記録としてまとめる。
- 研究報告動画の配信

3 教育相談事業

(1) 教育研究所教育相談員による教育相談

- 学校及び「ほっとる～む」との連携に努める。
- 研究所臨床心理士と協力しながら教育相談に努める。

4 不登校対策事業

(1) 「ほっとる～む」の運営

- 児童生徒相互の関わり合いを深める活動を日常的に取り入れたり、乗馬体験や自然体験活動、スポーツ交流等を意図的・計画的に取り入れたりすることにより、集団に適応する力を培う。
- 研究所臨床心理士を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。
- 室長会議や教育相談研究協議会を定期的開催し、「ほっとる～む」間及び「ほっとる～む」と学校との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

(2) サポートケース会議

- 不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

(3) 教育相談研究協議会

- 学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。
 - ・「ほっとる～む」と学校・家庭・関係機関との具体的な連携のあり方について。
 - ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について。

5 研修講座事業

(1) 教育相談研修講座

- 期 日 年間計画により実施（年5回5講座程度）
- 内 容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対 象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

(2) 幼保こ・小連携研修講座

- 期 日 7月27日（木）の午後実施
- 内 容 保育に関わる教職員の資質の向上、指導方法の工夫改善・充実
保育と小学校の学びが滑らかに接続していける指導方法の工夫
- 対 象 市内公立学校園の教職員（市内私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園にも紹介）

(3) 伊勢崎教師塾

- 期 日 6月1日（木）、9月12日（火）、11月17日（金）、1月23日（火）の午後実施
- 内 容 学校教育が抱える課題と改善策をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集

(4) 日本語指導研修講座

- 期 日 6月20日（火）の午後実施
- 内 容 外国籍児童生徒への理解を促進し、学校教育が抱える課題の解決を図るための講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集（日本語教室担当者及び日本語教育研究班含む）

(5) 特別支援教育研修講座

- 期 日 6月6日（火）、9月19日（火）、1月30日（火）の午後実施
- 内 容 児童生徒の発達支援について、見立ての視点や情報整理の方法等をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集

6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携

IV 学校給食

学校給食の充実

1 基本方針

栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することにより、発育期にある児童・生徒の心身の健全な発達と、健康の増進、体位の向上を図り、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。そのため、安心安全な学校給食を安定して提供することを心掛けています。

2 重点施策（令和5年4月1日現在）

(1) 令和5年度給食実施計画

ア 調理場の調理食数と給食対象校

調理場	給食対象校
第一東学校給食調理場 (調理食数 4,900 食)	あかぼり・あずま幼稚園、 赤堀・赤堀南・赤堀東・あずま・あずま南・あずま北小学校、 赤堀・あずま中学校
第一西学校給食調理場 (調理食数 5,400 食)	北・南・殖蓮・茂呂・三郷・北第二・殖蓮第二小学校、 第一・第三・殖蓮中学校、 特別支援学校（小・中学部）
第二学校給食調理場 (調理食数 5,200 食)	宮郷・名和・豊受・広瀬・坂東・宮郷第二小学校、 第二・第四・宮郷中学校
境第一学校給食調理場 (調理食数 1,050 食)	境・境東小学校、 境南中学校
境第二学校給食調理場 (調理食数 1,100 食)	境采女・境剛志小学校、 境北・境西中学校

イ 年間給食費及び徴収回数

幼稚園・小学校・小学部 年間44,400円を12回で徴収（月額3,700円）

中学校・中学部 年間53,000円を12回で徴収

（月額4,500円ただし3月分は3,500円）

幼稚園、小学校、特別支援学校小等部の教職員 年額54,400円

中学校、特別支援学校中等部の教職員 年額63,000円

学校給食に要する経費については、学校給食法において人件費・施設設備費等は設置者が負担し、食材料費は保護者が負担することとなっているが、様々な食品価格、とりわけ基本物資である米飯やパンなど主食についても大幅な値上げが行われたなかでも、これまでどおり給食の質を落とすことなく、児童生徒へ栄養バランスのとれた学校給食を安定的に提供するために、1食当たりの給食単価を小中学校ともに一律50円の増額改定をすることとし、増額分のうち、児童生徒分については、公費

負担としました。

令和元年度より、第3子以降学校給食費の助成を開始。

同一世帯の18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を3人以上養育しており、かつ、第3子以降の児童生徒が小中学校等（市外を含む）に在籍している、給食費に滞納がない、年間を通して他制度による給食費の助成を受けていない人が対象。

ウ 給食（調理場稼働）日数 198日

エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1日の栄養所要量に対する学校給食の割合 (%)
エネルギー (Kcal)	650	830	33
たんぱく質 (g)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%~20%		摂取エネルギーの13%~20%
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%~30%		摂取エネルギーの20%~30%
食塩相当量 (g)	2未満	2.5未満	33%未満
カルシウム (mg)	350	450	50
鉄 (mg)	3	4.5	40
マグネシウム (mg)	50	120	小学校 33 中学校 40
食物繊維 (g)	4.5以上	7以上	40%以上
亜鉛 (mg)	2	3	33
ビタミンA (μ gRE)	200	300	40
ビタミンB1 (mg)	0.4	0.5	40
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.6	40
ビタミンc (mg)	25	35	33

オ 学校給食運営委員会 委員数 15人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。会議は、年2回以上開催する。

カ 学校給食衛生委員会

調理場の衛生管理状況を確認するため、学校給食運営委員会と兼ねて開催。

保健福祉事務所や学校薬剤師会、群馬県教育委員会など外部機関から調理場への衛生指導内容と、調理場の改善案等を審議する。

(2) 学校給食を活用した食育指導の充実

ア 栄養教諭、学校栄養職員による食に関する指導の実施

給食時の訪問指導をはじめ、給食だよりの配布、PTA試食会での講話、T・T授業など学校と連携した指導を実施。

イ 学校給食年間指導計画

令和5年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行う。

ウ 市内産農産物を使用した給食の提供

児童生徒が地域の農業や食文化について興味や関心を持つきっかけとなるよう、学校給食では市内産農産物を積極的に使用する。

令和5年度 学校給食年間指導計画（令和5年4月1日現在）

月	目 標	ね ら い	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にする	学校給食について・入学、進級祝い・ソースカツ・栃木県	旬の食べ物	入学・進級	群—ソースかつ 郷—栃木県
5	衛生に注意しよう	正しい手洗いや身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・こんにゃくのきんぴら・高知県・中国	日本型食生活	端午の節句	群—こんにゃくのきんぴら 郷—高知県 世—中国
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯と口の健康週間・食育月間・混ぜごはん・奈良県・韓国	かみごたえのある食べ物	歯と口の健康週間	群—混ぜごはん 郷—奈良県 世—韓国
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県	食欲増進	七夕	郷—沖縄県 いせさきふるさと給食
9	食生活の見直しをしよう	成長期に必要な栄養について知る	鉄分について・ごまよごし・インド・石川県・くわまる誕生日（9/8） 十五夜	鉄分強化	十五夜	群—ごまよごし 郷—石川県 世—インド
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎市の特産物について知り、食と農に興味や関心を持つ	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・愛知県	地場産物活用	学校給食ぐんまの日	群—焼きまんじゅう 郷—愛知県
11	感謝して食べよう	食べ物の命や、給食が届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・すきやき・青森県	食物繊維強化	収穫祭	群—すきやき 郷—青森県 リクエスト いせさきふるさと給食
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・呉汁・秋田県	ビタミン強化	冬至	群—呉汁 郷—秋田県
1	給食の歴史を知ろう	給食の歴史と役割を知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・おつきりこみ・アメリカ	旬の食べ物	小正月 学校給食週間	群—おつきりこみ 世—アメリカ いせさきふるさと給食

2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事について知り、好き嫌いなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・伊勢崎銘仙・北海道	大豆・豆製品の活用	節分	群一伊勢崎神社 ロッケ 郷一北海道 リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・すいとん・香川県	カルシウム強化	ひな祭り 卒業祝い	群一すいとん 郷一香川県

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との連携
4	～春～ みつば・春キャベツ・たけのこ・にら・さわら・新玉ねぎ・清見オレンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ (小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・グリンピース・あじ・かつお・いわし他	保健 けがの防止 (小5) 保健 病気の予防 (小6) 家庭科 見直そう! 毎日の食事 (小6) 学活 望ましい食習慣を身に付けよう (中1) 学活 食の自己管理を身に付けよう (中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・トマト・夏ごぼう・たまねぎ・かぼちゃ・とうもろこし・枝豆・たこ・梅・さくらんぼ他	学活 おはよううんち (小3) 学活 よくかんで食べよう (小4) 学活 食の自己管理能力を身に付けよう (中2)	給食だより 「食育月間」
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・かぼちゃ・じゃがいも・ゴーヤ・ズッキーニ・とうもろこし・枝豆・なす・すいか・たこ・ごぼう他	保健 けんこうな生活 (小3) 保健 育ちゆくわたし (小4) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいのかな (小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・かつお・きのこ・かぼちゃ・さといも・たちうお・ぶどう・プルーン・おはぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちの暮らし (小3) 社会 住みよいくらしをつくる (小4) 学活 やさいとなかよし (小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから (小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ぎんなん・ちんげんさい・れんこん・さといも・栗・さんま・さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね! きょうのごはん (小6) 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう (小4) 学活 郷土料理を知ろう (中2)	給食だより 「学校給食ぐんまの日」
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・きのこ・さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆 (小3) 国語 アップとルーズ (小4) 学活 元気のひみつはなあに? (小1)	給食だより 「感謝して食べよう・いせさき家族でいただきますの日」
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ブロッコリー・長ねぎ・春菊・ごぼう・かぶ・ぶり・みかん他	学活 健康を考えたおやつ (小6)	給食だより

1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ 長ねぎ・玉ねぎ・にんじん・ ブロッコリー・カリフラワー・ 水菜・キャベツ・春菊・ぶり・ わかさぎ・鮭他	学活 日本食のよさをみつけよう (小5)	給食だより 「給食の歴史を 知ろう」
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・ あさり・いよかん他	学活 バランスよく食べよう (小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな (小6)	給食だより
3	～春～ 菜の花・キャベツ・あさり・ ほたて・にしん・いちご他		給食だより

3 令和4年度実績

(1) 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進

ア 給食時の指導

	調理場名	回数
1	第一東学校給食調理場	168回
2	第一西学校給食調理場	156回
3	第二学校給食調理場	184回
4	境第一学校給食調理場	8回
5	境第二学校給食調理場	51回

イ その他の指導

	主な指導内容	回数・人数
1	学校保健委員会等における講師	16回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	60回
3	P T A等給食試食会の講師	0回
4	P T A等給食試食会の参加者	0人

(2) 伊勢崎市産農産物(野菜等)を活用した給食の提供

調理場地区	令和3年度実績			調理場地区	令和4年度実績		
	総使用量	市内産使用量	比率		総使用量	市内産使用量	比率
伊勢崎地区	340,300kg	162,100kg	47.6%	伊勢崎地区	337,000kg	171,600kg	50.9%
赤堀・東地区	158,700kg	69,400kg	43.7%	赤堀・東地区	139,200kg	67,400kg	48.4%
境地区	70,300kg	31,200kg	44.4%	境地区	70,300kg	33,000kg	46.9%
全地区	569,300kg	262,700kg	46.1%	全地区	546,500kg	272,000kg	49.8%

V 生涯学習

生涯学習の充実

1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

2 重点施策

(1) 市民が主役の生涯学習の充実

- ア 学習活動の支援
- イ 学習機会の拡充
- ウ 学習環境の充実

(2) 子供の徳育の充実

- ア 家庭や地域との連携による心の育成
- イ 地域ぐるみの子供の健全育成

3 令和4年度事業実績

(1) 市民が主体となった学習機会の支援

ア 学習支援体制の整備

(ア) 生涯学習支援事業

a 生涯学習大会

市民が自己の生活を充実させ、生きがいのある生活を見いだすために生涯学習大会を開催し、併せて、生涯学習推進関係者の研修の一環とすることで、地域の生涯学習活動の推進を目指している。

- 実施期日 令和5年1月14日(土)
- 会場 境総合文化センター
- 参加人数 190人

b 出前講座

「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」のまちづくりを基調に、市民の学習活動を支援するために、市民の求めに応じて市職員を講師として派遣し、市の施策等を情報提供した。

- 実施内容 40課 71メニュー 申し込み件数 98件
- 参加人数 3,626人

c 生涯学習支援ボランティアまなびい先生

地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。また、楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい

先生自主企画事業」を開催した。

○まなびい先生事業

登録者 56人 メニュー数 79件 活用件数 27件 参加人数 655人

○自主企画事業 20講座 延べ 47回 参加人数 728人

d 高等教育機関との連携事業（公開講座）

地域の教育的機能を持つ上武大学並びに東京福祉大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するための公開講座を開催している。

○上武大学 1講座 参加人数 57人

○東京福祉大学 5講座 参加人数 50人

イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行いました。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行いました。

(ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行いました。

○構成メンバー 学校教育関係者 1人、社会教育関係者 21人、家庭教育の向上に資する活動を行う者 3人、学識経験者 5人の計 30人

○開催回数 4回

(イ) 公民館による学級・講座開設

a セカンドライフセミナー

急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごすための学習をしました。（初めての接木教室等）

○参加人数 711人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境剛志、境島村、境東

b 女性学級

女性としての視野を広め、社会における役割を考えました。（女性のための健康づくり応援講座等）

○参加人数 705人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境剛志、境島村、境東

c 家庭教育学級

幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子供の育成を目指して、子供の育て方、親のあり方を学びました。（読み聞かせ教室等）

○参加人数 1,769人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境東

d 市民講座

多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図りました。(はじめての資産形成資産運用講座等)

○参加人数 2,375人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東

e 子どもクラブ

様々な活動を通して、子供たちの自主性、社会性を養いました。(子供プログラミング講座等)

○参加人数 3,069人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東

f 健康促進講座

スポーツ等を通して地域住民の交流と健康増進を図りました。(モールウォーキング教室等)

○参加人数 1,109人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境東

g IT講習

IT社会に住民が十分対応できるよう基礎技能の修得の場を提供しました。(便利なスマホ講座等)

○参加人数 1,077人

○実施公民館 北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東

(ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めました。

(工) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	利用 者数	サー クル 数	利 用 件 数	利 用 者 数	利 用 件 数	利 用 者 数	開 催 ・ 利 用 件 数	利 用 者 数
北	62件	843人	50団体	1,530件	15,417人	180件	4,037人	1,772件	20,297人
南	58	634	37	915	11,056	213	2,325	1,186	14,015
殖蓮	81	2,276	51	1,118	14,016	317	8,447	1,516	24,739
茂呂	95	1,323	38	1,013	9,387	302	9,044	1,410	19,754
三郷	40	511	40	1,131	10,899	253	7,819	1,424	19,229

宮郷	60	682	66	1,912	21,044	428	12,205	2,400	33,931
名和	63	940	33	860	7,295	219	5,960	1,142	14,195
豊受	63	672	36	929	7,567	230	9,438	1,222	17,677
赤堀	110	2,116	35	865	6,441	1,361	16,103	2,336	24,660
あずま	131	1,630	70	1,673	15,235	167	5,141	1,971	22,006
境	31	462	57	1,857	14,632	175	2,750	2,063	17,844
境采女	41	400	24	640	4,462	347	6,422	1,028	11,284
境剛志	34	418	28	814	9,085	95	3,797	943	13,300
境島村	14	140	16	272	2,103	67	1,694	353	3,937
境東	32	363	32	899	7,347	107	2,485	1,038	10,195
計	915	13,410	613	16,428	155,986	4,461	97,667	21,804	267,063

(2) 生涯学習推進体制の整備

ア 生涯学習推進協議会の開催

生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図るため、推進協議会を開催した。

委員 34人 開催回数 1回（6月30日実施）

イ 生涯学習推進協議会幹事会の開催

推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行うため幹事会を開催した。

委員 16人 開催回数 1回（4月26日実施）

ウ 生涯学習推進員の委嘱

地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。

推進員 170人

エ 生涯学習推進員研修会の開催

地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指すため、講演会を行い市民の自己啓発を図っている。

実施日 令和4年9月17日（土） 参加人数 104人

オ 生涯学習推進事業

地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区の生涯学習推進員を中心に、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。

（170の行政区と生涯学習推進事業委託を結び推進している）

カ 赤石楽舎活用推進事業

赤石楽舎の利用については、北小学校の児童が授業で使用したり、地域の文化・スポーツサークルの方々が、子供達を交えた活動を行っている。

生涯学習支援ボランティアまなびい先生による自主企画事業を実施した。また、市民団体によるイ

ベント会場としても活用されている。

利用件数 562 件 利用者数 104,516 人

(3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習をとおして、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

ア 社会教育委員会議の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画について審議した。

委員 20 人 開催回数 4 回

イ 子供の健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

(ア) 子供の健全育成

a 少年の主張大会

市内中学生が日頃感じている事や夢、希望などを発表することにより社会の一員としての自覚を高めると共に少年に対する市民の理解を求め実施した。

○実施期日 令和4年6月29日(水)

○参加人数 発表者数 12 人 来場者数 74 人 計 86 人

b 放課後子供教室事業

地域社会の中で、子供たちが安全で安心して、健やかに育まれるよう、そして次代を担う人材の育成のため、児童が多様な体験・活動を行うことを目的として実施した。

○北小学校地区 22 日間実施 参加人数 延べ 537 人 協働支援員等 延べ 115 人

○南小学校地区 25 日間実施 参加人数 延べ 322 人 協働支援員等 延べ 141 人

○三郷小学校地区 14 日間実施 参加人数 延べ 303 人 協働支援員等 延べ 119 人

○名和小学校地区 22 日間実施 参加人数 延べ 702 人 協働支援員等 延べ 140 人

○坂東小学校地区 21 日間実施 参加人数 延べ 442 人 協働支援員等 延べ 120 人

○境采女小学校地区 21 日間実施 参加人数 延べ 600 人 協働支援員等 延べ 125 人

○赤堀東小学校地区 20 日間実施 参加人数 延べ 492 人 協働支援員等 延べ 136 人

○境東小学校地区 13 日間実施 参加人数 延べ 107 人 協働支援員等 延べ 58 人

○宮郷小学校地区 20 日間実施 参加人数 延べ 498 人 協働支援員等 延べ 129 人

○殖蓮小学校地区 19 日間実施 参加人数 延べ 278 人 協働支援員等 延べ 146 人

c 特別支援学校等青年教室

特別支援学校等卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための事業(ミュージックケア、読み聞かせ、クリスマス会)を開催している。

○令和4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

d 定時制教育振興事業

伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図るため、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。

○参加人数 83 人

e 親子ふれあい事業

未来を担う子供たちが心身ともに健やかに成長することを願い、観察、採集、栽培、実験など

自然に関わる事業、リサイクル、自然物を利用した手作りによる工作等の親子ふれあい事業を実施した。

- 実施内容 体験学習 55 事業 54 日間実施 (1 事業、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- 参加人数 2,071 人

(イ) 家庭教育振興事業

- a 家庭教育人権教育推進委託事業
幼稚園・小中中等特別支援学校 P T A に対し、家庭教育と人権教育の推進事業を委託した。
- b 市 P 連理事・女性委員合同研修会
市 P 連理事・同女性委員、本部役員、会員希望者対象に家庭教育に関する講演会を実施した。
 - 実施期日 令和 4 年 8 月 2 1 日 (日)
 - 会 場 宮郷公民館
 - 参加人数 38 人

ウ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図る。

(ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子供、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置している。

委員構成は、33 人以内 内訳は、学校教育関係者 9 人以内、P T A 会長 5 人以内、その他教育委員会が適当と認める者 10 人以内、市職員 9 人以内。

(イ) 人権教育啓発事業

- a P T A 家庭教育人権教育推進委託事業
家庭教育の主役である P T A 会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施する。
 - 実施期間 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月
- b 集会所における人権問題学習講座
市内 6 集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を開催している。
 - 実施時期 令和 4 年 5 月～9 月
 - 参加人数 延べ 118 人
- c 親子で学ぶ人権問題学習講座
「夏休み親子ビデオシアター」として、夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を 6 集会所において実施している。
 - 実施期日 令和 4 年 8 月 5 日 (金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、連取町
 - 参加人数 18 人 集会所のみで実施
- d 人権のまちづくり講演会
市民を対象とした啓発事業で、令和 4 年度は動画配信による形式で講演会を実施した。
 - 実施時期 令和 4 年 8 月 1 8 日 (木)～3 1 日 (水)

e 地区別人権学習会

人権啓発資料の紹介や講演会を行い、市民の人権意識の高揚を図る。

(伊勢崎市人権学習会として1回実施)

○実施期日 令和4年11月9日(水)

○会 場 宮郷公民館

○参加人数 56人

f 人権について考える集い(隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催)

基本的人権にかかわる人権・同和問題について、市民一人ひとりに正しい理解と認識を深めていただくために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催し、「差別のない明るい社会」を目指すものとする。

○実施時期 令和5年1月22日 ※中止

g 人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集(人権啓発カレンダー作成)

小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子供たちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その優秀作品等で人権啓発カレンダーを作成し、市内全校児童生徒に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。

○人権啓発ポスター(募集時期 7~9月)小学生 415点 中学生 282点

○人権標語(募集時期 12月)小学生 10,911点 中学生・特支 5,540点

(ウ) 集会所管理運営事業

運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開き、人権問題の早期解決をめざす。

施設名	事業名					参加人数
	内容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	2	交流教室	9	249	3,534人
道伝集会所	人権問題学習講座	2	交流教室	2	72	357人
宮子町集会所	人権問題学習講座	2	交流教室	9	207	2,309人
柴町集会所	人権問題学習講座	2	交流教室	8	107	859人
連取町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	6	123	1,094人
三室町集会所	人権問題学習講座	1	交流教室	6	137	1,130人
総計		12		40	895	9,283人

※連取町集会所の人権問題学習講座1回は、夏休み親子ビデオシアターとして開催した。

4 文化の振興と発信

(1) 公民館文化事業の充実

ア 公民館サークル等作品展の開催

公民館利用サークルを中心とした地区の文化活動の成果を公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めるとともに、より一層の公民館活動の活発化を図るため、公民館作品展を開催しました。

作品展出品数 4,929点 入場者数 3,214人

芸能発表出演者数 1,239人 入場者数 1,701人

関連施設

(1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 359 日

学習館取材事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用 件数	利用者数
件	人	団体	件	人	件	人	件	人
0	0	44	1,554	12,813	219	2,937	1,773	15,750

(2) あずまホール

利用状況：開館日数 335 日

	音楽	舞踏	大会	講演会	研修会	説明会	練習	準備	合計
利用件数	7件	5件	8件	4件	1件	1件	267件	5件	298件
利用者数	688人	1,090人	1,845人	400人	110人	85人	5,905人	83人	10,206人

(3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 335 日

	日帰り	宿泊	利用総数
利用件数	1,329件	33件	1,362件
利用者数	19,339人	589人	延べ 20,661人

主催事業

実施日	事業名	参加人数
5月29日	オリジナルグラスづくり	20人
8月21日	手作り水鉄砲であそぼう	16人
9月4日	かけっこ教室	28人
10月9日	オリジナルキャンドルづくり	20人
11月12日～13日	おもしろ教室	中止
11月12日	みんなでカレーづくり (おもしろ教室の代替事業)	10人
11月13日	みんなでピザづくり (おもしろ教室の代替事業)	15人
12月17日	オリジナル茶碗づくり	16人
1月15日	宝石せっけんづくり	16人
2月12日	スノードームづくり	18人
3月5日	防災体験教室	20人
年間(4月～3月)	おうち時間で簡単に出来るオリジナルカップ作り (自宅等でカップづくりができる体験活動)	364人
合計		543人

図 書 館

図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の附属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。また、平成29年4月より、生涯学習課から「読書の街いせさき」推進事業が移管された。

令和3年には伊勢崎市図書館が開館100周年を迎えた。また、翌令和4年には市史編さん係が設置された。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣 工 年 月 日	昭和51年11月	平成2年9月 平成7年4月(設置)	平成11年3月	昭和61年3月
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り
敷 地 面 積	6,158.94 m ²	—	4,790.21 m ²	4,689.87 m ²
延 床 面 積	2,762.41 m ²	400.50 m ²	1,837.85 m ²	1,433.90 m ²
学 習 室	100 席	コーナー	コーナー及び24 席	コーナー及び講座室
調 査 相 談 室	18 席	コーナー	コーナー	コーナー
軽 読 書 コ ー ナ ー	有	有	有	有
新 聞 雑 誌 室	有	無	有	有
視 聴 覚 コ ー ナ ー	無	有	有	有
資 料 展 示	有	ロビー(共用)	ロビー	境絹の館
集 会 室 ・ 会 議 室	集会室約100 席	会議室20 席(共用)	視聴覚室約100 席	講座室46 席
駐 車 場	90 台	105 台(共用)	57 台	28 台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

2 重点施策（読書の街づくりの推進）

(1) 豊かな心を育む読書活動の推進

- ア 読書を通し、人・文化を育む図書館
- イ 地域・市民が交流し集う図書館

(2) 図書館の特色を活かした事業の展開

- ア 生活・仕事の課題解決に役立ち、地域に生きる図書館

(3) 小中学校図書室との連携

- ア 図書館と学校図書室との連携促進

3 令和4年度事業実績

(1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者4人、学識経験者4人からなる。令和4年度は会議を2回開催、研修会を1回実施した。

- 第1回 令和4年6月17日（金）午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員9人
令和3年度事業報告について
令和4年度教育行政方針（図書館）について
令和4年度事業計画について
- 第2回 令和4年7月1日（金）午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員6人
研修「県内5市の現状について」
- 第3回 令和5年3月16日（木）午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員10人
令和4年度事業報告について
令和5年度事業計画について

(2) 図書館資料の構成・貸出

ア 蔵書構成

購入23,246点、寄贈2,506点等の受け入れと、18,441点の除籍等を行い、全館所蔵点数は697,297点である。

一般図書は、全館通して文学の割合が高く、約44%を占めている。特に境図書館で約52%と高くなっている。文学以外では、全館で社会科学が約11%と割合が高く、次いで芸術、歴史の順となっている。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっており、合わせて約70%を占める。特に、境図書館では文学の割合が高く約35%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオテープが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変化に伴うものであり、蔵書についても、これらに対応した傾向となっている。

イ 貸出

貸出数は835,091点で、前年度と比較して約1.5%増加した。また、貸出人数は157,725人で、前年度と比較して約3%増加した。

貸出の利用者の世代を表す特徴としては、40歳～49歳が全体の18%を占めている。

市内幼稚園、保育園、放課後児童クラブ等の児童関連施設、社会福祉施設等へ向けて、図書館から図書を届ける、若しくは来館により貸し出している。今後もより多くの市民により広く図書が届くようサービスを展開していきたい。

ウ 学校連携

平成27年11月から小中学校へ向けて、学校支援サービスを開始した。本の提供サービスとして、児童・生徒、先生が必要とする資料を選書のあと配送し回収する。令和4年度は106回の配送を行った。学校図書室へのサービスとしては、さまざまな情報を発信しながら、学校図書室事務職員の相談に応じ、より効果的な学校図書室の運営を支えていく。学校現場に寄り添い充実したサービスとしていきたい。

また、学校における読書推進をサポートする取り組みとして、平成29年度から学校専用の「読書通帳」を配布している。

エ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、希望する図書等をボランティアの協力のもとに朗読テープを作成し、貸し出している。令和4年度の貸出数は、朗読テープ91点で、利用者は延べ13人だった。

オ 配達サービス

来館が困難である高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書やCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。令和4年度の貸出数は、図書1,108点で、利用者は延べ309人だった。

カ インターネット・館内利用者端末（OPAC）予約

インターネット予約の件数は、全館で61,165件で、全予約件数の約77%を占めている。また、平成27年度から館内利用者端末（OPAC※）での予約が可能となり、令和4年度は全館で5,959件の予約を受付した。

※ OPAC (Online Public Access Catalog オンライン蔵書目録) とは一般の利用者が図書館内で蔵書検索できる端末のこと

(3) 図書館奉仕事業

ア ブックスタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であるが、感染拡大防止のため読み聞かせは行わず、10か月児健康相談の際に絵本の配布のみ行った。

令和4年度は絵本を2冊と、子育てアドバイス集を一緒に配布した。配布数は、健康管理センターで1,546冊、赤堀保健センターで1,330冊、計2,876冊だった。

イ 読み聞かせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、図書館における対面での読み聞かせは全館で中止した。

家庭で少しでも読み聞かせに親しんでもらえるように、読み聞かせ動画の配信を行った。動画の配信にあたっては著作権者の了解をいただける作品を使用し、子ども向け読み聞かせ動画を郷土の民話を中心に3本配信した。

ウ 親子で参加できる事業

本や図書館に触れるきっかけとなるような、親子で楽しく参加できる事業を、感染症対策を徹底しながら実施した。

伊勢崎市図書館では、夏休みにクイズラリー「くわまるをさがせ!」、10月に「ぬいぐるみのおとまり会」等を行った。

赤堀図書館では「みんなでシネマ」、あずま図書館では子ども向けに「アニメシアター」、境図書館では「親子映画会」として映画の上映を行った。

エ いせさき学習堂・こどもいせさき学習堂

伊勢崎藩の藩校・学習堂が現在の伊勢崎市図書館付近に立地し、民間の学校である「郷学」を支援するなど江戸期の伊勢崎の教育を牽引する役割を担っていたことに因み図書館から学びを発信しようと、図書館で実施する各種講座を「いせさき学習堂」、子供向け講座を「こどもいせさき学習堂」と冠して実施した。いずれの講座も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面・オンラインを併

用することで実施した。

【いせさき学習堂】

11月19日に文学・歴史講座「北条義時」を、1月12日から3月9日まで古文書入門講座（全8回）を、郷土文化講座として8月28日に「田島弥平と世界遺産『富岡製糸場と絹産業遺産群』」3月4日に「群馬の現代染織」を実施した。

【こどもいせさき学習堂】

夏休み期間に合わせ、「読書感想文の書き方講座」を開催した。また、「調べる学習応援講座」（オンライン）を実施した。

オ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業で、夏休みを利用して市内各図書館で、小学生を対象に実施した。子どもたちは、カウンターでの資料の貸出・返却処理、書架整頓、ブックカバーの装丁などの仕事を体験した。

カ 各種講座・教室

伊勢崎市図書館において、10月22日に村上春樹著「女のいない男たち」をテキストとした市民読書会を実施した。

キ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で、「郷土資料展示 田島弥平生誕200周年」（8月6日～8月28日）や、他部課と連携して「埋蔵文化財移動パネル展」「がん予防パネル展」等を行った。

赤堀図書館では館内で、「赤堀図書館文化祭（11月5日～11月27日）」、あずま図書館では「昆虫写真展×図書館クイズラリー（7月20日～8月20日）」、境図書館では「絵はがき『伊勢崎境地区の伝統建築家屋17景』原画展（9月3日～25日）」をはじめ、「図書館で昆虫採集！？（8月2日～28日）」「境図書館がおすすめする未貸出図書（11月1日～24日）」等の企画を開催した。

ク 図書館FESTIVAL

11月3日に、伊勢崎市図書館と赤石楽舎を会場に実施した。本県出身の作家あんびるやすこさんを講師として講演会を行ったほか、読み聞かせ、しおり作り、まゆクラフトなどの各種体験型企画、「家族ふれあい読書新聞」の展示と交流会、図書館に関連する団体の活動紹介、リサイクル図書の配布などを実施した。

ケ 朗読会・演奏会・映画会

図書館での時間を楽しみ、本と親しむ場を提供することを目的に、伊勢崎市図書館では3月5日に朗読コンサート「スーホの白い馬」を行った。

赤堀・あずま・境図書館では、名作や子どもたちに人気の作品を選んでの映画会を行った。また、「あかぼり図書館でJAZZを聴こう！」は、赤堀芸術文化プラザロビーで開催した。

コ 図書館応援団

図書館ボランティアを「図書館応援団」として広く募集し、令和4年度は221人を受け入れた。図書の配架や修理、読み聞かせ、まちかど図書館の運営など図書館事業に関わるボランティア活動を行っており、感染リスクの低い活動を中心に参加していただいた。

サ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料や市民から寄贈された本をリサイクル図書として市内22カ所の「まちかど図書館」で利用するほか、市民に無料配布し、有効活用している。図書館での配布冊数は図書12,570冊、雑誌3,531冊、まちかど図書館での配布冊数は1,822冊であった。

シ 施設見学・体験学習

インターンシップの受入は4人であった。チャレンジウィークについては7校から28人を受け入れた。また、赤堀図書館で高校生の職場体験36人を受け入れたほか、伊勢崎市図書館で図書館実習生1人を受け入れた。

(4) 市史編さん事業

ア 市史編さん委員会

伊勢崎市史編さん委員会条例を新規制定し、市史編さん委員会を設置した。令和4年12月12日(月)に委嘱状交付式及び第1回市史編さん委員会を開催し、15人の委員を委嘱した。

イ 専門委員会

伊勢崎市史編さん専門委員会設置要綱を新規制定し、専門委員会を設置した。令和5年2月1日(水)に委嘱状交付式及び第1回市史編さん専門委員会を開催し、7人の委員を委嘱した。

ウ 専門部会

専門委員会の中に原始古代、中世、近世、近現代、民俗、自然の6つの専門部会を設置した。また、各部会の部会長と部会員を1人ずつ委嘱し、部会ごとに活動計画について協議した。

(5) その他

ア 寄附

群馬境ロータリークラブと境ライオンズクラブからは視聴覚資料(CD、DVD)、その他個人から図書の寄附があった。

(6) 境絹の館

境図書館の敷地内にあり昭和54年に寄附を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的に利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用した。

なお、ここでは郷土の著名な画家金井烏洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供している。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館別 区分		伊勢崎市 図書館	伊勢崎 市民プラザ 図書室	赤堀図書 館	あずま 図書館	境図書館	合 計	
		奉仕 人口	令和3年度	132,587		23,917	26,849	29,593
	令和4年度	131,834		24,053	26,925	29,366	212,178	
利用者数	令和3年度	59,374	19,848	18,210	27,401	25,282	150,115	
	令和4年度	61,796	21,650	18,658	27,273	24,860	154,237	
令和4年度開館日数		275	336	318	279	279	—	
令和4年度新規登録		1,046	218	281	319	264	2,128	
全貸出数	令和4年度個人	伊勢崎地区	264,527	91,275	18,264	40,612	32,646	447,324
		赤堀地区	5,681	701	58,032	12,435	992	77,841
		東地区	5,330	959	10,909	70,830	1,685	89,713
		境地区	9,726	5,854	1,132	7,390	71,863	95,965
		市外	14,163	5,521	7,030	12,333	10,121	49,168
		計	299,427	104,310	95,367	143,600	117,307	760,011
	団体等	令和3年度	57,032	59	3,168	3,698	2,608	66,565
		令和4年度	63,441	97	3,419	4,552	3,571	75,080
	総計	令和3年度	349,873	98,126	98,351	150,378	125,234	821,962
		令和4年度	362,868	104,407	98,786	148,152	120,878	835,091

奉仕人口は住民基本台帳、令和3年、令和4年4月1日現在による。

新規登録は市外、団体等を含む。全貸出数の団体等は市内学校への貸出しを含む。

地区別年齢区分別利用者数・貸出数

年齢 区分	伊勢崎地区		赤堀地区		東地区		境地区		市外	
	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
70～	17,120	78,199	1,812	7,760	2,935	12,822	5,024	20,250	2,050	7,803
60～69	14,202	60,676	1,519	6,093	2,973	11,525	3,406	12,579	2,021	8,376
50～59	12,672	52,223	1,700	6,952	2,202	8,823	2,722	10,066	1,984	8,229
40～49	14,540	74,486	3,436	17,443	2,656	14,801	3,241	16,894	2,420	10,885
30～39	9,717	56,109	1,685	10,480	2,352	13,751	1,691	10,868	1,187	5,515
23～29	2,432	10,829	614	3,318	421	2,084	488	2,093	398	1,710
19～22	1,246	5,333	220	1,096	372	1,277	300	1,151	112	550
16～18	1,000	4,305	230	989	142	650	286	1,304	102	435
13～15	2,105	10,789	472	2,083	406	2,037	500	2,368	143	847
10～12	4,156	24,983	908	5,469	957	4,843	1,022	5,516	256	1,369
7～9	5,413	35,689	1,518	9,336	1,386	8,995	1,035	6,420	323	2,074
0～6	4,746	33,703	978	6,822	1,160	8,105	899	6,456	224	1,375
計	89,349	447,324	15,092	77,841	17,962	89,713	20,614	95,965	11,220	49,168
令和3年度	86,281	438,448	14,900	77,228	17,896	91,064	20,022	96,545	11,016	52,112
前年比較	3,068	8,876	192人	613点	66人	△1,351	592人	△580点	204人	△2,944
	3.6%	2.0%	1.3%	0.8%	0.4%	△1.5%	3.0%	△0.6%	1.9%	△5.6%

		伊勢崎市図書館		伊勢崎市民プラザ 図書室		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		
		3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	
図書資料	一般	総記	2,515	2,409	692	682	779	593	833	843	937	889
		哲学	5,179	5,088	1,585	1,603	1,367	1,393	1,981	1,648	1,333	1,347
		歴史	7,810	9,399	2,911	3,920	2,178	2,878	3,630	4,908	3,958	5,016
		社会	12,567	12,815	2,899	3,000	2,648	2,662	4,069	3,785	3,829	3,656
		自然	8,630	8,984	2,456	2,448	2,040	2,178	3,131	3,109	2,950	3,058
		技術	14,998	14,942	6,404	6,469	4,917	5,669	7,413	7,105	5,774	5,636
		産業	3,909	4,000	1,230	1,409	1,235	1,387	1,756	1,744	1,531	1,434
		芸術	14,847	15,828	9,719	9,666	9,601	9,313	9,345	8,345	4,285	4,086
		言語	1,675	1,617	347	425	334	379	508	543	529	531
		文学	72,654	72,309	17,672	18,821	12,759	13,014	30,329	29,198	32,625	31,086
	計	144,784	147,391	45,915	48,443	37,858	39,466	62,995	61,228	57,751	56,739	
	児童	総記	926	941	430	440	501	463	550	616	558	687
		哲学	1,090	1,068	781	848	614	444	566	447	349	353
		歴史	5,928	4,888	2,303	2,186	1,854	1,741	1,507	1,387	1,570	1,274
		社会	2,298	2,098	795	866	986	958	745	769	1,207	1,283
		自然	10,358	10,569	3,932	4,460	3,787	3,484	4,189	4,010	3,156	2,737
		技術	2,632	2,573	1,074	958	1,294	1,229	1,483	1,178	980	1,011
		産業	1,164	1,144	301	272	425	431	405	503	259	337
		芸術	4,666	4,952	2,236	2,291	2,288	2,413	2,194	2,270	1,761	1,786
言語		1,231	1,233	416	412	509	455	318	364	336	303	
文学		21,634	21,681	8,954	8,824	7,686	7,365	11,695	10,398	7,918	6,817	
絵本		51,106	53,179	15,416	17,064	16,184	15,884	28,399	29,221	19,417	18,309	
紙芝居		2,353	2,425	616	808	937	832	1,191	1,138	859	777	
計	105,386	106,751	37,254	39,429	37,065	35,699	53,242	52,301	38,370	35,674		
郷土	3,213	3,121	260	331	289	246	383	408	473	409		
大活字本	2,658	2,950	390	677	107	146	832	713	454	829		
点字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
洋書	608	574	23	14	45	39	304	357	99	74		
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	256,650	260,787	83,842	88,894	75,364	75,596	117,756	115,007	97,147	93,725		
雑誌	7,475	7,945	4,351	4,660	4,306	4,565	7,478	7,704	6,660	6,290		
視聴覚資料	C D	12,518	13,919	3,715	4,320	5,573	5,130	8,671	8,677	7,286	7,008	
	カセット	2	4	0	1	0	1	1	0	0	0	
	ビデオ	48	36	12	17	2	4	170	169	19	12	
	D V D	14,686	15,471	6,062	6,369	9,937	10,071	12,598	12,022	11,155	10,184	
	R O M	1	16	0	0	0	0	1	2	0	0	
	録音朗読	1,461	1,249	85	49	1	0	5	19	359	88	
	合計	28,716	30,695	9,874	10,756	15,513	15,206	21,446	20,889	18,819	17,292	
総計	292,841	299,427	98,067	104,310	95,183	95,367	146,680	143,600	122,626	117,307		

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あづま図書館		境図書館		全館		
		3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	
図書資料	一般	総記	7,799	7,971	1,090	982	1,665	1,689	3,262	3,080	13,816	13,722
		哲学	7,515	7,379	1,601	1,453	3,076	3,077	2,768	2,825	14,960	14,734
		歴史	17,611	17,998	2,644	2,667	6,721	6,773	8,524	8,304	35,500	35,742
		社会科学	20,709	21,454	2,660	2,812	9,292	9,365	9,948	10,022	42,609	43,653
		自然科学	10,172	10,098	2,379	2,317	5,646	5,669	4,396	4,305	22,593	22,389
		技術	11,559	11,437	3,667	3,615	8,902	8,927	4,986	5,173	29,114	29,152
		産業	5,618	5,230	1,349	1,366	3,021	2,976	2,127	2,185	12,115	11,757
		芸術	18,665	18,502	4,357	4,394	9,181	9,109	7,644	7,742	39,847	39,747
		言語	2,982	3,017	674	691	1,234	1,247	1,264	1,286	6,154	6,241
		文学	70,642	72,365	15,827	16,075	34,645	35,463	46,789	47,086	167,903	170,989
		計	173,272	175,451	36,248	36,372	83,383	84,295	91,708	92,008	384,611	388,126
	児童	総記	1,346	1,357	332	349	412	398	724	711	2,814	2,815
		哲学	1,003	1,031	244	239	264	263	387	398	1,898	1,931
		歴史	4,629	4,814	922	930	1,254	1,238	1,322	1,209	8,127	8,191
		社会科学	4,432	4,250	763	770	1,068	1,107	1,760	1,723	8,023	7,850
		自然科学	7,619	7,749	1,473	1,525	3,300	3,315	2,398	2,415	14,790	15,004
		技術	2,659	2,698	614	636	1,030	1,043	959	974	5,262	5,351
		産業	1,913	1,960	418	436	559	576	440	445	3,330	3,417
		芸術	4,193	4,031	885	890	1,571	1,544	1,062	1,057	7,711	7,522
		言語	1,637	1,618	330	333	380	384	448	451	2,795	2,786
		文学	29,783	29,919	5,944	5,879	13,981	13,987	11,904	12,195	61,612	61,980
		絵本	37,996	38,473	6,215	6,197	18,010	18,356	11,571	12,066	73,792	75,092
		紙芝居	2,228	2,303	595	589	1,272	1,297	927	944	5,022	5,133
		計	99,438	100,203	18,735	18,773	43,101	43,508	33,902	34,588	195,176	197,072
	郷土	34,724	35,791	2,619	2,702	3,679	3,872	8,169	8,411	49,191	50,776	
	大活字	3,389	3,453	265	267	959	931	1,371	1,355	5,984	6,006	
	点字	1,083	1,102	0	0	0	0	0	0	1,083	1,102	
洋書	2,009	2,089	111	111	231	247	634	642	2,985	3,089		
その他	86	86	0	0	1	1	0	0	87	87		
合計	314,001	318,175	57,978	58,225	131,354	132,854	135,784	137,004	639,117	646,258		
雑誌	6,166	6,278	940	988	3,219	3,326	4,211	4,252	14,536	14,844		
視聴覚資料	C D	8,332	8,544	3,282	3,369	4,868	4,963	3,709	3,816	20,191	20,692	
	カセット	54	40	1	1	4	4	4	4	63	49	
	ビデオ	1,572	1,504	143	134	898	809	990	846	3,603	3,293	
	D V D	3,440	3,581	1,836	1,925	1,868	1,919	2,000	2,073	9,144	9,498	
	R O M	121	123	12	12	12	12	18	18	163	167	
	録音・朗読	2,490	2,304	0	0	61	61	133	133	2,684	2,496	
	合計	16,009	16,096	5,274	5,441	7,711	7,768	6,854	6,890	35,848	36,195	
総計	336,176	340,549	64,192	64,654	142,284	143,948	146,849	148,146	689,501	697,297		

伊勢崎市民ﾌﾞﾗﾝｸﾞ図書室の蔵書は伊勢崎市図書館に含む。

一般図書構成割合（令和4年度末）

（単位：％）

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館		
		3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	
図書資料	一般	総記	4.50	4.54	3.01	2.70	2.00	2.00	3.56	3.35	3.59	3.54
		哲学	4.34	4.21	4.42	3.99	3.69	3.65	3.02	3.07	3.89	3.80
		歴史	10.16	10.26	7.29	7.33	8.06	8.03	9.29	9.03	9.23	9.21
		社会科学	11.95	12.23	7.34	7.73	11.14	11.11	10.85	10.89	11.08	11.25
		自然科学	5.87	5.76	6.56	6.37	6.77	6.73	4.79	4.68	5.87	5.77
		工学技術	6.67	6.52	10.12	9.94	10.68	10.59	5.44	5.62	7.57	7.51
		産業	3.24	2.98	3.72	3.76	3.62	3.53	2.32	2.37	3.15	3.03
		芸術	10.77	10.55	12.02	12.08	11.01	10.81	8.34	8.41	10.36	10.24
		言語	1.72	1.72	1.86	1.90	1.48	1.48	1.38	1.40	1.60	1.61
		文学	40.77	41.25	43.66	44.20	41.55	42.07	51.02	51.18	43.66	44.06
		計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

VI 文化振興

文化振興

1 基本方針

市民の情操をはぐくみ育てるため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体への育成及び連携を深めるとともに、文化活動のより一層の活性化を図る。

2 重点施策

(1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした発表会や作品展等の開催を通じ、市民文化の形成・向上を図る。

(2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と、地域の伝統文化の伝承を推進するための活動支援や人材の育成を図るとともに、世代を超えて幅広い年齢層が文化に親しむことのできる機会を拡充する。

(3) 舞台芸術鑑賞の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

(4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

3 令和5年度主要事業

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

所属15部門を第1期から第4期事業に分け、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流も深めるとともに、市民への芸術鑑賞の提供機会を設ける。

イ 伊勢崎市文化芸術大会等出場者奨励金交付事業

全国規模で開催される文化芸術的な大会に出場した人または団体や、展覧会において優秀な成績を収めた人または団体に奨励金を交付し、市の文化振興を図る。

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピアいせさき」の普及

市民になじみのある曲をアレンジし、楽しく踊ることができるダンピアいせさきの普及のため、いせさきまつりへの参加に向けて活動を行う。

イ 市民アートフェスティバル

市民から日本画・洋画・書道・彫刻工芸・手芸の美術作品を公募し、令和5年11月3日（金・祝）から11月5日（日）までの日程で文化会館での展示公開を行う。

ウ 伊勢崎市収蔵美術展

市収蔵美術展は、市が所蔵する郷土にゆかりのある作家たちを取り上げることにより、作家像や作品に気軽に触れ合う機会を設け、本市の芸術文化振興を図るため、隔年で開催している。令和5年6月3日（土）から6月5日（月）までの日程で、ベイシア I S伊勢崎店4階イズホールにて開催した。

観覧者 326人
出品数 30点

エ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開を行う。

(3) 舞台芸術鑑賞事業

文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センターにて、主催事業を開催し、市民へ舞台芸術・公演等の鑑賞機会の提供を行う。

4 令和4年度事業実績

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

文化協会は15部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流も深めている。

なお、令和4年度事業については、各部門における発表会や展示会を行った。

月	日	事業名	内容	会場
4	3	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	郷土芸能部門会員による発表会	華蔵寺公園 野外ステージ
	18	役員会・常任理事会	定期総会に向けて	境総合文化センター
5	18	定期総会	令和4年度報告 令和5年度計画	市役所東館5階 第1会議室
8	27	第1期事業	諸芸	境総合文化センター
9	2-4		美術・茶道・洋舞	
10	20	第2回常任理事会	新規加入団体について外	書面開催
11	19-20	第2期事業	自然・音楽・郷土芸能	境総合文化センター
12	13	文化いせさき編集会議	令和5年度発行分 会報誌の編集について	市役所北館2階打合せ室
2	3-5	第3期事業	書道・歌謡	境総合文化センター
	11-12		文学・華道・民謡民舞	境総合文化センター ※11日は降雪のため中止
3	14	第3回役員会・常任理事会	新規加入団体について外	文化会館
	18-19	第4期事業	写真・邦楽舞踊・吟剣詩舞	文化会館

イ 文化協会登録団体

団体総数 184 団体、会員総数 4,639 人（令和 5 年 5 月 1 日現在）。文化協会 15 部門の内訳は以下のとおり。

部 門	種 目	団 体 数	人 数	部 門	種 目	団 体 数	人 数
美 術	日 本 画	1	13	吟 剣 詩 舞	吟 詠	11	201
	洋 画	2	26		詩 舞	5	63
	工 芸	3	73		計	16	264
	そ の 他	2	48	民 謡 民 舞	民 謡	11	111
	計	8	160	郷 土 芸 能	八 木 節	12	266
書 道	か な	4	94		は や し	8	341
	漢 字	9	169		和 太 鼓	4	114
	そ の 他	2	40		獅 子 舞	3	74
	計	15	303		古 武 道	2	50
写 真	写 真	7	115	そ の 他	3	91	
華 道	華 道	2	200	計	32	936	
茶 道	茶 道	5	506	洋 舞	社 交	0	0
文 学	短 歌	2	24		フ ォ ー ク	0	0
	俳 句	1	17		フ ラ ダ ン ス	16	229
	川 柳	0	0		そ の 他	6	88
	そ の 他	3	80		計	22	317
	計	6	121	自 然	植 物	8	190
音 楽	合 唱	10	280		動 物	0	0
	器 楽	6	156		そ の 他	0	0
	計	16	436	計	8	190	
歌 謡	歌 謡	13	515	諸 芸	囲 碁	3	99
邦 楽 舞 踊	邦 楽	3	139		そ の 他	2	30
	邦 舞	15	197		計	5	129
	計	18	336	合 計	184	4,639	

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピアいせさき」の普及

ダンピアいせさきは、市民が長年親しんだ曲をアレンジし、多くの市民が楽しく踊って、まつりに参加してもらうため作成した、伊勢崎市独自のダンスである。いせさきまつりの開催にあわせ、参加者の募集を行い、令和 4 年 9 月 25 日（日）に「おまつり広場」のステージにて発表し、約 70 名の参加があった。

イ 伊勢崎市選抜作家展

市民アートフェスティバルの啓発事業として、県内で活躍する伊勢崎市の作家陣を集めた交流展示を、令和4年9月16日（金）から9月19日（月・祝）の日程で文化会館で行った。

観覧者 519人

出品数 30点 内訳 日本画 3点、洋画 12点、書道 15点

ウ 市民アートフェスティバル

芸術文化に対する市民の理解と鑑賞力を高め、郷土の芸術文化活動の振興を図るとともに、芸術をとおして市民の一体感を醸成することを目的として開催している。市民から応募のあった日本画・洋画・書道・彫刻工芸・手芸の作品を令和4年11月4日（金）から11月6日（日）までの日程で文化会館で展示公開した。

観覧者 1,061人

出品数 370点 内訳 日本画 27点、洋画 74点、書道 135点、彫刻工芸 27点、手芸 107点

エ 伊勢崎市収蔵美術展（特別展）

市収蔵美術展は、市が所蔵する郷土にゆかりのある作家たちを取り上げることにより、作家像や作品に気軽に触れ合う機会を設け、本市の芸術文化振興を図るため、隔年で開催している。その特別展として、令和3年に寄付された作品を中心に、これまであまり展示されていなかった作品を令和5年1月14日（土）から1月16日（月）までの日程で、境赤レンガ倉庫にて公開した。

観覧者 426人

出品数 30点

オ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

○公開作品総数 347点（福沢一郎 74点、磯部草丘 53点、森村西三 6点、金井烏洲 36点、その他の作者の作品 178点）

(3) 舞台芸術鑑賞事業

ア 伊勢崎市文化会館主催事業

実施日	公演名	入場者数
5月15日	いせさき寄席	276
8月28日	中島美嘉	1,165
11月20日	近藤真彦	1,354
12月10日	伊勢崎第九演奏会	507
3月4日	藤井フミヤ	1,376

イ 伊勢崎市境総合文化センター主催事業

実施日	公演名	入場者数
7月10日	音楽の絵本 コンブリオ ～親子のためのクラシックコンサート～	521
10月5日	桂宮治独演会	156
10月15日	第46回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば 群馬交響楽団演奏会 オータムコンサート in SAKAI	282
2月19日	伊勢崎市境ダンスフェスティバル 2023	150

ウ 伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ主催事業

実施日	公演名	入場者数
9月17日	宗次郎オカリナコンサート	311
11月23日	あかぼり寄席	312
1月22日	ケロポンズ親子コンサート	479

(4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		赤堀芸術文化プラザ		境総合文化センター	
	開館日数：335日		開館日数：335日		開館日数：335日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	194	76,564	200	13,282	260	39,422
小ホール	230	25,460			236	19,606
ホール小計	424	102,024	200	13,282	496	59,028
会議室他	1,274	32,365	-	-	2,101	28,902
展示室他	618	41,082	31	5,055	342	48,294
室等の小計	1,892	73,447	31	5,055	2,443	77,196
合計	2,316	175,471	231	18,337	2,939	136,224

Ⅶ 文化財保護

文化財の保護と活用

1 基本方針

- (1) 地域の文化財を後世に伝えるため、文化財の調査研究と情報提供に努めます。
- (2) 市民の郷土への誇りを育むため、歴史的建造物や遺跡などの郷土資源の保存に努め、これを活用した学びの推進に努めます。
- (3) 地域の伝統文化を次世代へ継承するため、伝統芸能などの保存と継承を支援します。

2 重点施策

(1) 文化財の調査研究と情報発信

- ア 文化財普及啓発事業の推進
- イ 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
- ウ 赤堀歴史民俗資料館の充実

(2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財の保存管理と新規指定の推進
- イ 史跡女堀保存整備活用事業の推進
- ウ 史跡田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
- エ 史跡上野国佐位郡正倉跡保存整備活用事業の推進

(3) 伝統芸能などの保存と継承

- ア 有形・無形民俗文化財の保存と普及啓発事業の推進

3 令和4年度事業実績

(1) 文化財保護事業

ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、民俗学、植物学の有識者(計7人)

任期：2年間(令和3・4年度)

開催回数：3回

第1回 7月25日(月)能満寺のご本尊について、本妙寺の鬼子母神堂について

(9月16日(金) 能満寺ご本尊現地視察)

第2回 10月24日(月)能満寺のご本尊について、旧時報鐘楼の修繕について

(10月31日(月)新規登録 国登録有形文化財 田島新一家住宅主屋)

第3回 3月17日(金)今後の指定物件候補について(大雷神社本殿、上植木廃寺出土軒先瓦)

(2) 保護管理事業

ア 指定文化財の保護管理

①所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良好な環境維持を図った。

②市指定天然記念物「赤堀今井の信濃柿」の保護のため剪定等を実施した。

イ 説明板等の設置・修繕

- ①市指定重要文化財「山王町屋台囃子」の説明板を設置した。
- ②国指定史跡「十三宝塚遺跡」の説明板を修繕した。

ウ 史跡上野国佐位郡正倉跡の保存活用

(ア) 調査整備委員会

佐位郡衙関連施設の確認のための発掘調査事業や史跡の公有地化事業、活用事業などについて調査整備委員6人による委員会を1回開催した(書面開催)。

(イ) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、殖蓮小学校西の正倉院南部で発掘調査を実施した。その結果、佐位郡衙正倉院に関わる掘立柱建物が確認された。

(ウ) 啓発活動

平成29年度に完成した八角形倉庫の模型を殖蓮公民館及び群馬県立歴史博物館で展示した。また、殖蓮公民館と連携して、歴史講座及び郡家関連遺跡見学バスツアーを開催した。

エ 史跡女堀の保存活用

(ア) 調査整備委員会

史跡女堀の整備実施設計について調査整備委員6人による委員会を3回開催した。

(イ) 史跡整備

整備基本計画に基づき、盛土状遺構復元・修理、水路護岸工事を実施した。

オ 史跡田島弥平旧宅の保存活用

(ア) 調査整備委員会の開催

史跡内排水設備や史資料調査、普及啓発事業などについて、調査整備委員7人による委員会2回(うち書面開催1回)と、歴史学を専門とする委員からなる史料部会を4回開催した。また、建築学・考古学を専門とする委員からの現地指導を6回実施した。

(イ) 史跡整備の実施

種蔵のレンガ腰壁剥落に伴う応急修繕、史跡内排水設備の検討及び桑場等整備に向けた全体基本設計追加調査を実施した。

(ウ) 案内所の運営

会計年度任用職員6人のサポートガイドをシフトにより配置し、展示の解説や、DVD上映、桑場への配置、田島弥平旧宅の案内を行っている。

(エ) 周辺環境整備の実施

来訪者対応を図るため、仮設トイレの設置や警備員を配置して史跡周辺の環境整備を行った。

(オ) 啓発活動

令和4年5月15日に渡船フェスタに伴う公開事業として、主屋上段の間の公開、漆喰塗り体験、養蚕農家群スタンプラリー等を実施した。また、令和4年11月20日に田島弥平生誕200周年記念事業として、別荘1階部分及び上段の間の公開、本庄市・深谷市との三市連携によるスタンプラリー、整備工事パネル展を実施した。令和4年11月26日には同じく200周年記念事業として群馬県との共催でセカイト講演会を実施した。

(カ) 公開範囲の拡張

平成30年度から別荘及び冷蔵庫跡の整備を始め令和2年度で完了したため、新たに公開を開始した。また、平成28年度から公開した桑場1階に加え、平成29年度から毎月第3日曜日のみ主屋1階上段の間の公開を開始し、令和4年度も継続して実施した。

カ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認を実施した。

キ 指定文化財等の修繕

- ①市指定重要文化財「旧森村家住宅」主屋、「旧時報鐘楼」庇部分等の修繕を実施した。
- ②県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成21年度から保護養生事業を実施しており、害虫駆除及び葉枯れ病等の防除を中心に対応を行った。

ク 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧7件、撮影11件、掲載21件、借用15件の申請があり許可した。

ケ 指定文化財の現状変更等

- ①国指定史跡女堀は、盛土状遺構復元・修理、水路護岸工事の現状変更許可申請書を文化庁へ提出し、許可された。また、排水管設置について市教委の権限で許可した。
- ②国指定史跡田島弥平旧宅は、種蔵の修繕について市教委の権限で許可した。
- ③国指定史跡上野国佐位郡正倉跡は、佐位郡衙関連発掘調査に係る現状変更等許可申請書を文化庁へ提出し、許可された。また、殖蓮小学校の北校舎屋上防水工事、フェンス改修工事、樹木伐採について市教委の権限で許可した。
- ④県指定天然記念物「連取のマツ」は、養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。

コ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、伊勢崎城跡出土の木製品7点を行った。

サ 文化財の防火活動

1月26日(木)に境地区内に所在する市指定重要文化財である「島村の板倉」、「平塚赤城神社本殿」及び国登録有形文化財である「金井義明家住宅主屋」、「田島善一家住宅主屋」、「田島達行家住宅主屋」、「町田清家住宅主屋」の位置や進入経路、周辺の消防水利について調査し、調査結果をもとに調査表及び図面を作成した。また3月4日(土)に地元区長及び役員、文化財保護課職員にて境消防署の指導のもと国指定史跡「田島弥平旧宅」周辺の消防水利及び器具点検確認を行い、併せて初期消火活動の演習を行った。

(3) 普及事業

ア 旧森村家住宅活用事業

月に2回一般公開を行い、「宮郷第二小学校写生大会」等も行われ、来場者は248人であった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、警戒レベル4の際の一般公開及び十五夜の集いは中止となった。

イ はたおり体験学習事業

緋の郷を会場として、織物ボランティア「織りの会」の指導により市内23校の小学校3・4年生1,787人が体験をした。また、2月5日(日)のボランティアフェスティバルでは38人が機織りを体験した。



宮郷第二小学校写生大会



はたおり体験学習のようす

ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎市の古代」のメニューで実施したほか、小学生の地域学習の現地説明等を実施し、合わせて748人の受講があった。

【主な講座・講演】

期 日	対 象	テーマ・内容	人数
5月15日(日)	県 民	古代官衙と寺院	60人
5月31日(火)	殖蓮小学校6年生	一ノ関古墳見学	113人
6月10日(金)	三郷小学校6年生	お富士山古墳見学	119人
8月21日(日)	市 民	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	30人
10月18日(火)	馬見塚町ミニデイ	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	30人

エ 埋蔵文化財展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

オ 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「伊勢崎市の遺跡・古墳編」	10月15日(土)～11月13日(日)	伊勢崎市図書館
	11月21日(月)～12月18日(日)	市民サービスセンター宮子
	1月7日(土)～1月29日(日)	赤堀歴史民俗資料館

カ 埋蔵文化財活用事業

石山南古墳群出土の人物埴輪のレプリカ作製を東京国立博物館協力のもと行った。

市内に所在する国指定史跡（女堀、十三宝塚遺跡、田島弥平旧宅、上野国佐位郡正倉跡）を訪れ、自撮り写真を撮影し、配布場所（文化財保護課、赤堀歴史民俗資料館、田島弥平旧宅案内所、殖蓮公民館）で提示した方に史跡カードを配布した。4つの史跡全てのカードを入手した方には、記念品（佐位郡正倉跡のサコッシュ）を贈呈した。

伊勢崎城跡は、伊勢崎駅周辺第一土地区画整理に伴い継続して発掘調査を実施してきた。調査によって、「伊勢崎町古図」に描かれた堀や城に係る遺構が発見された。その成果を披露し、文化財を普及啓発するために説明板を設置した。



石山南古墳群埴輪レプリカ

キ 発掘調査現地説明会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

ク 報告書等の刊行

『令和2年度市内遺跡確認調査報告書』を作成した。

ケ 伝統文化親子教室事業

文化庁補助事業の「伝統文化親子教室事業」について、1件の申請があり採択となった。

対象：南北千木町屋台囃子親子教室

コ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会

(ア) 概要

殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・境史談会の4団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

(イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
5月12日(木)	茂呂公民館	第1回運営委員会及び監査
6月30日(木) 議決	書面開催	定期総会
10月13日(木)	茂呂公民館	第2回運営委員会
11月18日(金)	赤堀歴史民俗資料館	視察研修
12月8日(木)	茂呂公民館	会員研修会 演題：「芭蕉句碑 建立時の時代背景」 講師：川端 隆さん(茂呂歴史愛好会)
2月22日(水)	茂呂公民館	講演会 演題：「大字誌のススメー『大字誌・角淵』の取り組みからー」 講師：築瀬 大輔(県立女子大学)

(4) 埋蔵文化財発掘調査の概要

令和4年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計45件であった。

ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査)	4件	1,023 m ²
確認調査(試掘調査)	41件	2,469 m ²

イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人住宅	644	不動産取引	370
集合住宅	52	店舗	41
建売住宅	128	工場	22
鑑定評価	57	携帯電話基地局	1
分譲住宅地造成	76	その他	330
太陽光発電設備	5	計	1,726

(5) 赤堀歴史民俗資料館

ア 利用の概要

開館日数：303日 入館者数：6,608人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	26	26	26	27	26	23	26	26	23	23	24	27
利用者(人)	137	336	568	603	623	146	841	868	603	301	894	688

・資料の燻蒸のため、9月23日から9月26日の間臨時休館

イ 資料館運営協議会

運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について報告協議を行った。

委員構成：学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人(計8人)

任 期：2年間(令和3・4年度)

開催回数：3回

ウ 展示活動

(ア) 常設展示

1階展示室 発掘調査で得られた資料を時代順に展示。企画展「赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－」の成果を古墳時代常設展示に加えた。

2階展示室 寄贈民俗資料による昔の暮らし展示及び、近代の5人の人物の常設展示の他、小学校3年生が学ぶ「昔の暮らし」に対応した常設展示。

(イ) 企画展・季節展

	期 間	展 示 名	観覧者数
収蔵資料展	6月17日(金)～8月28日(日)	銘仙万華鏡－増田コレクション－	1,549人
企画展	10月14日(金)～12月25日(日)	赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－	1,729人
収蔵資料展	2月10日(金)～3月19日(日)	おひなさま－昭和の雛人形の世界－	774人



収蔵資料展

「銘仙万華鏡－増田コレクション－」



企画展

「赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－」

エ 教育普及活動

(ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を発行(第183～194号)し、市ホームページに「資料館の出来事」を紹介した他、SNSで企画展情報などを定期的に発信した。

(イ) 学習支援事業

市内幼稚園・保育園児及び小学校児童に対して、展示解説と学習支援を行った。幼稚園・保育園のべ2園226人、小学校のべ6校、522人が観覧した。

小学校へ民具を活用した「昔の暮らしキット」の貸し出しを行い、2校の利用があり、のべ338人が利用した。

(ウ) 子ども向けイベント

収蔵資料展「銘仙万華鏡－増田コレクション－」のワークショップとして、織りの会の協力を得て、機織体験を7月3日(日)、24日(日)に開催。57人参加。8月7日(日)、21日(日)は新型コロナウイルスの影響により中止。

小学生以下を対象に、資料館をめぐろう土器ドキクイズラリーを、7月16日(土)から8月28日(日)まで開催。参加者503人。

(工) 特別観覧等

個人より資料館所蔵資料の特別観覧の申請及び利用が10件あった。

期日	資料名	目的	観覧者数
5月24日(火)	五日牛、下触、間野谷区有文書絵図	研究のため	1人
6月14日(火)	多田山東遺跡Ⅱ遺物	研究のため	1人
7月21日(木)	村上家文書潜匿日記	研究のため	1人
9月7日(水)	綜覧赤堀村247・248号墳鉄製品	研究のため	1人
10月2日(日)	台所山古墳石棺	研究のため	1人
10月18日(火)	半鐘	研究のため	1人
11月8日(火)	昭和期写真	写真集出版のため	1人
12月25日(日)	原之城遺跡筒形土製品	研究のため	3人
1月12日(木)	赤堀茶臼山古墳埴輪	研究のため	3人
2月15日(水)	多田山東遺跡Ⅱ遺物	報告書作成のため	4人

(才) 文化財普及事業

【歴史文化講座】

企画展「赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－」の開催に合わせ、5回連続となる講座を開催した。

	期日	内容	講師	受講者数
第1回	10月16日(日)	古墳時代5世紀の東国と赤堀茶臼山古墳	右島和夫さん(県立歴史博物館特別館長)	62人
第2回	10月30日(日)	昭和4年赤堀茶臼山古墳発掘調査と郷土史研究者たち	市職員	41人
第3回	11月13日(日)	赤堀茶臼山古墳の鶏埴輪	賀来孝代さん(日本考古学協会会員)	49人
第4回	11月27日(日)	赤堀茶臼山古墳の埴輪－東京国立博物館所蔵品の発掘から研究－	河野正訓さん(東京国立博物館主任研究員)	48人
第5回	12月11日(日)	赤堀茶臼山古墳の埴輪工房－釜ノ口遺跡－	市職員	46人

【古文書入門講座】

伊勢崎市図書館と共催で開催し、受講又は動画配信による講座とした。講師は元群馬大学講師、巻島隆さん。

	期日	内容	受講者数
第1回	1月12日(木)	近世文書概論(くずし字に触れる)	45人
第2回	1月19日(木)	江戸時代、旧暦、度量衡、貨幣、文書を実際に読む	45人
第3回	1月26日(木)	町方文書、伊勢崎町明細帳の一部を読む	45人
第4回	2月2日(木)	町方文書、伊勢崎町訴訟史料を読む	45人
第5回	2月9日(木)	村方文書、佐位郡今井村の村方明細帳を読む	45人
第6回	2月16日(木)	村方文書、佐位郡今井村の村入用帳を読む	45人
第7回	3月2日(木)	村方文書、佐位郡今井村の宗門人別改帳を読む	45人
第8回	3月9日(木)	村方文書、佐位郡今井村の年貢皆済目録を読む	45人

伊勢崎市の指定文化財（149件） ※ 国登録有形文化財7件含む

1 国指定重要文化財（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日

2 国指定史跡（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
5	女堀	1条	下触町213外	昭和58年10月27日
6	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久	昭和63年 1月11日
7	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年 9月19日
8	上野国佐位郡正倉跡	1件	上植木本町2763外	平成26年10月 6日

3 国指定天然記念物（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
9	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年 6月15日

4 県指定重要文化財（12件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
10	下植木赤城神社土造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年 3月23日
11	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年 3月23日
12	脇差 銘 正俊	1口	今泉町二丁目938-7	昭和38年 9月 4日
13	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稻荷町518-3	昭和43年 5月 4日
14	宮子の笠塔婆	1基	宮子町1416	昭和48年12月24日
15	絹本著色白崖生禅師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫992-1)	昭和48年12月24日
16	石倉文書	1巻	三光町	平成 7年 3月24日
17	相川家茶室「觴華庵」附造営文書2点「材木積り立控」「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年 3月21日
18	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年 3月23日
19	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年 3月22日
20	縁切寺満徳寺文書	331点	境287(太田市徳川町385-1)	昭和36年 1月 6日
21	石山観音の大鰐口	1口	下触町4番地	平成31年 2月15日

5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
22	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年 3月24日

6 県指定史跡（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
23	金井烏洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日

7 県指定天然記念物（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
24	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年 8月25日
25	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成 4年 5月15日

8 市指定重要文化財（61件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
26	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年 4月12日
27	関重巖著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町6-10	昭和41年 4月12日
28	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年 4月12日
29	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年 4月12日
30	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年 2月15日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
31	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年 4月25日
32	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町30-6	昭和48年 3月 5日
33	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年 3月 5日
34	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年 3月 5日
35	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年 3月 5日
36	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年 3月 5日
37	伊勢崎の太織	25点	曲輪町32-5	昭和48年 3月 5日
38	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年 3月 5日
39	常清寺の変型板碑	1基	東本町354-1	昭和48年 3月 5日
40	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年 3月 5日
41	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年 3月 5日
42	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年 3月 5日
43	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年 3月 5日
44	脇差 銘 直勝	1口	宮子町3610-4	昭和48年 3月 5日
45	刀 銘 直道	1口	中央町23-19	昭和48年 3月 5日
46	森村家の文書	62冊	連取町361	昭和58年 3月11日
47	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
48	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
49	藍染熨斗目	1領	北千木町2013	平成 4年 2月24日
50	倭文神社の朱印状	9通	東上宮町222	平成 4年 2月24日
51	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成 5年 3月23日
52	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
53	高山1号古墳出土埴輪鞍	1基	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
54	絹本著色稲垣平右衛門長茂像附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成 8年 3月29日
55	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年 9月30日
56	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
57	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
58	上毛伊勢崎領塾小学内篇・外篇版木 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年 7月 1日
59	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稻荷町乙368、稻荷町367-1	平成22年10月 1日
60	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月 1日
61	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
62	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
63	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町839 (共同墓地内)	平成 6年 4月 1日
64	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成 6年 4月 1日
65	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町2514-1	昭和48年 2月21日
66	小泉稻荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年 3月22日
67	文化の常夜灯	1基	小泉町259	昭和63年 3月 4日
68	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年 3月 4日
69	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年 3月 4日
70	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年 3月29日
71	延文二年銘鰐口	1点	境261-1	昭和42年 2月10日
72	曼荼羅板碑	1基	境261-1	昭和42年 2月10日
73	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年 2月10日
74	東町福島家文書	1式	境東328	昭和42年 2月10日
75	大国神社の石幢	1基	境下瀧名2827	昭和42年 2月10日
76	漂麦園文集1 2巻	1式	境保泉262	昭和42年 2月10日
77	金井烏洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村2215	昭和42年 2月10日
78	養蚕新論版木	1式	境島村2243	昭和42年 2月10日
79	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年 2月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
80	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年 2月10日
81	米岡の姥石	1基	境米岡266-2	平成16年11月26日
82	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
83	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日
84	本妙寺の鬼子母神堂 附棟札	1件	山王町857	平成28年 3月24日
85	福壽院の和時計	1台	境小此木651	平成30年2月26日
86	波志江愛宕神社の宝塔	1基	波志江町1523	令和 2年10月27日

9 市指定重要有形民俗文化財（5件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
87	平塚の操人形及び衣装（頭等）	1式	境平塚1228	昭和38年 8月 1日
88	平塚の操人形及び衣装（衣装等）	1式	境平塚1220-10	昭和38年 8月 1日
89	平塚の操人形及び衣装（人形・衣装・収納箱一式）	1式	境平塚1220-10	平成16年11月26日
90	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1 外	平成16年11月30日
91	茂呂の屋台	5基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月 1日

10 市指定重要無形民俗文化財（17件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
92	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年 6月29日
93	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町一丁目628	平成18年 6月15日
94	下渕名の獅子舞	1件	境下渕名2709-1	平成18年 6月15日
95	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年 6月15日
96	女塚祭礼囃子	1件	境女塚83-2	平成18年 6月15日
97	栄町祭礼囃子	1件	境栄389-3	平成18年 6月15日
98	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木236-11	平成18年 6月15日
99	東新井の獅子舞	1件	境東新井306-1	平成18年 6月15日
100	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町380	平成19年 8月17日
101	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年 3月26日
102	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年 3月26日
103	南北千木町屋台囃子	1件	南北千木町	平成25年 3月26日
104	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年 3月26日
105	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年 3月26日
106	東町屋台囃子	1件	境東町	平成26年 2月25日
107	気楽流柔術	1件	東小保方町	平成27年 2月26日
108	山王町屋台囃子	1件	山王町	令和 4年 2月25日

11 市指定史跡（27件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
109	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年 4月12日
110	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年 4月12日
111	今村城跡	1件	稻荷町848-1	昭和41年 4月12日
112	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年 4月12日
113	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年 4月12日
114	稲垣平右衛門長茂の墓 附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年 2月15日
115	小島武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年 2月15日
116	関当義・重嶷父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年 3月 5日
117	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年 9月 9日
118	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3 外	平成10年12月28日
119	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年 2月15日
120	十二所古墳	1基	磯町405-1 外	昭和46年 6月10日
121	庚塚古墳	1基	下触町119-1	平成 7年 4月 1日
122	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405-1 外	平成16年 8月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
123	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815 外	平成16年 8月10日
124	赤堀茶臼山古墳	1基	赤堀今井町二丁目甲995-1 外	平成16年 8月10日
125	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年 8月10日
126	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年 2月21日
127	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年 3月 4日
128	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859 外	昭和44年 2月21日
129	郷学五惇堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年 3月 1日
130	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年 3月 1日
131	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年 2月 2日
132	旧日光例幣使道	1件	境下武土地内	昭和42年 2月 2日
133	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年 2月10日
134	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年 3月11日
135	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下淵名1349	平成元年 3月15日

12 市指定天然記念物（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
136	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年 2月15日
137	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年 2月15日
138	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年 2月15日
139	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205-1	平成 6年 4月 1日
140	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年 2月21日
141	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年 3月 4日
142	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年 3月 4日

13 国登録有形文化財（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
143	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年 2月17日
144	日本基督教団島村教会、めぐみ保育園舎	2棟	境島村2509-2	平成20年 4月18日
145	金井義明家住宅主屋	1棟	境島村字新地2439他	令和 3年 2月26日
146	田島善一家住宅主屋	1棟	境島村字新地2209	令和 3年 2月26日
147	田島達行家住宅主屋	1棟	境島村字新地2247他	令和 3年 2月26日
148	町田清家住宅主屋	1棟	境島村字立作3143他	令和 3年10月26日
149	田島新一家住宅主屋	1棟	境島村字新地2158他	令和 4年10月31日

Ⅷ 青少年健全育成

心身ともに健全な青少年の育成の推進

1 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上を図るとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

2 重点事業

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

- ア 青少年健全育成大会の開催
- イ 青少年健全育成環境浄化大会の開催
- ウ 子ども安全協力の家事業の充実
- エ 深夜営業施設立入調査の実施
- オ はたちの集いの実施

(2) 次代を担う青少年の育成

- ア 豊かな人間性を育むための、子ども会育成会やふれあい体験教室での体験活動の充実
- イ 地域における青少年の健全育成を推進するための、リーダーの養成事業と派遣事業の充実

3 令和4年度事業実績

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

事業名	趣旨	期日・場所	対象	実績
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な重要事項を調査審議するとともに、その適切な実施を期するため、必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	幹事会：4月 第1回：5月 第2回：11月	委員、幹事	出席者延べ 68人
青少年健全育成 三季運動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春(3/15～4/30) 夏(7/15～8/31) 冬(12/15～1/31)	市民	リーフレット 配布等 啓発活動 従事者数 16,433人
白ポスト回収	白ポストを管理し、有害図書等の回収・調査にあたる。	毎月実施	青少年育成推進員 による回収数	有害図書等 回収数 140個
深夜営業施設立 入調査	青少年関係団体及び伊勢崎警察署と連携し深夜営業施設への立入調査並びに県青少年健全育成条例に基づく調査を実施する。	郵送で調査	市内の深夜営業施設	調査箇所 14軒

社会環境実態調査	県青少年健全育成条例に基づき、青少年を取り巻く社会環境の調査を実施する。	7/15～9/15	コンビニ、ゲームセンター、カラオケボックス、複合カフェ	調査件数 100軒
青少年健全育成環境浄化大会	伊勢崎市の青少年を健全に育成するため、青少年育成関係団体の連携と共通理解を深め、青少年を取り巻く社会環境浄化運動を推進することを目的とする。	10/28	青少年育成推進員、指導センター補導員、関係団体	出席者 87人
青少年健全育成大会	家庭・学校・地域社会が思いを一つにし、市民総ぐるみの青少年健全育成運動を積極的に推進する。	2/4	青少年育成団体等、市民、青少年問題協議会委員	出席者 245人
子ども安全協力の家	一般家庭や商店・事業所などを、子供たちの緊急避難場所として指定し、子ども安全協力の家事業の充実を図る。	通年	一般家庭、商店、事業所	登録件数 983軒
はたちの集い	二十歳の方たちを地域ぐるみで祝うとともに、改めて成人としての自覚や意識を高める機会とする。また、二十歳の方々からなる実行委員会が中心となり、地域の協力を得て、厳粛な式を実施する。	1/8 文化会館、緋の郷ほか	二十歳	出席者 1,735人



子ども安全協力の家



青少年健全育成大会



子ども会 上毛かるた大会

(2) 次代を担う青少年の育成

事業名	趣 旨	期 日・場 所	対 象	実績
ジュニアリーダー 初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーの養成を図るとともに、中高生の地域に根ざしたグループ活動を推進し、青少年の健全育成を目指す。	6/4～5	市内在住の中高生で特に子ども会活動に活躍を期待できる者	22 人
少年団体指導者 養成研修会	県子ども会指導者の組織的養成基準により地域子ども会の初級指導者を養成し、その資質向上を図ることにより、単位子ども会活動の健全な発展と推進を目指す。	5/29 講義 6/5・6/19 実技	市内の子ども会育成会会員で子ども会指導者として将来活躍しようとする者	248 人
インリーダー研修会	各地区の子ども会役員を対象に、子ども会活動に必要な知識・技術を修得させることにより、インリーダーとしての自覚を高め子ども会の活性化を図る。	6/19	各地区の子ども会役員参加者	57 人
子ども会町内対抗 少年相撲大会	子供たちが、国技である相撲を通して自己の体力を養い、伝統の尊さを学ぶとともに子供たちの友情と子ども会活動の発展に資する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通じて子供たちの心身の鍛錬を図り、併せて子ども会相互の交流と子ども会活動の発展に資する。	11/13	子ども会会員	124 人
市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	1/29	子ども会会員	74 人
明日の郷土を築く 青少年の集い	青少年の体験活動を支援する団体が集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにす。また、本事業を通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	10/2	青少年、市民	3,526 人
ふれあい体験教室	市内の子供を対象に、青少年団体が特色ある活動を活かした体験教室を実施し、豊かな人間性を育むための体験活動を推進する。	通年 市内各地	青少年、市民	事業参加者 673 人
なかまづくり事業	市内の子供たちを対象に、新たな団員獲得と市内団体間での交流を深める。	9/18 11/27 伊勢崎市青少年育成センター	伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	事業参加者 100 人

青少年非行防止活動の推進

1 基本方針

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努める。

2 重点施策

(1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

- ア 青少年補導員による通常補導（市内巡回補導）及び特別補導（花火大会や各地区のまつり等の補導）の実施
- イ 青少年育成団体（青少年補導員・青少年育成推進員）と警察官による列車内補導の実施
- ウ 市内各学校児童・生徒への青少年健全育成及び非行防止標語の作品募集・表彰
- エ 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

(2) 青少年相談事業の充実

- ア 青少年相談（電話・メール・面接）の実施
- イ 青少年相談窓口の広報（SNS での周知、電話相談カード及びポスター作成及び配布）

(3) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

- ア 青少年補導員会研修会や情報交換会において地域の団体や学校との意見交換の実施
- イ 研修会の講師依頼など警察や関係機関との連携

3 令和4年度事業実績

(1) 非行防止活動

ア 街頭補導状況

月別	補導回数（回）				従事した延べ人数（人）					
	午後 2時	午後 4時	夜間	計	補導員			他団 体	職員	計
					通常	特別	計			
5	9	12	16	37	86	0	86	0	0	86
6	11	9	15	35	80	0	80	0	0	80
7	6	8	7	21	49	14	63	8	3	74
8	0	0	1	1	0	9	9	0	1	10
9	0	1	1	2	0	9	9	0	1	10
10	9	9	14	32	73	0	73	0	0	73
11	8	9	12	29	67	0	67	0	0	67
12	9	12	22	43	75	30	105	0	0	105
1	8	11	11	30	63	28	91	7	4	102
2	7	10	9	26	62	0	62	0	0	62
3	18	9	12	39	65	30	95	0	0	95
計	85	90	120	295	620	120	740	15	9	764

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による通常補導の中止（7月25日～10月2日）

イ 列車内補導の実施

高校生の列車内のマナーアップと非行防止の啓発のため、7月5日と1月24日にJR両毛線（前橋駅方面、桐生駅方面）、東武伊勢崎線（太田駅方面）の列車に乗り、列車内補導を行った。

ウ 青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスターの作品募集・表彰

市内各小・中学校から59作品の応募があり、9人の入賞者を2月4日開催の青少年健全育成大会において表彰した。

また、入賞作品をポスターにして関係機関へ配布するとともに、駅前インフォメーションセンターにおいて、絵画・ポスター展（2月7日～2月12日）を開催した。



青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスター

エ 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

10月1日に青少年補導員及び青少年育成推進員とともに市内の商業施設5か所において非行防止啓発用品及びチラシの配布を行った。

(2) 青少年電話相談

ア 問題別・相談者別相談状況

(単位：件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青年	親	一般	合計
非行	0	0	0	0	0	0	0	0
異性・性	0	0	0	0	0	0	0	0
交友	0	0	0	0	0	0	0	0
学業	0	0	0	0	0	1	1	2
進路	0	0	1	0	0	1	2	4
不登校	0	0	0	0	0	5	1	6
健康	0	0	0	0	0	0	12	12
家庭	0	0	1	0	0	41	141	183
性格	0	0	0	0	0	1	0	1
しつけ	0	0	0	0	0	0	0	0
いじめ	0	0	0	0	0	1	0	1
精神不安	0	0	0	0	0	12	94	106
その他	0	0	0	0	0	0	7	7
合計	0	0	2	0	0	62	258	322

イ 青少年電話相談窓口広報

市内全児童・生徒へ相談カードを配布し、さらに市有施設や教育関係施設へ啓発用ポスターを配布し、周知を図った。



相談カード

(3) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 各地区青少年補導員による情報交換（書面）を実施

イ 補導員会研修会（6月23日）

演題「少年非行・児童虐待について」

講師 伊勢崎警察署生活安全課主幹兼総括少年警察補導員

Ⅸ スポーツ振興

スポーツ振興

1 基本方針

- (1) 1 市民 1 スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

2 重点施策

(1) 1 市民 1 スポーツの推進を図る

ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

子供から高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

イ 家族で楽しめる「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・市民体育館・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

ウ 市民総合スポーツ大会の充実

第 19 回市民総合スポーツ大会を、伊勢崎市スポーツ協会加盟団体が競技ごとに主催する市民総合スポーツ大会の冠大会と各地区で開催する地区スポーツ交流大会として開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに 1 市民 1 スポーツの定着に努めます。

エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第 19 回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、子供から高齢者までそれぞれの年齢や体力、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、1 市民 1 スポーツの定着に努めます。

(2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る

ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者登録制度を確立し、活用に努めます。

(3) スポーツ団体の育成強化を図る

ア 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会への支援

1 市民 1 スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会

体育推進委員連絡協議会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市スポーツ協会の支援に努めます。

イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国大会で活躍できる選手の育成に努めます。

ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主的活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

(4) スポーツ施設・設備の充実を図る

市庭球場スタンド防水シート改修工事

市民プール解体整地工事

市庭球場防球ネット改修工事

第二市民体育館救護室設置工事

境体育館耐震補強改修工事

(5) スポーツ振興組織

ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。
委員 12人

イ スポーツ推進委員

市民のスポーツの振興と市民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。
委員 45人

ウ 地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。
委員 33人

エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るための、スポーツ指導者の登録制度。
14団体 85人

オ 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、（一財）伊勢崎市スポーツ協会も年々充実発展し現在44団体を統括し、本市のスポーツの核として、1市民1スポーツの定着と競技力の向上・指導者の育成等に努めている。

(一財)伊勢崎市スポーツ協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシング協会・バドミントン協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トライアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツウエルネス吹矢協会・山岳会・西部スポーツクラブ・トランポリン協会・小学校体育研究会・伊勢崎アーチェリー協会

3 令和4年度事業実績

(1) スポーツ教室開催結果一覧表

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止

参加者 621人

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加人数	会場
1	早朝ソフトテニス(境)	4月・5月	—	小学3年以上	—	境上武公園テニス場
2	早朝テニス	4月・5月	—	小学4年以上	—	庭球場
3	ソフトテニス	4月・5月	6	在住・在勤・在学	20	庭球場
4	ミニバスケットボール	5月	3	小学生	51	あずま体育館
5	なぎなた	5月	4	小学生以上	14	境武道館
6	インラインスケート	5月・6月	—	5歳以上の市民	—	三室西公園スケートボード場
7	少年少女レスリング	5月・6月	—	5歳～小学6年	—	興陽高校柔道場
8	健康アップ	5月・6月	9	在住・在勤(学生除く)	28	市民体育館
9	弓道	5月・6月	8	中学生以上	22	弓道場
10	弓道(あずま)	5月・6月	8	小学5年以上	20	あずま弓道場
11	弓道(境)	5月・6月	8	中学生以上	15	境弓道場
12	体操	5月・6月	8	小学2年～6年	30	市民体育館
13	バドミントン	5月・6月	6	在住・在勤(学生除く)	19	第二市民体育館
14	早朝ソフトテニス	5月～7月	8	小学4年以上	60	庭球場
15	ボクシング	6月	8	小学生以上	17	市民体育館
16	サッカー(赤堀)	6月	2	小学1年～4年	17	赤堀コミュニティひろば
17	卓球	6月	8	小学5年以上	25	スポーツ交流館
18	陸上	6月・7月	4	小学生	40	陸上競技場
19	太極拳	7月	1	小学生以上	45	境体育館
20	ナイターテニス	8月・9月	—	在住・在勤(学生除く)	—	庭球場
21	ジュニアバドミントン	8月・9月	—	小・中学生	—	第二市民体育館
22	水泳①	9月	—	18歳以上の市民	—	スポーツアカデミー伊勢崎
23	カヌー	9月	2	中学生以上	19	境プール
24	合気道	10月	—	小学生以上	—	市民体育館
25	ブレイクダンス	10月	8	小学4年以上	10	市民体育館
26	サッカー(境)	10月	2	小学1年～4年	10	境総合運動場
27	スケートボード	10月	2	小・中学生	20	三室西公園スケートボード場
28	ミニバレーボール	10月・11月	6	小学生	45	茂呂小学校体育館
29	スケート①	11月	8	小学生以上	26	スケートセンター
30	スケート②	12月	8	小学生以上	29	スケートセンター
31	水泳②	3月	—	小学生	—	スポーツアカデミー伊勢崎
32	スキー	3月	1	小学生以上	39	軽井沢プリンスホテルスキー場

(2) 「市民スポーツの日」実績一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
397	548	387	489	471	459	475	371	235	307	415	384	4,938

(3) 市民総合スポーツ大会の実績一覧表

ア 冠大会 21種目 5,531人

ソフトテニス・テニス・バレーボール・バスケットボール・卓球・陸上・水泳・スキー・柔道・弓道・体操・ボクシング・バドミントン・ソフトボール・ラグビーフットボール・ボウリング・グラウンドゴルフ・空手・トライアスロン・スポーツチャンバラ・エコマラニック

イ 地区スポーツ交流大会 4地区 529人

北地区・南地区・三郷地区・境地区

(4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績

総参加者総人数 1,874人

種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者
グラウンドゴルフ	281	なわとび	319	ボルダリング	248	ラダーゲッター	350
ディスクゲッター9	346	モルック	330				

(5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 701,517人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	109,685	赤堀体育館	15,805	あずま体育館	31,588	境体育館	16,527
第二市民体育館	30,298	赤堀剣道場	233	総合運動場テニスコート	11,103	境武道館	14,016
庭球場	49,120	赤堀中央運動場	7,446	あずまスタジアム	10,193	境いよく公園運動場	24,194
野球場	26,165	あかぼり運動公園	27,238	あずまサブスタジアム	6,238	境弓道場	4,349
陸上競技場	35,751	赤堀西部スポーツ公園	5,011	あずま弓道場	6,058	境総合運動場	17,024
ソフトボール	19,098	赤堀香林運動公園	949	あずま総合運動場	14,896	境上武公園	7,355
第二グラウンド	11,777	赤堀グラウンドゴルフ場	1,231	三室西公園	9,017	境広瀬川緑地グラウンドゴルフ場	17,073
補助競技場	27,670	赤堀コミュニティひろば	1,375	あずまゲートボール場	2,182	—	—
弓道場	10,962	計	59,288	つつみ公園グラウンドゴルフ場	857	境矢ノ原公園運動場	369
相撲場	0	—	—	あずまサッカースタジアム	36,141	境島村ラグビー場	0
—	—	—	—	あずまウォーターランド	56,188	市ラグビー場	1,052
その他	0	つなとりスポーツ広場	3,720	西小保方公園グラウンドゴルフ場	13,719	境プール	17,844
計	320,526	計	3,720	計	198,180	計	119,803

X 資料

1 歴代の教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
田 島 國 明	平成17年 1月 1日	平成17年 3月23日
山 口 晃	平成17年 4月 1日	平成25年 3月31日
徳 江 基 行	平成25年 4月 1日	令和 3年 3月31日
三 好 賢 治	令和 3年 4月 1日	

2 歴代の教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
上 山 明	平成17年 1月 1日	平成17年 3月23日
上 林 雄	平成17年 1月 1日	平成17年 3月23日
御 任 佳 子	平成17年 1月 1日	平成19年 3月23日
茂 木 初 實	平成17年 1月 1日	平成17年 3月23日
大 塚 富 男	平成17年 3月24日	平成18年 3月23日
赤 石 勝 彦	平成17年 3月24日	平成19年10月31日
須 田 篤 子	平成17年 3月24日	平成21年 3月23日
大 沢 啓 一	平成18年 3月24日	平成22年 3月23日
小久保 剛 利	平成19年 3月24日	平成23年 3月23日
大 山 隆	平成19年12月19日	平成24年 3月23日
齋 藤 美智子	平成21年 3月24日	平成25年 3月23日
茂 木 克	平成22年 3月24日	平成26年 3月23日
大 山 祐理子	平成23年 3月24日	平成27年 3月23日
多部田 敬 三	平成24年 3月24日	平成28年 3月23日
萩 原 裕 子	平成25年 3月24日	平成29年 3月23日
大 矢 光 利	平成26年 3月24日	平成30年 3月23日
宮 川 亮 子	平成27年 3月24日	平成31年 3月23日
高 橋 慶 一	平成28年 3月24日	令和 2年 3月23日
津久井 喜代己	平成29年 3月24日	令和 3年 3月23日
稲 庭 美智子	平成30年 3月24日	令和 4年 3月23日
高 山 英 記	平成31年 3月24日	令和 5年 3月23日
野 口 裕 孝	令和 2年 3月24日	
山 洞 広 美	令和 3年 3月24日	
里 見 哲 也	令和 4年 3月24日	
野 口 理英子	令和 5年 3月24日	

伊勢崎市教育要覧

令和5年度版

令和5年12月発行
編集 伊勢崎市教育委員会事務局
発行 伊勢崎市教育委員会
〒372-8501
伊勢崎市今泉町二丁目410番地
電話：0270-27-2785（総務課）
FAX：0270-24-9668
E-mail：k-soumu@city.isesaki.lg.jp

